

5. 関連情報詳細

5. 関連情報詳細.....	5-1
5.1 HL7メッセージについて	5-3
5.1.1 メッセージならびにメッセージ構成.....	5-3
5.1.2 HL7メッセージコーディング及び処理規則.....	5-3
5.2 フィールドならびにセグメント属性表について	5-5
5.2.1 (セグメント内の)位置.....	5-5
5.2.2 最大長.....	5-5
5.2.3 データ型.....	5-5
5.2.4 オプション指定	5-5
5.2.5 反復.....	5-6
5.2.6 表.....	5-6
5.2.7 ID番号.....	5-6
5.2.8 名称.....	5-6
5.3 MESSAGE DELIMITERSメッセージ区切り文字.....	5-7
5.3.1 テキストフィールドでのエスケープシーケンスの使用	5-7
5.3.2 エスケープ文字の例外的解釈.....	5-8
5.4 DATA TYPES データ型.....	5-9
Data types データ型解説.....	5-10
FT 書式付テキストデータ	5-10
SRT ソート順.....	5-11
ST 文字列データ.....	5-11
TX テキストデータ	5-11
CQ 単位付複合数量.....	5-12
MO 金額.....	5-12
NM 数値.....	5-12
SI シーケンスID.....	5-13
SN 構造化数値	5-13
ID HL7定義表コード化値	5-14
IS 利用者定義表コード化値	5-14
EI エンティティ識別子	5-14
HD 階層的指定子.....	5-15
PL 所在場所.....	5-17
PT 処理型.....	5-19
RP 参照ポイント.....	5-20
VID バージョン識別子	5-21
DT 日付.....	5-21
DTM 日付/時刻.....	5-22
TM 時間	5-23
TS タイムスタンプ.....	5-23
CE コード化値	5-24
CF 書式付コード化値.....	5-25
CNE 例外なしコード化値.....	5-26
CNN 単純化複合ID番号と名称	5-27
CWE 例外を含むコード化値.....	5-29
CX チェックデジット付き拡張複合ID	5-32
XCN 拡張複合IDと名前	5-38
CSU チャンネル感度.....	5-41
DLD 退院先と日付	5-42
DLT デルタ.....	5-42
EIP エンティティ識別子ペア	5-43
ELD エラー場所および説明.....	5-43
GTS 汎用タイミング指定	5-44

MOC	金額およびチャージコード	5-45
MSG	メッセージ型	5-45
NDL	日付と場所を伴う名前	5-45
NR	数値範囲	5-46
OSD	オーダー連鎖定義	5-47
PRL	親結果リンク	5-48
RFR	基準範囲	5-49
RPT	繰り返しパターン	5-50
SPS	検査材料	5-53
VR	値の範囲	5-54
WVI	チャンネル識別子	5-54
WVS	波形ソース	5-55
FN	姓	5-55
SAD	通りの住所	5-56
XAD	拡張住所	5-56
XON	拡張複合組織IDと名称	5-58
XPN	拡張人名	5-60
XTN	拡張テレコミュニケーション番号	5-62
ED	カプセル化データ	5-64
CCP	チャンネル調整パラメータ	5-66
CD	チャンネル定義	5-67
MA	多重化された配列	5-68
NA	数値の配列	5-68
CP	複合価格	5-69
FC	会計クラス	5-70
DLN	運転免許証番号	5-70
JCC	職種コード／種類	5-71
QIP	照会入力パラメータリスト	5-71
QSC	照会选择基準	5-72
RCD	行・列定義	5-73
VH	来院時間	5-73
PPN	実施者タイムスタンプ	5-74
DR	日付／時間の範囲	5-77
RI	繰り返し間隔	5-77
SCV	予約クラスと値	5-77
TQ	タイミング数量	5-78
5.5	検査項目コードについて	5-79
5.5.1	日本臨床検査医学会 臨床検査項目分類コード	5-79
5.5.2	臨床検査項目分類コードの利用	5-80
5.5.3	検査項目コードと検査材料の関連	5-80
5.5.4	検査項目コード事例集	5-80
5.6	検査材料・採取部位コードについて	5-81
5.6.1	日本臨床検査医学会 臨床検査項目分類コード 材料コード	5-81
5.7	検査結果コメントの扱い	5-84
5.7.1	OBXに伴う叙述的報告について	5-84
5.7.2	叙述的報告の共通成分に使う検査IDを定義するための接尾辞の解説	5-85
5.7.3	検査結果コメントの例	5-88
5.8	定性結果・不等号等の表現方法	5-91
5.9	コード体系表	5-92
5.10	(参考) QUANTITY/TIMING(TQ) 数量/タイミング データ型	5-97
5.10.1	QUANTITY/TIMING 数量/タイミングの使用例	5-102

5.1 HL7 メッセージについて

5.1.1 メッセージならびにメッセージ構成

メッセージとは、システム間でやり取りするデータの最小単位であり、メッセージは順序を定義したセグメントの集合からなる。メッセージ（例えば検査依頼）は具体的なトリガイイベント（例えばオーダー）により発生する。

全てのメッセージはメッセージヘッダ(MSH)セグメントで始まり、データ構成要素フィールド（例えば患者名）からなるデータをもったセグメント（例えば患者属性）、およびメッセージを記述したファイルの終了、入出力バッファなどの記述単位の終端を持って構成する。

HL7実装規約の低通信プロトコル(MLLP: Minimum Low Layer Protocol)でメッセージ交換を行う場合、終端を(0x1C,0x0D)とする。

その他の実装では利用する下位層のプロトコルにゆだねる。

メッセージは可読的なコード化規則による区切文字で区切り、可変長である。下記のように構成する。

<u>メッセージ</u> :	開始 (MLLP の場合)	<VT> (0x0B)
	MSH セグメント	<CR> (0x0D)
	xxx セグメント	<CR> (0x0D)
	yyy セグメント	<CR> (0x0D)
	zzz セグメント	<CR> (0x0D)
	終端 (MLLP の場合)	<FS><CR> (0x1C,0x0D)
<u>セグメント</u> :	セグメント ID フィールド 1 フィールド 2 フィールド 3 ...	<CR>
<u>フィールド</u> :	エレメント 1 ^ エレメント 2 ^ エレメント 3 ^ ...	

臨床検査依頼 OML^O21^OML_O21メッセージ構成例 :

```
MSH . . . . .
PID . . . . .
ORC . . . . .
OBR 肝炎セット検査
OBX  GOT
OBX  GPT
SPM  . . 血清 . .
ORC  . . . . .
OBR  尿一般検査
SPM  . . 尿 . .
ORC  . . . . .
OBR  24時間クレアチニンクリアランス検査
OBX  身長
OBX  体重
SPM  . . ペア材料 : 血清・蓄尿 . .
```

5.1.2 HL7 メッセージコーディング及び処理規則

メッセージの組立（送信側）

送信側アプリケーションは生成したメッセージデータに適切なMSHセグメントを付加し、下位層を通じて送信先へ送信する。

1. トリガイイベントに対応したメッセージ仕様に基づき各セグメントを配置する
2. 記述したセグメントの先頭にセグメントIDを置く
3. 各データフィールドの前にフィールド区切りを置く
4. 各フィールドのデータを定義されたデータ型に基づきコード化する
 - ・データが存在しないフィールドに文字（スペースを含む）を入れてはならない
 - ・フィールド中に後のデータがない場合、後の成分区切りを省略できる

- ・セグメント中に後のフィールドがない場合、後のフィールド区切りを省略できる
- ・セグメントの終了はセグメントターミネータ (<cr>) とする

メッセージの検証と応答（受信側）（会話型のみ適用）

1. 受信側の応答システムは受信したメッセージを受諾すべきか否か検証する

MSH-15-受諾応答指示とMSH-16-アプリケーション応答指示がnullあるいは存在しない場合や基本応答規則を使用する場合、受信したメッセージに対して下記の検証を行う。

- MSH-9-メッセージ型の内容を、応答システムが受諾可能か否か
- MSH-12-バージョンIDの値を、応答システムが受諾可能か否か
- MSH-11-処理ID の値が、メッセージを扱うアプリケーション処理に適切な値であるか否か

上記のいずれかの基準が満たされない場合、受信側はメッセージを拒否することができる。つまり、受信側はMSA-1-応答コードがAR（アプリケーション拒否応答）のACKメッセージを生成し送信側に通知する。

2. 受信アプリケーションのメッセージ受諾と検証/処理

応答システムによる検証に成功後、メッセージを受信アプリケーションに引き渡す。受信アプリケーションはメッセージについて以下のいずれかの処理を行う：

- メッセージの処理に成功した場合、MSA-1-肯定応答コードにAA（アプリケーション肯定応答）をセットした機能応答メッセージを生成し送信する。
- エラーが発生した場合、MSA-1-肯定応答コードにAE(アプリケーションエラー応答)をセットした応答メッセージと、機能セグメントにエラー情報をセットし送信する。
- メッセージの内容やフォーマット以外の理由（システムダウンや内部エラーなど）により、メッセージの処理に失敗（拒絶）した場合、多くは、再処理により受信側システムが後で同じメッセージを処理できる可能性が高い。従って、メッセージを自動的に再送するか否かはシステム実装者が決定する。この応答メッセージはMSA-1-肯定応答コードにAR の値をセットする。

3. メッセージの応答

応答する際には、上記の規則にのっとり新しいMSHセグメントを生成する。その際注意すべき事は、MSH-7-メッセージ生成日時およびMSH-10-メッセージ制御IDは応答メッセージ独自に生成したもので、受信したメッセージのコピーではない点である。MSH-5-（送信先）受信アプリケーション、MSH-6-（送信先）受信施設、MSH-11-処理IDは、受信メッセージの内容から送受信先の入れ替え、コピーなどを行う。

メッセージの処理（受信側）

- ・期待されるデータセグメントがない場合、その全てのデータフィールドをnullとして扱う
- ・期待されるデータセグメントがない場合、その全てのデータフィールドをnullとして扱う
- ・予期しないいかなるデータセグメントも無効 — これは誤りである
- ・データセグメント終わりの予期せぬデータフィールドは無視 — これは誤りではない

5.2 フィールドならびにセグメント属性表について

フィールドは文字列である。システムが実際にアプリケーション内でどのようにデータを保管するかについてHL7は関与しない。特に注記しないかぎり、HL7データフィールドはnull値を採ることがある。 null 値を送ること、つまり2個の二重引用符("")として送ることと、オプションのデータフィールドを省略することとは異なる。メッセージ内容が新規レコードを作成するためでなくデータベース内のレコードを更新するために使われるときにその相違が出てくる。値を送信しない（すなわち省略する）場合、古い値はそのままである。null値を送る場合は、古い値はnull値に変更する。

本規約のさまざまな章にセグメント属性表が含まれている。これらの表は、そのセグメント内のデータフィールドとその使用上の特徴を一覧、記述している。セグメントを定義する際、以下の情報が各フィールドについて述べられている。

5.2.1 (セグメント内の)位置

セグメント属性表のSEQというコラムは、セグメント先頭の3文字のセグメント型に続くセグメント内のデータフィールドの順序位置を示す。この番号は、セグメント定義表に続くテキストコメントで示されるデータフィールドの説明を参照するために使用する。

5.2.2 最大長

1つのデータフィールドの1反復が占めることができる文字の最大数。セグメント属性表では、この情報はLENというコラムにある。HL7 Ver.2.5では最大長はフィールドのデータ型によって決まる。フィールドの長さは標準であるが、関係者間の同意のもとに最大長を決めることもできる。後に定義する成分セパレータと副成分セパレータは文字数として計算する。最大長はフィールドに指定したデータ型によるので、反復セパレータは、最大長を計算するときに含めない(5.2.5節 反復を参照)。値65536と64Kと略記した記述は同じである。「HL7表0440—データ型」を参照。

注：本規約での最大長の表現ならびに注意事項

本規約では、各 HL7 セグメント属性表中の各フィールドの最大長は、HL7 V2.5 第 2 章の定義に準拠し当該フィールドのデータ型に依存し定めている。ただし、構造を持たない ST、TX、NM 型等のフィールドについては、引用される値を考慮したと考えられる HL7 セグメント属性表中の各フィールドで定義されている最大長をそのまま踏襲した。なお、ID 型フィールドは引用される HL7 表のコード値の長さに依存して定めている。また、IS 型フィールドは引用される使用者定義表のコード値の長さに依存するので、引用するコード体系が未定の場合、本規約に記載の当該フィールドの最大長は参考である。

5.2.3 データ型

セグメント属性表では、この情報はDTというコラムにある。もしフィールドのデータ型が不定なときは"varies"を注記する。

HL7によって定義された多くのデータ型がある。これらについては「5.4 Data typesデータ型」で説明する。

5.2.4 オプション指定

セグメント内のデータフィールドが、必須なのか、オプションなのかまたは条件付きなのかを示す。HL7成分表、セグメント属性表では、この情報はOPTというコラムにある。HL7での指定は以下のとおりである。

- R — 必須。
- O — オプション。
トリガイベントおよびその他のフィールド条件による。
- C — セグメント属性表に続くフィールド定義（説明）では、このフィールドの条件を定義するアルゴリズムを指定すべきである。
- X — 対象のトリガイベントでは使用しない。
- B — HL7 の旧バージョンとの互換性のために残されているフィールド
- W — 取り消し。

JAHIS仕様（本規約）での取り扱いは以下のとおりである。（RE,N以外はHL7に同じ）セグメント属性表では、この情報はJapanというコラムにある。

- R — 必須。

- RE — 存在すれば必須（送信側アプリケーションは、該当データがあれば送信しなければならないが、存在しなければ省略する）。
- O — オプション。
- C — トリガイベントおよびその他のフィールド条件による。
- X — 本規約では使用しない。
- B — HL7の旧バージョンとの互換性のために残されているフィールド
- N — 使用しない（関係者の合意のもとに関係システム内限定で使用可）。
- W — 取り消し。

5.2.5 反復

そのフィールドが反復するかどうかを示す。セグメント属性表では、この情報はRP/#というコラムにある。指定は以下のとおりである。

- Nまたは空白 — 反復なし。
- Y — 無限回または関係者で決定した回数だけフィールドを繰り返す。
- (整数) — フィールドは、整数で指定された最大回数まで繰り返す。

繰り返しの場合、そのデータ型の最大長を繰り返した分の長さで反復セパレータを加えたものがそのフィールドの最大長となる。ただし、関係者間の同意のもとに最大長を決めることもできる。

5.2.6 表

HL7の表には、使用者、HL7、外部の3種類ある。

使用者定義表 (User-defined Tables)

ローカルあるいはサイトで定義された値を持つ表である。これは PV1-3-Assigned patient location のように特定のフィールドに収容し、施設ごとに異なる値を持ちうる。このような表は規格では定義していないが、実現を容易にするために使用者定義表番号を割り当てる。HL7はしばしば施設が皮切りとして使えるような推奨値を発行する（例えば「使用者定義表0001—管理上の性別」）。ISデータ型は、このような表で使う値をコード化するのによく使われる。このような表のなかには、共通のマスタファイルを参照する表もあるということに注意すること。

HL7表 (HL7 Tables)

HL7表はHL7によって定義／発行された値の集合である。これらはその表を含むメッセージの解釈に影響を及ぼすのでHL7規格に含む。これらの値は関係者で再定義してはならないが、関係者で定義した値を含めるために表自身を拡張することができる。

外部表 (External Tables)

外部表は他の標準化組織が定義／発行したものである。例えばICD10のような診断コードがある。CE、CF、CNEあるいはCWEデータ型はこれらのフィールドの値を表すために使用する。9000とそれ以上の表番号はHL7が発行する外部定義表のために予約している。そのような表は、外部の機関が制定する概念やコードを、HL7と他の標準化機関との間で規格化要求し合意を得た場合に発生する。これらはHL7が他の機関に代わってHL7規約と共に発行する。しかし、これらはHL7規約より頻繁に改訂されるかもしれない。

5.2.7 ID 番号

規格の全体にわたるデータフィールドを一意的に識別する小さな整数。セグメント定義では、この情報はITEM#というコラムにある。

5.2.8 名称

フィールドの記述的な名前。セグメント属性表では、この情報はELEMENT NAMEというコラムにある。同じ名前が複数のセグメント中で使用される場合、それは同じデータ型および意味を同じID番号と同様に各セグメントが持っていなければならない。この慣行から発生する曖昧さを扱うため、フィールドがここで引用される場合は、セグメント名および位置が常に含まなければならない。

5.3 Message Delimiters メッセージ区切り文字

メッセージを構成するときに、セグメントターミネータ、フィールドセパレータ、成分セパレータ、副成分セパレータ、反復セパレータ、エスケープ文字の特殊文字を使用する。セグメントターミネータは必ずキャリッジ・リターン(16進0D)を用いる。その他の区切り文字はMSHセグメントで定義する。つまり、フィールド区切り文字は4番目の文字位置で定義し、それ以外の区切り文字は、フィールド区切り文字に続くフィールドであるコード化文字フィールドで定義する。MSHセグメントで定義する区切り文字は、メッセージ全体に適用する。メッセージ区切り文字は、前述のようにMSHメッセージの中で定義でき変更可能であるが、本規約では推奨しない。もし実装上で可変とする場合は、関係者間で十分な合意を取らなければならない。

表 5-1. Delimiter values 区切り文字の値

文字位置	区切り文字	推奨値	用法
-	セグメントターミネータ	<cr> hex 0D	セグメントレコードを終了する。 この値は変えることができない。
-	フィールドセパレータ (フィールド区切り文字)		セグメント内で2個の隣接データフィールドを分離する。 またセグメント内の冒頭のデータフィールドとセグメントIDを分離する。
1	成分セパレータ (成分区切り文字)	^	データフィールド内の隣接成分を分離する。 成分の使用法は、関連するデータフィールドの説明で述べられている。
2	反復セパレータ	~	反復の認められたデータフィールドにおいて、複数のデータを分離する。
3	エスケープ文字	\ hex 5C	テキストフィールド(ST,TX,FT型またはED型の第4成分)には、エスケープ文字を使用できる。これを表す単一の文字は、MSHセグメントのコード化文字フィールドで指定する。このフィールドはオプションであり、エスケープ文字を使わないメッセージではこの文字は省略できる。しかし、副成分セパレータがメッセージの中で使われるならば、この指定が必要である。
4	副成分セパレータ	&	データフィールド内で使用が認められた隣接副成分を分離する。 副成分が無いときは、省略できる。

文字位置1~4は、各セパレータを定義するコード化文字フィールド内の位置 (MSHセグメントのMSHおよびフィールドセパレータ (通常|) に続く位置) を示す。

注：区切り文字で囲まれる文字列中でASCII以外の文字セットを使用した場合(escape, invoke) 区切り文字に先立ちASCII文字セットに戻すこと。もし区切り文字が検出された場合は、文字セットをASCIIヘリセットしたものとみなす。

5.3.1 テキストフィールドでのエスケープシーケンスの使用

TX,FT,STまたはCF型等のフィールドを符号化する場合、エスケープ文字を使用してテキストフィールドの特殊処理部を伝えることができる。エスケープ文字は、表示可能な任意のASCII文字で、MSH-2符号化文字のエスケープ文字要素に指定する。本節の説明のためには、文字\を使用して、メッセージに指定するエスケープ文字とする。エスケープシーケンスは、エスケープ文字とそれに続く1文字のエスケープ・コードID、0個以上のデータ文字、および終端用のもう1つのエスケープ文字から構成する。エスケープシーケンスの中の子エスケープシーケンスは禁止する。

・特殊文字

フィールド区切り、成分区切り、副成分区切り、反復区切り、およびエスケープ文字をテキストフィールド内に表現するために、以下のエスケープシーケンスが定義されている。

- \F| フィールド区切り (フィールドセパレータ)
- \S| 成分区切り (成分セパレータ)
- \T| 副成分区切り (副成分セパレータ)
- \R| 反復区切り (反復セパレータ)
- \E| エスケープ文字

MSH-2が ^~\& で、”\”を16進数5cで表現したい時”\9,800”は次の様に記述する。

\E\9,800

- 推奨しない／規格外のエスケープシーケンス

HL7では下記のエスケープシーケンスが定義されているが、本規約ではその使用を推奨しない。利用する場合は、関係システム／関係者間の取り決めが必要である。なお、これらのエスケープシーケンスを受信したことで本来実行すべき処理を中断することがないように配慮すべきである。

- FT、STおよびTXデータ型のためのマルチ文字セットをサポートするエスケープシーケンス

`\Cxyyl` `\Mxyyzzl`

本規約では MSH-18で ~ISO IR87 を指定するので、文字セットのエスケープシーケンスを必要としない。

- 強調表示

`\Hl` `\Nl`

表示等の表現は受信側アプリケーションで扱うこととする。

- 16進法

`\Xdd...ddl`

このデータの扱い/解釈はHL7規格の範囲外であり、本規約でも規定できない。

- フォーマット化テキスト

`\.sp<数>\` `\.br\` `\.fl\` `\.nf\`
`\.in<数>\` `\.ti<数>\` `\.sk<数>\` `\.cel`

(報告書等の) 書式制御は受信側アプリケーションで扱うこととする。

- ローカル

`\Zdd...ddl`

このデータの扱い、解釈はHL7規格の範囲外であり、本規約でも規定できない。

5.3.2 エスケープ文字の例外的解釈

エスケープ文字は他の表示可能な文字、区切り文字と違って、その一文字だけでは意味を成さない。エスケープシーケンスは一对のエスケープ文字を使い、前項に示す記述以外の使い方をしない。しかし、下記に示すケースが想定され、本節ではその場合の解釈を示す。説明では、文字 \ を使用して、メッセージに指定するエスケープ文字とする。

- 一对のエスケープ文字の間にエスケープ・コードID、データ文字がない場合
表示可能な文字 \ と見なす。つまり、`\E\` を記述したのと同じとする。

記述例	解釈
<code>\</code>	<code>\</code> (エスケープ文字)
<code>\E\</code>	<code>\</code> (エスケープ文字が3個)

- エスケープ文字の後のエスケープ・コードIDが前項以外である場合

一对のエスケープ文字の間を無視する。つまり、そのエスケープシーケンスを無視する。受信アプリケーションは警告を発するべきである。

記述例	解釈
<code>\ABC\</code>	省略または null (受信アプリケーションに害のない処理)

- エスケープ文字が対を成さない場合

フィールドの終わりでそのエスケープシーケンスが完結したと見なす。但し、受信アプリケーションは警告を発するべきである。

記述例	解釈
<code>[...X0506LM]</code>	...16進数の 05,06 (最後の LM は 16進数のデータのはずだが誤りである。その処置は本規約では規定外。)
<code>[...\S]</code>	...^ (\Sと見なされる。)
<code>[...\]</code>	... (最後の \ のみは無視する。)

5.4 Data types データ型

注：本節データ型は、HL7 Ver.2.5 CH2A（原本）の誤りについて、それを正し反映した。そのため、HL7 Ver.2.5（原本）とは異なる部分がある。

HL7 data types データ型（HL7 表 0440,0125—データ型より抜粋）

Data Type	Data Type Name	LEN	Comment
英数			
FT	書式付テキストデータ	65536	
SRT	ソート順	15	
ST	文字列	199	
TX	テキストデータ	65536	
数値			
CQ	単位付複合数量	722	CQは他のデータ型に埋め込まれた場合正式には表現できない。よってこの使用はセグメントフィールドに限られる。
MO	金額	20	
NM	数値	16	
SI	シーケンス ID	4	
SN	構造化数値	36	
識別子			
ID	HL7 定義表コード化値	Variable	
IS	使用者定義表コード化値	20	
EI	エンティティ識別子	427	
HD	階層的指定子	227	
PL	患者所在	1230	
PT	処理タイプ	3	
RP	参照ポインタ	273	
VID	バージョン識別子	1417	
日付/時間			
DT	日付	8	
DTM	日付/時刻	24	
TM	時間	16	
TS	タイムスタンプ	26	
コード値			
CE	コード化値	483	HL7 Ver.2.3.1 で CNE,CWE と取り替えられた。Ver.2.5 では HL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ保持する。
CF	書式付コード化値	65536	
CNE	例外なしコード化値	705	
CNN	単純化複合 ID と名称	409	OBR-32,OBR-33,OBR-34,OBR-35 で使われていたもともと CN データ型であった CM データ型を改良。しかし、現在の実施例と整合性を持ち、HL7 旧バージョンとの互換性をこわさないよう成分 7 と 8 はデータ型 IS に昇格した。
CWE	例外を含むコード化値	705	
CX	チェックデジット付き拡張複合 ID	1913	
XCN	拡張複合 ID と名称	3225	HL7 Ver.2.3 で CN から変更
一般			
CSU	チャンネル感度	544	HL7 Ver.2.5 より OBX-5.3 で用いられている CM データ型は OBX-5 観測値(*)が CD データ型であるときに、このデータ型に置き換えられる。
DLD	退院先と日付	47	HL7 Ver.2.5 より PV1-37 で用いられている CM データ型を置き換える。
DLT	デルタ	45	HL7 Ver.2.5 より OM2-9 で用いられている CM データ型を置き換える。
EIP	エンティティ識別子ペア	855	HL7 Ver.2.5 より ORC-8,OBR-29,OBR-29 で用いられている CM データ型を置き換える。
ELD	エラー場所および説明	715	HL7 Ver.2.5 より ERR-1 に用いられている CM データ型を置き換える。Ver.2.5 では HL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ保持される。ERR セグメント参照。
GTS	汎用タイミング指定	199	
MOC	金額およびチャージコード	726	HL7 Ver.2.5 より OBR-23 および OBR-23 に用いられる CM データ型を置き換える。
MSG	メッセージ型	15	HL7 Ver.2.5 より MSH-9 に用いられる CM データ型を置き換える。
NDL	日付と位置を伴う名前	838	HL7 Ver.2.5 より OBR-32,OBR-33,OBR-34,OBR-35 の CM データ型を置き換える。
NR	数値範囲	33	HL7 Ver.2.5 より OM2-6.1,OM2-6.3,OM2-6.4 の CM データ型を置き換える。

OSD	オーダ連鎖定義	110	HL7 Ver.2.5よりTQデータ型に用いられているCMデータ型を置き換える。
PRL	親結果リンク	977	HL7 Ver.2.5よりOBR-26,OBR-26に用いられるCMデータ型を置き換える。
RFR	基準範囲	352	HL7 Ver.2.5よりOM2-6,OM2-7,OM2-8で用いられCMデータ型を置き換える。
RPT	繰り返しパターン	983	
SPS	検査材料	4436	HL7 Ver.2.5よりOBR-15,OBR-15,SAC-6,TCC-3を置き換える。このデータ型はVer.2.5に限りHL7旧バージョンとの互換性のためにのみ保持されている。
VR	値の範囲	13	HL7 Ver.2.5よりQRD-11に用いられるCMデータ型を置き換える。
WVI	チャンネル識別子	22	HL7 Ver.2.5よりOBX-5.1でOBX-5観測値(*)がCDデータ型であるときのCMデータ型を置き換える。
WVS	波形ソース	17	HL7 Ver.2.5よりOBX-5.2でOBX-5観測値(*)がCDデータ型であるときのCMデータ型を置き換える。
患者属性			
FN	姓	194	PNもしくはPNを含むデータ型 (PPN, XCN, XPN) 中のみ出現
SAD	通りの住所	184	XADデータ型中のみ出現
XAD	拡張住所	631	HL7 Ver.2.3でADから変更
XON	拡張複合組織IDと名称	567	
XPN	拡張された個人名	1325	HL7 Ver.2.3でPNから変更
XTN	拡張電話番号	850	HL7 Ver.2.3でTNから変更
専門/章は特定 波形			
ED	暗号化されたデータ	65536	バイナリデータのASCII MIME-エンコーディングをサポート
CCP	チャンネル調整パラメータ	20	OBX-5観測値(*)がHL7 Ver.2.3時でCDデータ型であるOBX-5.3の中で使用されるCMデータ型を交換する。
CD	チャンネル定義	647	波形データ用のみ。
MA	多重化された配列	65536	波形データ用のみ。
NA	数値配列	65536	波形データ用のみ。
価格データ			
CP	複合価格	765	
患者管理/財政情報			
FC	保険種別	47	
拡張照会			
DLN	運転免許証番号	66	
JCC	職種コード/クラス	292	
QIP	照会入力パラメータリスト	212	
QSC	照会选择基準	219	
RCD	行列定義	19	
VH	来院時間	41	
カルテ/情報管理			
PPN	実施者タイムスタンプ	3216	TSを結合したXCNと等価
時系列			
DR	日付/時間の範囲	53	
RI	反復間隔	206	
SCV	スケジューリング種類と値の対	726	スケジューリングデータ用のみ。
TQ	タイミング/数量	2222	HL7 Ver.2.5では、HL7旧バージョンとの互換性のためにのみ保持される。

Data types データ型解説

FT 書式付テキストデータ

HL7 成分表-FT 書式付テキストデータ

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	65536			HL7表に対するコード化された値

このデータ型は、書式を埋め込み追加することで文字列データ型を拡張したものである。これらの書式は固有であり、フィールドの使用環境から独立している。文字列データ(ST)フィールドとFTフィールドとの違いは、長さが任意(64kまで)であることと、エスケープ文字で囲まれた書式を

含むことである。

|\.sp\(skip one vertical line)|

SRT ソート順

HL7 成分表—SRT ソート順

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	12	ST	R	Sort-by Field ソート基準フィールド
2	2	ID	O	Sequencing 順番

ソートされるレスポンスとソート方法をこのパラメータで指定する。

第1成分 Sort-by Field ソート基準フィールド (ST)

応答をソートする基準となるフィールドを示す。表形式の応答の場合、これはそれを基準にソートを行うコラム名となる。セグメントパターンおよび表示応答の場合、ソートの基準となるセグメントフィールド名である。セグメントフィールド名の定義については「セグメントフィールド名 (ST)」のQIPを参照。

第2成分 Sequencing 順番 (ID) HL7表—0397

フィールドやパラメータをソートする方法、およびソートが大文字小文字を区別する (デフォルト) かしないかを指定する。有効な値については「HL7表0397—順序」を参照。

HL7 表 0397—順序

Value	Description
A	昇順
AN	大小文字区別無し昇順
D	降順
DN	大小文字区別無し降順
N	なし

ST 文字列データ

HL7 成分表—ST 文字列データ

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	199			文字列データ

文字列データは左詰めにする、空白が後ろに続いてもよい。任意の表示可能な (印刷可能な) ASCII 文字 (20から7Eまでの16進値) である。

|almost any data at all|

TX テキストデータ

HL7 成分表—TX テキストデータ

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	65536			テキストデータ

テキストデータは、ターミナルまたはプリンターによって使用者のために表示するためである。文字列に先行空白を挿入した方が使用者は見やすいということもあるので、文字列は必ずしも左詰めにするわけではない。この種のデータは表示することが目的なので、表示装置を制御するためのエスケープ文字シーケンスを含むことがある。先行空白文字を挿入し、後書き空白を取り除くとよい。

| leading spaces are allowed. |

TXデータは表示するためである、反復区切文字をTXデータフィールドで使うと、それは一連の反復行がプリンターまたはターミナル上に表示されることを意味する。したがって反復区切文字

は、パラグラフ・ターミネータまたはハード・キャリッジ・リターンとみなす。(そのテキスト内にCR/LFが挿入されたように表示される)。

受信システムでは、任意の大きさの表示ウィンドウに合わせるためテキストを繰り返し区切り文字間でワードラップするが、反復区切文字で始まる行はすべて新たな行になる。

CQ 単位付複合数量

HL7 成分表—CQ 単位付複合数量

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	16	NM	O	Quantity 数量
2	705	CWE	O	Units 単位

第1成分 Quantity 数量 (NM)

この成分はあるエンティティの数や量を表す。

第2成分 Units 単位 (CWE)

この成分は、量の表現に際して用いられている単位を表す。フィールドごとに、デフォルトの単位が仕様の中で定義されていることがある。量がデフォルトの単位で測定されている場合、単位を送信する必要はない。量がデフォルトとは違う単位で記録されている場合は、単位を送信しなければならない。

例：

```
|123.7^kg| kilograms is an ISO unit
|150^lb&&ANSI+| weight in pounds is a customary US unit defined within ANSI+.
```

MO 金額

HL7 成分表—MO 金額

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	16	NM	O	Quantity 金額
2	3	ID	O	Denomination 通貨

第1成分 : Quantity 金額 (NM)

金額を表す。

第2成分 : Denomination 通貨 (ID)

数量を表す際の貨幣単位である。貨幣単位成分の値はISO-4217に指定されている。貨幣単位を指定しない場合、MSH-17国コードを使用しデフォルトを決定する。例：|99.50^USD|ここでUSDは、米国ドルを表すISO 4217コードである。

NM 数値

HL7 成分表—NM 数値

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	16			Numeric 数値

ASCII数字列として表記する数字は、オプションの先行符号(+または-)、数字、そしてオプションの小数点から構成する。符号がない場合、その数値は正数であると仮定する。小数点がない場合、その数値は整数であると仮定する。

例：

```
|999|
|-123.792|
```

先行ゼロまたは小数点の後の後書きゼロは無意味である。01.20と1.2という2つの数値は同一である。オプションの先行符号(+または-)およびオプションの小数点(.)を除いては、数字以外の

ASCII文字は許されない。したがって、値"<12"は、文字列データ型としてコード化しなければならない。

SI シーケンス ID

HL7 成分表—SI 連番 ID

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	4			Sequence ID 連番 ID

NMフィールド形式の正整数。このフィールドの使用方法は、それが現れるセグメントとメッセージを定義している章で定義する。

SN 構造化数値

HL7 成分表—SN 構造化数値

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	2	ST	O	Comparator 比較演算子
2	15	NM	O	Num1 数字 1
3	1	ST	O	Separator/Suffix 区切り/接尾語
4	15	NM	O	Num2 数字 2

構造化数値データ型は、臨床検査結果を条件に基づき、曖昧なく表現するのに用いる。このデータ型を受信側のシステムが成分を別々に保存し、数値によるデータベース照会の使用を可能とする。信頼できる完全な値の組となるよう、対応する値は<比較演算子>と<区切り/接尾辞>成分を用いて表す。

<数字1>および<数字2>が値を持つ場合、<区切り/接尾辞>は必須である。区切りが「-」である場合、その範囲は両端を含む。

例えば、<数字1>-<数字2>は、<数字1> <= X <= <数字2>であるような一連の数値Xを示す。数字1は数値。数字2は数値またはnullであり測定によって異なる。区切り/接尾辞は、「-」、「+」、「/」、「.」、「:」。

第1成分 Comparator 比較演算子 (ST)

大なり、小なり、大なりまたは等しい、小なりまたは等しい、等しい、等しくない をそれぞれ「>」、「<」、「>=」、「<=」、「=」および「<>」で表す。この成分に値が設定されない場合は、「=」にデフォルトされる。

第2成分 Num1 数字1 (NM)

数字。

第3成分 Separator/Suffix 区切り/接尾辞 (ST)

「-」、「+」、「.」または「:」。

第4成分 Num2 数字2 (NM)

測定方法により数字またはnull。

例：

>^100	(greater than 100)
^100^~^200	(equal to range of 100 through 200)
^1^:~^228	(ratio of 1 to 128, e.g., the results of a serological test)
^2^+	(categorical response, e.g., occult blood positivity)

ID HL7 定義表コード化値

HL7 成分表-ID HL7 定義表コード化値

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
	Variable			Coded Value for HL7-Defined Tables HL7 で定義された表のコード化された値

この種のフィールドで使う値は、正当な表の値から引用される以外はSTフィールドで使う書式規則に従う。IDフィールドの例として性別などがある。

IS 使用者定義表コード化値

HL7 成分表-IS 使用者定義表コード化値

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
	20			Coded Value for User-Defined Tables 使用者定義表のコード化された値

このフィールドの値は、使用者定義表から引用し、STフィールドの書式規則に従う。ISデータ型に関連したHL7表番号があるものとする。例えば事象理由コードである。

EI エンティティ識別子

HL7 成分表-EI エンティティ識別子

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	199	ST	O	Entity Identifier エンティティ識別子
2	20	IS	O	Namespace ID ネームスペース ID
3	199	ST	C	Universal ID 汎用 ID
4	6	ID	C	Universal ID Type 汎用 ID 型

EIは機械もしくはソフトウェアで生成された識別子に適切であるが、それに限らない。生成された識別子は最初の成分に入る。残りの成分2から4は、割当権限者として知られ、成分1の識別子の生成に責任を持つ機械/システムを明記する。

指定された一連の識別子、すなわち割当権限者は、成分2から4で定義される。割当権限者は階層的指定子(HD)データ型であるが、単独の成分ではない。EIデータ型の別々の3成分として定義される。これはいくつかの既に存在しているデータフィールドの成分としてのEIの使われ方についてHL7旧バージョンとの互換性を維持するためである。それ以外は、成分2から4は「HD 階層的指定子」で定義されているとおりである。階層的指定子(HD)は、特定のHL7実装の全体で重複が起らない。

第1成分 Entity Identifier エンティティ識別子 (ST)

エンティティ識別子は通常、成分2から4で表現される階層的指定子で定義される割当権限者が生成した一連の識別子の範囲で重複がない。

第2成分 Namespace ID ネームスペース ID (IS)

定義については「HD-Namespace ID ネームスペースID (IS)」を参照。

第3成分 Universal ID 汎用ID (ST)

定義については「HD-Universal ID 汎用ID (ST)」を参照。

第4成分 Universal ID Type 汎用ID型 (ID)

有効な値については「HL7表0301-汎用ID型」を参照。

HD 階層的指定子

HL7 成分表－HD 階層的指定子

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	20	IS	O	Namespace ID ネームスペース ID
2	199	ST	C	Universal ID 汎用 ID
3	6	ID	C	Universal ID Type 汎用 ID 型

HDの基本の定義は、HDは定義された一組の個体識別子（たとえば依頼者または実施者番号、患者識別子、医療従事者識別子、その他）の管理あるいは、割当に責任を持つ、ある（管理上あるいはシステムあるいはアプリケーションあるいはその他の）エンティティを示すということである。このエンティティは、患者識別子を割り当てる登録システムといった特定の保健医療アプリケーションであることもあれば、医療専門職にたいする識別子や運転免許番号を割り当てる行政上のエンティティであることもあれば、このような識別子が割り当てられる施設であったりする。

HDは、HL7Ver.2.1およびVer.2.2におけるアプリケーション識別子の、より強力であり普遍的な代替となるべく設計されている。HDには2つの追加の成分<汎用ID>と<汎用ID型>が、従前のアプリケーションID（より普遍的にネームスペースIDと改称されている）に追加されている。

あるHDが、ある特定の患者登録システムのような、個体識別子を割り当て／生成するようなエンティティを指す場合、そのHDは「割当権限者」を指していることになる。あるHDが、ある特定の「車両管理局事務所位置」のような、個体識別子が配布される（とはいえ、その個体識別子は別の場所で別のエンティティにより生成されるかもしれないが）位置を指す場合、そのHDは「割当施設」を指していることになる。これら2つの異なるHDの使用法は、拡張データ型の多くに登場する。

HDで示された割当権限は、コード化要素データ型の、コード体系（およびバージョン）の部分の役割に似ている。いずれも、一組のより個別な個体識別子を指定している点である。違いはHDで示されるより個別な個体の集合は、患者や医療に関するオーダと言う「実世界」の事物の識別子を持っているが、コード化要素で示されるより個別な個体の集合は概念の識別子（コード）であるという点である。

HDはローカル識別子（<ネームスペースID>のみ指定された状態）としても、公的に割り当てられた識別子、UID（<汎用ID>と<汎用ID型>の両方が指定された状態）としても、両方使えるよう設計されている。文法的には、HDは2つの識別子の組である。最初の成分で定義されるローカル識別子と、2番目、3番目の成分で示される汎用識別子である。3番目の成分（汎用ID型）が設定されているHDでは、その3番目の成分で示される一連のIDの中で一意的な値を持った2番目の成分を設定しなければならない。

第1成分 Namespace ID ネームスペースID (IS)

使用者定義表0300－ネームスペースIDがこの成分に対する値の使用者定義表がHL7識別子として使用される。

使用者定義表 0300－ネームスペース ID

Value	Description
	No suggested values defined 推奨値は定義されない

第2成分 Universal ID 汎用 ID (ST)

HDの2番目の成分<汎用ID>(UID)は、3番目の成分<汎用ID型>(UID型)で示される体系に基づいて整形された文字列である。UIDはUID型内で期間に関わらず重複がないことが意図されている。これは厳格に決められている。各々のUIDは（UID型で示される）は明確に列挙された体系のひとつに属さなければならない。UID（2番目の成分）は特定の汎用識別子体系（3番目の要素で示される）の文法規則に従わなければならない。これらの文法規則はHL7内部で定義されているのではなく、特定の汎用識別子体系（3番目の要素で示される）にて定義されていることに注意。

第3成分 Universal ID Type 汎用ID型 (ID)

HDの2番目成分の解釈を決定する。3番目の成分が、「HL7表0301－汎用ID型」に存在する既知のUIDである場合、2番目の成分はその型の 汎用IDである。

HL7 表 0301－汎用 ID 型

Value	Description
DNS	インターネットで指定された名前。ASCII 文字あるいは整数値のいずれか
GUID	UUID と同じ
HCD	CEN ヘルスケアコード体系デジグネータ(DICOM で使用される識別子はこの割当計画に従う)
HL7	将来の HL7 登録計画のためにリザーブ
ISO	国際標準化機構オブジェクト識別子
L、M、N	ローカルで定義されたコード体系のためにリザーブ
ランダム	一般的にランダムビットの base64 コード化文字列。一意性は、ビットの長さに依存する メール・システムは、ランダムビットおよびシステム名の組み合わせ組み合わせから、ASCII 文字列の「一意的な名」を生成することが多い 明らかに、そのような識別子は base64 文字集合によって束縛されない
UUID	DCE 汎用一意性 ID
x400	X400 MHS 書式 ID
x500	X500 ディレクトリ名

2番目と3番目の成分のみが指定されている、ISOについての例：

```
|^1.2.344.24.1.1.3^ISO|
|^1.2.34.4.1.5.1.5.1,1.13143143.131.3131.1^ISO|
```

2番目の成分の形式は、HL7ではなく（HL7では2番目の成分はSTデータ型であると定義している）オブジェクト識別子についてのISO標準で定義されている。従って、2番目の成分のピリオド(".")やコンマ(",")はISOの形式の一部であり、HL7のSTデータ型の定義にしたがっているのではない。

GUIDの例：

```
|^14344.14144321.4122344.14434.654^GUID|
```

インターネットの例：

```
|^falcon.iupui.edu^DNS|
```

乱数UID：

```
|^40C983F09183B0295822009258A3290582^RANDOM|
```

ローカルな識別子を使ったISデータ型類似のHD：

```
|LAB1|
|RX.PIMS.SystemB.KP.CA.SCA|
```

最初の成分の文法はHL7で定義されているのではなく、施設でその固有の必要に応じて決まっていることに注意：唯一の必要条件は最小成分の構造は、ISデータ型において値として使われていた、HL7の文字列（ST）データ型で許されている形式であることである。

成分2と3のみ使ったローカルな識別子

```
|^RX.PIMS.SystemB.CA.SCA^M|
```

前の例をコード化する別の方法として、3番目の要素の値に"M"（上の「HL7表0301－汎用ID型」を参照）をローカルに定義された識別子集合を示すための使用することを説明している。2番目の成分は前の例と同じであるが、この例では施設により定義された、識別子集合"M"について使用可能な値集合の要素として定義されている。

2番目3番目の成分を伴うローカル識別子

```
|PathLab^PL.UCF.UCA^L|
```

「PathLab」アプリケーションは、ネームスペース成分で示されるが、同時に2番目、3番目の成分でも（すなわち、ローカル定義のUID体系"L"によって）示される。2つの識別子は等価である。

これは、ローカル定義される2番目の成分が、それ自体が構造化されている、より複雑なHDである。上のISOの例にあるように、2番目の成分の構造はHL7で定義されているのではなく、施設でその固有の必要性によって定義される：唯一の必要条件は2番目の成分の構造が、HL7文字列(ST)データ型で許容されていることである。

ローカル識別子とユニバーサルID型

|LAB1^1.2.3.3.4.6.7^ISO|

UIDとしてのISOの「オブジェクト識別子」とローカル定義のシステム名をもつHD。最初の成分と2番目、3番目（あわせて解釈される）の成分が同じ実態を指す。この例はローカルの値とユニバーサルIDの値がひとつのHDフィールドで送信されうることを示す。

PL 所在場所

HL7 成分表－PL 所在場所

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	20	IS	O	Point of Care ケアの場所
2	20	IS	O	Room 病室
3	20	IS	O	Bed 病床
4	227	HD	O	Facility 施設
5	20	IS	O	Location Status 場所の状態
6	20	IS	C	Person Location Type 所在場所型
7	20	IS	O	Building 建物
8	20	IS	O	Floor 階
9	199	ST	O	Location Description 場所の詳細
10	427	EI	O	Comprehensive Location Identifier 包括的な場所識別子
11	227	HD	O	Assigning Authority for Location 場所についての割当権限者

定義：このデータ型は医療施設内における患者の所在場所を特定するために用いる。どの成分に値を設定するかは現場の要求による。例えば、在宅で治療を受けている患者については、患者所在場所型のみ値が設定される。このデータ型は患者の所在場所を特定するのに最もよく使用されるが、医療現場に関わる人の他のタイプを参照することもある。

注記：このデータ型は、最も一般的なものから最も特別なものまで次の順番で考慮すべきいくつかの位置識別子からなる：施設、建物、階、ケアの場所、病室、病床。これらの成分で示されるすべての位置に関する付加的情報は次の成分で付加することができる：所在場所型、場所の詳細、場所の状態。

例：看護単位

Community Hospitalの看護単位：4東、136号室、ベッドB

4E^136^B^CommunityHospital^^^

例：診療室

University Hospitalsの診療室：Brionesビル3階にある内科診療室

InternalMedicine^^^UniversityHospitals^^C^Briones^3^

例：在宅

患者の家で治療を受けている。

^^^^H^^

第1成分 Point of Care ケアの場所 (IS)>

この成分は患者のケアを行う場所のコードを示す。これには患者の所在場所型（例えば、看護単位あるいは部門あるいは診療室）による条件がつく。提案されている値については「使用者定義表0302－ケアの場所」を参照。

使用者定義表 0302－ケアの場所

Value	Description
	推奨できる値はない

第2成分 Room 病室 (IS)

この成分は患者の病室のコードを示す。ケアの場所について人の所在場所の指定として最も一般的である。提案されている値については「使用者定義表0303－病室」を参照。

使用者定義表 0303－病室

Value	Description
	推奨できる値はない

第3成分 Bed 病床 (IS)

この成分は患者の病床のコードを示す。病室の次に最も一般的な人の所在場所の指定である。提案されている値については「使用者定義表0304－病床」を参照。

使用者定義表 0304－病床

Value	Description
	推奨できる値はない

第4成分 Facility 施設 (HD)

この成分は施設での解釈によるが、一般的には医療機関、病院あるいは医療法人の一番高いレベルでの物理的な場所の指定である。最も一般的な人の所在場所の指定である。データ型に関する議論については「HL7成分表－HD階層の指定子」を参照。

第5成分 Location Status 場所の状態 (IS)

この成分は場所の状態や空き状況のコードを示す。例えば、この成分は病床の状況を表すことがある。提案されている値については「使用者定義表0306－場所の状態」を参照。

使用者定義表 0306－場所の状態

Value	Description
	推奨できる値はない

第6成分 Person Location Type 所在場所型 (IS)

患者所在場所型は、施設、建物、階、ケアの場所、病室あるいは病床によって示される人の所在の範疇である。必須のフィールドではないが、使用される場合は唯一値を持つフィールドとなる場合がある。この成分は通常、看護単位、部門、診療室、SNF（熟練看護施設）や医局といった値を含む。提案されている値については「使用者定義表0305－所在場所型」を参照。

使用者定義表 0305－所在場所型

Value	Description
C	Clinic 診療室
D	Department 部門
H	Home 在宅
N	Nursing Unit 看護単位（病棟）
O	Provider's Office 提供者事務所
P	Phone 電話
S	SNF 熟練看護施設

第7成分 Building 建物 (IS)

この成分は、その人が所在する建物のコードを示す。施設の次に最も一般的な人の所在場所の指定である。提案されている値については「使用者定義表0307－建物」を参照。

使用者定義表 0307－建物

Value	Description
	推奨できる値はない

第8成分 Floor 階 (IS)

この成分は、その人が所在する階を示す。建物の次に最も一般的な人の所在場所の指定である。提案されている値については「使用者定義表0308－階」を参照。

使用者定義表 0308－階

Value	Description
	推奨できる値はない

第9成分 Location Description 場所の詳細 (ST)

この成分はフリーテキストで場所の詳細を記述する。

第10成分 Comprehensive Location Identifier 包括的な場所識別子 (EI)

物理的場所を個々の成分に関わらず、全体として表現する一意的な識別子。この成分は、施設が物理的単位を示す別の方法を用いて、詳細度の低いレベルでコードをつけることを許容する。例えば、ケアの場所、病室および病床が不可分の1つのコードを持つこともありうる。

第11成分 Assigning Authority for Location 場所についての割当権限者 (HD)

個々の物理場所成分を作成したエンティティ。値が設定されている場合には、全ての値の設定された成分についての権限者である。HD成分の最初の副成分<ネームスペースID>に対する提案されている値については「使用者定義表0363－割当権限者」を参照。この成分により、このデータ型のフィールドが繰り返し使用された場合に、それぞれのコードを違えることが可能となる。

PT 処理型

HL7 成分表－PT 処理型

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	1	ID	O	Processing ID 処理ID
2	1	ID	O	Processing Mode 処理モード

このデータ型は、HL7アプリケーションがHL7メッセージの処理をするべきか否かを示す。

第1成分 Processing ID 処理ID (ID)

メッセージが本系、練習系、デバッグ系かどうかを示す値。有効な値については「HL7表0103 - 処理ID」を参照。

HL7 表 0103－処理 ID

Value	Description
D	デバッグ
P	本系
T	練習

第2成分 Processing Mode 処理モード (ID)

メッセージが記録処理か初期導入かどうかを示す値。有効な値については「HL7表0207－処理モード」を参照。

HL7 表 0207－処理モード

Value	Description
A	記録
R	記録からの復帰
I	初期導入
T	現在処理中、間隔を置いて送信（スケジュールまたは要求ごと）
Not present	提示されない（デフォルト、現在処理中を意味する）

RP 参照ポインタ

HL7 成分表－RP 参照ポインタ

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	15	ST	O	Pointer ポインタ
2	227	HD	O	Application ID アプリケーション ID
3	9	ID	O	Type of Data データの型
4	19	ID	O	Subtype サブタイプ

このデータ型は、別のシステムに保存されているデータの情報を伝送する。このデータ型には、そのシステムに保存されているデータを一意に識別する参照ポインタ、そのシステムの識別、およびデータの型が含まれる。

第1成分 Pointer ポインタ (ST)

データを保存するシステムが割り当てる一意なキー。そのキーはSTデータ型であり、データを識別しそのデータにアクセスするのに使う。

第2成分 Application ID アプリケーションID (HD)

HDデータ型でありデータを保存するシステムの一意な名前。依頼者(または実施者)アプリケーションIDと同じ。アプリケーションIDは扱うHL7メッセージシステムを通じて一意でなければならない。

第3成分 Type of Data データの型 (ID)

参照されるデータの型はHL7表0191－参照されるデータの型を参照。

HL7 表 0191－参照されるデータの型

Value	Description
AP	他のアプリケーションのデータ、特に翻訳されないバイナリデータ (HL7 Ver.2.3 以降)
AU	音声データ (HL7 Ver.2.3 以降)
FT	書式付テキスト (HL7 Ver.2.2 のみ)
IM	画像データ (HL7 Ver.2.3 以降)
Multipart	MIME マルチパートパッケージ
NS	スキャン以外の画像 (HL7 Ver.2.2)
SD	スキャンされた文書 (HL7 Ver.2.2 のみ)
SI	スキャンされた画像 (HL7 Ver.2.2 のみ)
TEXT	機械可読のテキスト文書 (HL7 Ver.2.5 以降)
TX	機械可読のテキスト文書 (HL7 Ver.2.2 のみ)

第4成分 Subtype サブタイプ (ID)

サブタイプは、参照されるデータの型のための書式を宣言する。HL7表291－参照データのサブタイプを参照。

HL7 表 0291－参照データのサブタイプ

Value	Description
BASIC	ISDN PCM 音声データ
DICOM	Digital Imaging and Communications in Medicine
FAX	ファクシミリデータ
GIF	Graphics Interchange Format
HTML	Hypertext Markup Language
JOT	電子インクデータ (Jot 1.0 標準)
JPEG	Joint Photographic Experts Group

Value	Description
Octet-stream	解釈されないバイナリデータ
PICT	PICT 形式画像データ
PostScript	PostScript プログラム
RTF	Rich Text Format
SGML	Standard Generalized Markup Language (HL7 Ver.2.3.1 以降)
TIFF	TIFF 画像データ
x-hl7-cda-level-one	HL7 Clinical Document Architecture Level One 文書
XML	Extensible Markup Language (HL7 Ver.2.3.1 以降)

VID バージョン識別子

HL7 成分表－VID バージョン識別子

SEQ	LEN	DT	OPT		COMPONENT NAME
1	5	ID	O	0104	Version ID バージョン ID
2	705	CWE	O		Internationalization Code 国際化コード
3	705	CWE	O		International Version ID 国際化バージョン ID

第1成分 Version ID バージョンID (ID)

HL7バージョンを表記するために使用する。取りうる値は「HL7表0104-バージョンID」を参照。

HL7 表 0104 – バージョン ID

Value	Description	Comment (Date)
2.0	リリース 2.0	1988 年 9 月
2.0D	デモ 2.0	1988 年 10 月
2.1	リリース 2.1	1990 年 3 月
2.2	リリース 2.2	1994 年 12 月
2.3	リリース 2.3	1997 年 3 月
2.3.1	リリース 2.3.1	1999 年 5 月
2.4	リリース 2.4	2000 年 11 月
2.5	リリース 2.5	2003 年 5 月

第2成分 Internationalization Code 国際化コード (CWE)

ISO3166国コードで国際支部の国を表記する。ISO3166表に従い、3文字のコードを国コードと扱う。

第3成分 International Version ID 国際化バージョンID (CWE)

各国支部がUSのバージョンに対し支部バージョンを持つ場合そのバージョン番号を表記する。

DT 日付

HL7 成分表－DT 日付

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
	8			Date 日付

常に書式YYYY[MM[DD]]で表記、桁数により精度が規定される。

例： |19880704|

DTM 日付／時刻

HL7 成分表－DTM－日付／時刻

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
	24			Date/Time 日付／時刻

定義：ある時刻の一点を24時間制の時計表記で示す。

格納されている文字の数（タイムゾーンの指定を除く）で時刻の精度を示す。

書式：YYYY[MM[DD[HH[MM[SS[.S[S[S[S]]]]]]]][/+ZZZZ]

従って：

「年」の精度まで示すには最初の4文字のみ用いる。

「月」の精度まで示すには最初の6文字を用いる。

「日」の精度まで示すには最初の8文字を用いる。

「時」の精度まで示すには最初の10文字を用いる。

「分」の精度まで示すには最初の12文字を用いる。

「秒」の精度まで示すには最初の14文字を用いる。

「1/10秒」の精度まで示すには最初の16文字を用いる。

「1/10000秒」の精度まで示すには最初の19文字を用いる。

例：|199904| は1999年4月を示す。

タイムゾーン(+/-ZZZZ)は、協定世界時(UTC)（以前のグリニッジ標準時(GMT)）から+/-HHMMの時差があることを示し、+0000あるいは-0000は共にUTC（時差なし）を示す。HL7符号化規則で用いられる個々のデータ表現はISO 8824-1997(E)に準拠している。

タイムゾーンが含まれない場合は、タイムゾーンは送信側の現地時間にデフォルトされることに注意。またDTMやTSの値を持つフィールドでHHMMの部分を持つものについては、0000はYYYYMMDDの部分で与えられる日の前の日から続く夜の真夜中を表すことにも注意（以下の例を参照）。

例：

Time	Description
19760704010159-0500	東部標準時間（米国）の 1976 年 7 月 4 日の 1:01:59
19760704010159-0400	東部夏時間（米国）の 1976 年 7 月 4 日の 1:01:59
198807050000	送信側の現地時間の 1988 年 7 月 4 日から 7 月 5 日の間の夜の真夜中
19880705	前の例に同じ、ただし精度は日までである。出生時刻が不明の時の生年月日に用いることができる。
19981004010159+010	オランダ、アムステルダムでの 1998 年 10 月 4 日 1:01:59（タイムゾーンは+0100）

HL7標準はタイムゾーンの時差を定期的に送信することを強く推奨しているが、必須とはしていない。全てのHL7システムはタイムゾーンの時差を受け付けることを必須とされているが、その実装はアプリケーション固有である。多くのアプリケーションにとって関心のある時刻は、送信側の現地時間である。

注記：タイムゾーン[+/-ZZZZ]を使う場合は、法的に定義されたタイムゾーンを用い、HHMMの形式で表すことに注意。

この規則のひとつの例外としては、たまたま違うタイムゾーンに属する診療所と近くの病院で収集された患者データを処理する診療システムの場合が挙げられる。このようなアプリケーションは共通の表示に変換することを選択するだろう。同じような問題がサマータイムの導入と終了時にも当てはまる。HL7はこのような要件に対し、情報の送信時にタイムゾーン情報を必須とすることで対応している。しかしながら、HL7は受信側でここで論じたいずれの処置をとるのかについては言及していない。

TM 時間

HL7 成分表—TM 時刻

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
	16			Time 時刻

書式：HH[MM[SS[.S[S[S[S]]]]]] [+/-ZZZZ]

以前のHL7バージョンでは、24時間表記法による書式HHMM[SS[.SSSS]][+/-ZZZZ]を常に使用していた。表記する桁数で精度が規定される。秒指定(SS)はオプションである。存在しない場合、分までの精度と解釈される。小数の秒指定は同様にオプションである。小数の秒は、秒より高い精度の時間を必要とする場合に送信される。分、時間、またはそれ以上の時間単位を小数で表記することはできない。発信者の時間帯は、万国標準時(以前はグリニッジ標準時として知られていた)からのオフセットとしてオプションで送られることがある。発信者の時間帯が特定のTMフィールドに存在しないが、MSHセグメントの日時フィールドの一部として含まれる場合は、MSH値がデフォルトの時間帯として使われる。それ以外の場合、その時間は発信者の現地時間を参照するものと解釈される。真夜中は0000と表記する。

午前 6:30 を示す場合： |0630|

秒の端数は1秒よりも細かい精密さを必要とする送信者により送られることがある。分、時あるいはその他のより大きな単位についての端数は許されていない。

任意で送信者のタイムゾーンを協定世界時（以前のグリニッジ標準時）からのオフセットとして送信することができる。特定のTMフィールドでタイムゾーンが明示されず、MSHセグメントの日付/時刻フィールドの一部としてタイムゾーンが含まれている場合には、MSHの値がデフォルトのタイムゾーンとなる。それ以外の場合、時刻は送信者の現地時間を参照していると理解される。

Time	Description
0000	真夜中
235959+1100	協定世界時より 11 時間進んでいるタイムゾーン（すなわち、グリニッジより東）での真夜中の 1 秒前
0800	午前 8 時、送信者の現地時間
093544.2312	午前 9 時 35 分から 44.2312 秒後、送信者の現地時間
13	午後 1 時（時までの精度）、送信者の現地時間

HL7 Ver.2.3より以前にはこのデータ型はHHMM[SS[.SSSS]][+/-ZZZZ]の形式に定められていた。

HL7 Ver.2.3より、分がもはや必須ではなくなった。HL7旧バージョンとの互換性を保たなければならない場合、施設特有の合意により、HHMM[SS[.SSSS]][+/-ZZZZ]の形式を用いることができる。

TS タイムスタンプ

HL7 成分表—TS タイムスタンプ

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	24	DTM	R	Time 時刻
2	1	ID	B	Degree of Precision 精度

日付と時間を含む、イベントの正確な時間から成る。書式はつぎのようである。

書式：YYYYLLDD[HHMM[SS[.SSSS]][+/-ZZZZ]]^<精度>

タイムスタンプの日付部は日付フィールドの規則に従う。時間部は時間フィールドの規則に従う。表記する桁数により精度が規定される。すなわち、誕生日として使われるとき、HHMM部が省略されれば日付であり、HHMM部を0000とすると、まさに明けようとしているその日の真夜中(0時0分)になる。HL7コード化規則の中で使われる特定のデータ表記はISO 8824-1987(E)との互換性がある。オプションの精度はHL7旧バージョンとの互換性のためにあり、その日時の精度を示す(Y=年、L=月、D=日、H=時間、M=分、S=秒)。

HL7規格では、すべてのシステムが日常的に時間帯オフセットを送るよう強く推奨するが、強制はしない。HL7システムではすべて時間帯オフセット受け入れる必要があるが、その実装はアプリケーションに任される。多くのアプリケーションの場合、関心ある時間はその発信者の現地時間である。たとえば、東部標準時間帯にあるアプリケーションが12月11日午後11:00にサンフランシスコで入院が発生したという通知を受けた場合、その入院を12月12日ではなくて(現地時間の)12月11日に発生したものとして扱うのがよい。

この規則における例外は、臨床システムが、互いに近くに存在しながら時間帯の異なる複数の病院で収集された患者データを処理する場合である。そのようなアプリケーションは、そのデータを共通の表記に変換することがある。同じような問題は、サマータイムとの切り替え時にも発生する。HL7は、情報の送信時に時間帯情報を含めるようにすることで対応する。しかし、ここで検討した処理のどちらを受信システムが採用するかは指定しない。

第1成分 Time 時刻(DTM)

この成分の完全な記述については「DTM - 日付/時刻」を参照。

第2成分 Degree of Precision 精度(ID)

注：HL7 Ver.2.3 より HL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ保持している。現在の精度の指定方法については成分1を参照。

タイムスタンプの精度を示す (Y=年、L=月、D=日、H=時、M=分、S=秒)。有効な値については「HL7表0529-精度」を参照。

HL7 表 0529-精度

Value	Description
Y	年
L	月
D	日
H	時
M	分
S	秒

精度は最初の成分で示された精度と同一またはそれを上書きすることに注意。より精密な精度を指定してはいけない。以下の例では、2番目の成分は最初の成分を上書きし、粗い精度、1999年4月、を示す。

例： |199904011200^L|

CE コード化値

HL7 成分表-CE コード化値

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	20	ST	O	Identifier 識別子
2	199	ST	O	Text テキスト
3	20	ID	O	Name of Coding System コード体系名称
4	20	ST	O	Alternate Identifier 代替識別子
5	199	ST	O	Alternate Text 代替テキスト
6	20	ID	O	Name of Alternate Coding System 代替コード体系名称

注：HL7 Ver.2.5 より HL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ維持されている。CNE および CWE データ型を参照。

このデータ型は、コード、およびそのコードと関連するテキストを送る。

|54.21^Laparoscopy^I9^42112^^AS4|

|F-11380^CREATININE^I9^2148-5^CREATININE^LN|

代替成分 (4, 5, 6) についての使用上の注意 :

これら 3 つの成分は、代替表現およびローカルなコード体系成分用に、1、2 および 3 と相似する形で定義されている。代替テキスト成分が存在せず、代替識別子が存在する場合は、代替テキストはテキスト成分と同じと解釈される。代替コード体系成分が存在しない場合は、ローカル定義のコード体系であると解釈される。

第1成分 Identifier 識別子 (ST)

後ろの<text>によって参照される項目を一意に識別する文字列(コード)。

コード体系が異なると、ここに入る識別子も異なる。

第2成分 Text テキスト (ST)

識別子の叙述的あるいはテキスト表現による名称、例えば、心筋梗塞あるいはX線検査。

第3成分 Name of Coding System コード体系名称 (ID)

識別子成分で用いられているコード体系を示す。識別子とコード体系名称の2つの成分の組み合わせで、データの品目に対する一意的なコードとなる。それぞれのコード体系は一意的な識別子を持つ。

有効な値については「HL7表0396-コード体系表」を参照。

第4成分 Alternate Identifier 代替識別子 (ST)

「代替成分 (4, 5, 6) についての使用上の注意」を参照。

第5成分 Alternate Text 代替テキスト (ST)

「代替成分 (4, 5, 6) についての使用上の注意」を参照。

第6成分 Name of Alternate Coding System 代替コード体系名称 (ID)

「代替成分 (4, 5, 6) についての使用上の注意」を参照。

注：このデータ型では 2 組の等価コードを表現しているが、それは CE 型フィールドの反復とは意味が違う。反復を用いる場合は、いくつかの明瞭なコード（明瞭な意味を持つコード）を送信するのが普通である。

CF 書式付コード化値

HL7 成分表—CF 書式付コード化値

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	20	ST	O	Identifier 識別子
2	65536	FT	O	Formatted Text 整形済みテキスト
3	20	ID	O	Name of Coding System コード体系名称
4	20	ST	O	Alternate Identifier 代替識別子
5	65536	FT	O	Alternate Formatted Text 代替テキスト
6	20	ID	O	Name of Alternate Coding System 代替コード体系名称

このデータ型は、コード、およびそのコードと関連する書式付テキストを送る。このデータ型は、レポートの詰め込みテキスト部に使用する書式付テキスト(たとえば、単純胸部X線について標準的に記述された放射線所見など)を初めて送る場合に使用する。受信システムは、この情報を保存し、次のメッセージではその識別子だけを送信する。このデータ型のもう一つの考えられる使用法は、書式付テキストを含むマスタファイル・レコードを送ることである。主要成分、代替成分とも、成分2および成分5が書式付テキストデータ型であるという点を除いて、CEデータ型の場合と全く同様に定義される。

例：

```
OBX||CF|71020^CXRA^CPMC||79989^H>Description:\N\ \.sp\ \ti+4Heart is not enlarged.  
There is no evidence of pneumonia, effusion, pneumothorax or any masses.  
\.sp+3\ \H\Impression:\N\ \.sp\ \ti+4Negative chest.^CPMC
```

第1成分 Identifier 識別子(ID)

<テキスト>で言及される品目を一意に特定する文字の並び(コード)。コード体系が異なると、ここに入る識別子も異なる。

第2成分 Formatted Text 整形済みテキスト(FT)

当該の事項についての叙述的あるいはテキスト表現による名称で、整形用の指示が付加されている。

第3成分 Name of Coding System コード体系名称(ID)

使用されているコード体系名称を含む。有効な値については「HL7表0396-コード体系表」を参照。

第4成分 Alternate Identifier 代替識別子(ST)

<テキスト>で言及される品目を一意に特定するもう一組の文字の並び(コード)。この識別子は成分1のものと同義となる。

第5成分 Alternate Formatted Text 代替整形済みテキスト(FT)

代替識別子の叙述的あるいはテキスト表現による名称で、埋め込み型の整形用の指示が付加されている。

第6成分 Name of Alternate Coding System 代替コード体系名称(ID)

代替識別子で用いられているコード体系を示す。有効な値については「HL7表0396-コード体系表」を参照。

CNE 例外なしコード化値

HL7 成分表-CNE 例外なしコード化値

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	20	ST	R	Identifier 識別子
2	199	ST	O	Text テキスト
3	20	ID	O	Name of Coding System コード体系名称
4	20	ST	O	Alternate Identifier 代替識別子
5	199	ST	O	Alternate Text 代替テキスト
6	20	ID	O	Name of Alternate Coding System 代替コード体系名称
7	10	ST	C	Coding System Version ID コード体系バージョンID
8	10	ST	O	Alternate Coding System Version ID 代替コード体系バージョンID
9	199	ST	O	Original Text 元のテキスト

コード化された要素と、そのコードに関連付けられた詳細を示す。CNEデータ型は必須あるいは識別子が必須の場合に用いる。指定されたHL7あるいは外部定義された表を使わなければならない、ローカルの値で拡張することは許されない。テキストはコードを置き換えてはならない。CNEフィールドには、そのフィールドと関連付けられたHL7表か、外部定義の表が必ず存在しなければならない。その表は標準規格で明記されていなければならない。

第1成分 Identifier 識別子(ST)

ユニークな文字のつながり(コード)である<テキスト>を参照するための識別項目である。コード体系が異なると、ここに入る識別子も異なる。

注：この識別子は必須であり、有効なコードである必要がある。

第2成分 Text テキスト(ST)

識別子の叙述的あるいはテキスト表現による名称、例えば、心筋梗塞あるいはX線検査。この成分のデータ型は文字列(ST)である。識別子に対してコード体系が割り当てたテキストである。

注：コードに対するテキストの記述は省略可能であるが、特に接続テストやデバッグの際に、メッセージの正確性の確認を容易にするため、その使用は推奨されている。

第3成分 Name of Coding System コード体系名称(ID)

それぞれのコード体系は一意的な識別子を割り当てる。この成分は識別子成分で用いられているコード体系を示す。識別子とコード体系名称の組み合わせで、データの品目に対する一意的なコードとなる。それぞれのコード体系は一意的な識別子を持っている。

有効な値については「HL7表0396-コード体系表」を参照。

注：コード体系は、明示され、許されているコード体系の集合に含まれる値を持つか、明示されない場合は、HL7 コード体系を意味するコードの値を持つと同じ意味に解釈されるかのいずれかである。有効な値については「HL7 表 0396-コード体系表」を参照

第4成分 Alternate Identifier 代替識別子(ST)

上の「識別子」に類似している。

注：代替識別子はローカルのコードまたは記述した際にユーザが想定したコードを表現するのに用いられる。明示された場合は、成分1で述べられたのと同じ規則や解釈に従う。もし、双方が明示された場合には、成分4の識別子と成分1の識別子は全く同じ意味を持つ必要がある。すなわちこれらは正確な同義語である必要がある。

第5成分 Alternate Text 代替テキスト(ST)

上記の「テキスト」に類似している。

注：成分5が明示された場合は、成分2について述べられたのと同じ規則および解釈に従う。

第6成分 Name of Alternate Coding System 代替コード体系名称(ID)

上記の「コード体系名称」に類似している。

注：成分6が明示された場合、成分3と同じ使用規則および解釈に従う。

第7成分 Coding System Version ID コード体系バージョンID(ST)

成分3で特定されるコード体系バージョンID。この成分は概念的には成分1から3に属するが、HL7旧バージョンとの互換性のためにのみこの場所に現れている。

注：コード体系が「HL7 コード体系」以外のどの体系であっても、バージョンIDの値を指定しなければならない。コード体系が「HL7 コード体系」の場合は、バージョンIDは実際の値を持って、空白でもよい。バージョンIDが空白の場合は、メッセージヘッダのHL7バージョン番号と同じ値を持つと解釈される。コードのテキスト記述は省略可能であるが、特にインターフェーステストやデバックに役立つので、この成分を使用することが推奨されている。

第8成分 Alternate Coding System Version ID 代替コード体系バージョンID(ST)

成分6で特定されたコード体系バージョンID。この成分は概念的には代替成分に含まれるがこの場所に現れるのはHL7旧バージョンとの互換性のためにのみである。

注：成分8が明示された場合は、成分7で記述された使用規則と解釈に従う。

第9成分 Original Text 元のテキスト(ST)

特定のコードが割り当てられる前に、自動処理または人間に提示されていた元のテキスト。

CNN 単純化複合 ID 番号と名称

HL7 成分表－CNN 単純化複合 ID 番号と名称

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	15	ST	O	ID Number ID 番号
2	50	ST	O	Family Name 姓
3	30	ST	O	Given Name 名
4	30	ST	O	Second and Further Given Names or Initials Thereof 2 番目以降の名またはそれらのイニシャル
5	20	ST	O	Suffix (e.g., JR or III) 接尾辞(例、JR または III)
6	20	ST	O	Prefix (e.g., DR) 接頭辞 (例 DR)
7	5	IS	O	Degree (e.g., MD) 学位 (例 MD)

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
8	4	IS	C	Source Table 出典表
9	20	IS	C	Assigning Authority-Namespace 割当て権限者-ネームスペース ID
10	199	ST	C	Assigning Authority-Universal ID 割当て権限者-汎用 ID
11	6	ID	C	Assigning Authority-Universal ID Type 割当て権限者-汎用 ID 型

注：OBR-32、OBR-33、OBR-34、OBR-35 で使われていた CM で実現できる、もともとのデータ型 CN を改良。しかしながら、現在の実施例と整合性を持ち、HL7 旧バージョンとの互換性をこわさないよう、成分 7 と 8 は、データ型 IS に昇格した。

識別子と人の名前の両方を使って、人物を明記する。

第1成分 ID Number ID番号 (ST)

使用者定義表によるコード化されたID。成分1が明示された場合には成分8または9、または10と11の両方の値を入れる必要がある。

第2成分 Family Name 姓 (FN)

この成分は人物の姓を文字列形式で含む。

第3成分 Given Name 名 (ST)

名を明記するのに用いる。

第4成分 Second and Further Given Names or Initials Thereof 2番目以降の名またはそれらのイニシャル (ST)

2番目以降の名、またはそれらのイニシャル。

第5成分 Suffix (e.g., JR or III) 接尾辞(例、JR または III) (ST)

名前の接尾語を明記するのに用いる。(例 JR または III)

第6成分 Prefix (e.g., DR) 接頭辞 (例 DR) (ST)

名前の接頭語を明記する。(例 DR)

第7成分 Degree (e.g., MD) 学位 (例 MD) (IS)

教育における学位(例、MD)を明記するのに用いる。提案されている値については「使用者定義表0360-学位/免許/資格」を参照。

使用者定義表 0360-学位/免許/資格

Value	Description	Value	Description
PN	上級実践看護師	MD	医学博士
AAS	商業・技術準学士	DO	整骨治療学博士
AA	一般教養準学士	EMT	救急救命士
ABA	経営学準学士	EMTP	救急救命士-パラメディック
AE	工学準学士	FPNP	家庭医学診療看護師
AS	理学準学士	HS	高校卒業
BA	学士	JD	監察医
BBA	経営学士	MA	修士
BE	工学士	MBA	経営学修士
BFA	芸術学士	MCE	土木学修士
BN	看護学士	MDI	神格学修士
BS	理学士	MED	教育学修士
BSL	法理学士	MEE	電気工学修士
BSN	看護理学士	ME	工学修士
BT	神学士	MFA	芸術学修士

Value	Description	Value	Description
CER	資格	MME	機械工学修士
CANP	認定成人疾患診療看護師	MS	理学修士
CMA	認定補助医師	MSL	法理学修士
CNP	認定診療看護師	MSN	看護理学修士
CNM	認定看護助産師	MT	神学修士
CRN	認定登録看護師	MDA	診療助手
CNS	認定専門看護師	MT	臨床技師
CPNP	認定小児疾患診療看護師	NG	在学中
DIP	免状	NP	診療看護師
DBA	経営学博士	PA	医師助手
DED	教育学博士	RMA	登録診療助手
PharmD	薬学博士	RPH	登録薬剤師
PHE	工学博士	SEC	秘書資格
PHD	哲学博士	TS	商業学校卒業
PHS	理学博士		

第8成分 Source Table 出典表(IS)

提案されている値については「使用者定義表0297－CN ID出典」を参照。最初の成分を記述するのに用いる。第1成分が値を持つとき、成分8または9または成分10と11の両方に値が必要である。

使用者定義表 0297－CN ID 出典

Value	Description
	推奨できる値はない

第9成分 Assigning Authority-Namespace ID 割当て権限者-ネームスペースID(IS)

割当て権限者は通常HDデータ型で表現されるが、このデータ型では全ての情報を表現できる3つの成分に展開されている(CNS.9, CNS.10 およびCNS.11)。将来HDデータ型に成分が追加される場合は、このデータ型にも同様の調整が必要となることに注意。第1成分が値を持つときには、成分8または9または10と11の両方に値を設定する必要がある。

第10成分 Assigning Authority-Universal ID 割当て権限者-汎用ID(ST)

定義については「割当て権限者 (HD)」を参照。

第11成分 Assigning Authority-Universal ID Type 割当て権限者-汎用ID型(ID)

成分11が値を持つとき、この成分に値を設定する必要がある。第1成分が値を持つときには、成分8または9または10と11の両方に値を設定する必要がある。有効な値については、「HL7表0301－汎用ID型」を参照。

CWE 例外を含むコード化値

HL7 成分表－CWE 例外を含むコード化値

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	20	ST	O	Identifier 識別子
2	199	ST	O	Text テキスト
3	20	ID	O	Name of Coding System コード体系名称
4	20	ST	O	Alternate Identifier 代替識別子
5	199	ST	O	Alternate Text 代替テキスト
6	20	ID	O	Name of Alternate Coding System 代替コード体系名称

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
7	10	ST	C	Coding System Version ID コード体系バージョン ID
8	10	ST	O	Alternate Coding System Version ID 代替コード体系バージョン ID
9	199	ST	O	Original Text 元のテキスト

定義：コード化された要素と、その要素に結びついた詳細を表す。CWEデータ型は、1) 1以上の表が適用されることがある、あるいは、2) 指定されたHL7表または外部定義の表がローカルの値で拡張されることがある、あるいは、3) 文字列が指定された場合にコードが省略されることがある場合に用いられる。

使用上の注意：これは、一般的にはコードを用いて送信されるが、例外的な個体について、あるいは施設での合意に基づいて、コードが省略されることがあるフィールドである。例外的な実例は、使用されているコード体系が、文字列で表現されている概念を記述できないときに生じる。

成分1-3と7は以下の3つの方法のうちの1つで用いられる。

a) コード化

識別子はあるコード体系からの有効なコードを含んでいる。コード体系は明示され、許されているコード体系の集合に含まれる値を持つか、コード体系は明示されていないが、HL7コード体系と同じ意味を持つコードが指定されていると解釈されるかのいずれかである。有効な値については「HL7表0396-コード体系表」を参照。コード体系が"HL7コード体系"とは異なるいずれかのコード体系であるときには、バージョンIDに実際のバージョンIDの値を設定する必要がある。コード体系が"HL7コード体系"であるときには、バージョンIDには実際のバージョンIDの値を設定するか、指定されていなくても良い。バージョンIDが指定されていない場合には、メッセージヘッダのHL7バージョン番号と同じと解釈される。文字列の記述は省略可能だが、テストやデバッグの際のメッセージの可読性のために、文字列の記述を使うことが推奨されている。

例1a: 検査の識別子としてLOINCが指定されており、検査の値がCWEの値として送られようとし、その検査の値はSNOMEDからとられているOBXセグメント。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABO Group^LN|1|F-D1250^Type O^SNM3^3.4||N||F<cr>
```

例1b: 検査内容の識別子がLOINCコードで、検査結果の値がCWEの値として送信される場合で、その値は（現在は仮想の）HL7表からとられている、OBXセグメント。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABO Group^LN|1|O^Type O^HL74875^2.3.1||N||F<cr>
```

b) 非コード化

テキストの値は設定されているが識別子は値を持たず、コーディング体系とバージョンIDは上記の選択肢1と同様の規則に従う場合。

例2: 検査内容の識別子がLOINCコードで、検査結果の値がCWEの値として送信される場合で、その値は、正しい診療上の値が"Wesnerian"であり、これが許される値の集合に見当たらないため、文字列で送信されているOBXセグメント。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABO Group^LN|1|^Wesnerian^SNM3^3.4||A||F<cr>
```

c) データ欠落

コード体系名称が「HL7 CWE状態」で、バージョンIDが実際の値が指定されたか、バージョンIDが提示されず、メッセージヘッダのバージョンと同じ意味を持つかの場合で、識別子の値は許されるCWEフィールド状態のうちの一つから取られている。CWEフィールド状態の許される値は下に示されており、将来HL7ボキャブラリーの一部として管理されると思われる。コードに対する文字列による記述は省略可能。

例3: 検査内容の識別子がLOINCコードで、検査結果の値はLCEの値として送られる場合で検査が実施されなかったため検査値が送れない場合のOBXセグメント。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABO Group^LN|1|NAV^Not Available^HL70353^2.3.1||N||F<cr>
```

成分9

この成分は特定のコードが割り当てられる前に、自動処理または人間に提供される元の文字列を表す。このフィールドは省略可能である。

成分3-6および8

成分3-6および8は省略可能である。これらはローカルのコードまたは記述した際にユーザが想定したコードを表現するのに用いられる。明示された場合は、(CWEデータ型の)成分1-3および7で述べられたのと同じ規則や解釈に従う。もし、双方が明示された場合には、成分4の識別子と成分1の識別子は全く同じ意味を持つ必要がある。すなわちこれらは正確な同義語である必要がある。

例4：検査内容の識別子はLOINCコードで、検査結果はCWEで送信される場合で、その値はSNOMEDから取られる場合のOBXセグメント。ユーザが想定したコードを記述するフィールドがローカルのコード体系(99LAB)を表現するために送信側のシステムで使用されている。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABO Group^LN|1|F-D1250^Type O^SNM3^O^O Type
Blood^99LAB^3.4^|||||F<cr>
```

値を取らない様々な状態に対し、状態値の表をCWEで使う場合の使用上の注意のまとめ：

CWEデータ型は、コード化が必須でないか、認められた値の集合に、まだ含まれていない項目について文字列を送ることを許容しているコード化されたフィールドに使われるべきである。通常の場合、識別子は値の集合から選ばれたコードの値をとる。フィールドの値は知られていて、値の集合に含まれない場合は、値は文字列で送られ、識別子は値を持たない。フィールドの状態が不明であるばあいは、フィールドの第3の形式が用いられ(上記データ欠落を参照)、フィールドに対し適切な状態を表す値が許される状態の値の表から選択される。コードが存在しない場合についての有効な値は「HL7表0353-CWE状態」を参照。

HL7 表 0353-CWE 状態

Value	Description
U	不明
UASK	照会したが不明
NAV	利用不能
NA	対象外
NASK	未照会

文字列の修飾子がコードに付随する場合、HL7メッセージの「フィールド」はCWEデータ型で、かつ繰り返しが許容されることになる。最初のフィールドの個体は選択肢1にしたがって用いる。すなわち識別子は、有効なコードを持つことになる。繰り返されるフィールドの2番目のエンティティは選択肢2にしたがって用いる、すなわち文字列による記述は、自由文による修飾子の値を取ることになる。

第1成分 Identifier 識別子(ST)

言及される品目を一意に特定する文字の並び(コード)。コード体系が異なると、ここに入る識別子も異なる。

第2成分 Text テキスト(ST)

識別子の叙述的あるいはテキスト表現による名称、例えば、心筋梗塞あるいはX線検査。

第3成分 Name of Coding System コード体系名称(ID)

識別子成分で用いられているコード体系を示す。

識別子とコード体系名称の組み合わせで、データの品目に対する一意的なコードとなる。それぞれのコード体系は一意的な識別子を持っている。有効な値については「HL7表0396-コード体系表」を参照。

第4成分 Alternate Identifier 代替識別子(ST)

言及される品目を一意に特定するもう一組の文字の並び(コード)。「CWE 例外を含むコード化値-使用上の注意」を参照。

第5成分 Alternate Text 代替テキスト(ST)

代替識別子の叙述的あるいはテキスト表現による名称。成分2の「文字列」と類似。「CWE 例外を含むコード化値-使用上の注意」を参照。

第6成分 Name of Alternate Coding System 代替コード体系名称(ID)

代替識別子成分で用いられているコード体系を示す。「CWE 例外を含むコード化値－使用上の注意」を参照。

第7成分 Coding System Version ID コード体系バージョンID(ST)

成分1-3で特定されるコード体系バージョンID。この成分は概念的には成分のグループ1-3に属するが、HL7旧バージョンとの互換性のためにのみこの場所に現れている。

第8成分 Alternate Coding System Version ID 代替コード体系バージョンID(ST)

成分4-6で特定されるコード体系バージョンID。この成分は概念的には代替成分のグループ（「CWE 例外を含むコード化値－使用上の注意」を参照）に属するが、HL7旧バージョンとの互換性のためにのみこの場所に現れている。

第9成分 Original Text 元のテキスト(ST)

特定のコードが割り当てられる前に、自動処理または人間に提示されていた元の文字列。

CX チェックデジット付き拡張複合 ID

HL7 成分表－CX チェックデジット付き拡張複合 ID

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	15	ST	R	ID Number ID 番号
2	1	ST	O	Check Digit チェックデジット
3	3	ID	O	Check Digit Scheme チェックデジット形式
4	227	HD	O	Assigning Authority 割当権限者
5	5	ID	O	Identifier Type Code 識別子型コード
6	227	HD	O	Assigning Facility 割当施設
7	8	DT	O	Effective Date 発行日付
8	8	DT	O	Expiration Date 失効日付
9	705	CWE	O	Assigning Jurisdiction 割当管轄
10	705	CWE	O	Assigning Agency or Department 割当期間または行政組織

このデータ型はIDとそれに付随する管理上の詳細を示すのに使われる。

注：ID が英数字の場合、チェックデジットとチェックデジット形式は null となる。

例： |1234567^4^M11^ADT01^MR^University Hospital|

第1成分 ID Number ID番号(ST)

識別子の値そのもの。

第2成分 Check Digit チェックデジット(ST)

このデータ型でのチェックデジットは、メッセージ処理系により生成された後付けのものではない。識別番号の一部分で、送信側アプリケーションで使用される部分が、この成分でいうチェックデジットである。送信側のアプリケーションが自己生成のチェックデジットを識別番号に含めていない場合は、この成分はnullにしなければならない。

第3成分 Check Digit Scheme チェックデジット形式(ID)

使用されているチェックデジット形式の指定を含む。有効な値について「HL7表0061－チェックデジット形式」を参照。

HL7 表 0061－チェックデジット形式

Value	Description
NPI	米国医療従事者識別子に使用されているチェックデジットアルゴリズム
ISO	ISO 7064: 1983
M10	Mod 10 アルゴリズム

Value	Description
M11	Mod 11 アルゴリズム

Mod10チェックデジットを計算するためのアルゴリズムは以下の通り。

識別子=12345を持つと仮定した場合、右側から数えて奇数桁、つまり531を2倍して1062を得る。右から数えて偶数桁、すなわち42を取り、これに1062を付加して421062を得る。この数字の6桁すべてを加算して15を得る。15の次に大きい10の倍数からこの数を減ずる、つまり20-15により5を得る。これがMod10である。401の場合のMod10チェックデジットは0である。9999の場合は4である。99999999の場合は8である。

用語

- D = 1の位から初めて、10の位、100の位と続く順番で振った、桁をあらわす数
- W = 1の位から初めて、10の位、100の位の順番で、2, 3, 4, 5, 6, 7, 2, 3, 4, 5, 6, 7と6桁ごとに繰り返す重みの数値
- C = チェックデジット

計算

- (Step 1) m = 1の位から順に1番目、2番目、...の(d*w)の総和
ただし、d=1の位から最上位の方向に数える桁番号
かつ、w=1の位から始めて6桁ごとに繰り返す2から7までの重み付けの数字
- (Step 2) c1 = m mod 11
- (Step 3) if c1 = 0ならば、c1=1にリセットする
- (Step 4) = (11 - c1) mod 10

例：番号が1234567であれば、mod 11 チェックデジット=4
計算は以下の通り

$$\begin{aligned}
 M &= (7*2)+(6*3)+(5*4)+(4*5)+(3*6)+(2*7)+(1*2) \\
 &= 14 + 18 + 20 + 20 + 18 + 14 + 2 \\
 &= 106 \\
 c1 &= 106 \text{ mod } 11 \\
 &= 7 \\
 c &= (11-c1) \text{ mod } 10 \\
 &= 4 \text{ mod } 10 \\
 &= 4
 \end{aligned}$$

上記以外のチェックデジットは、関係者双方の取り決めにより使うことができる。

第4成分 Assigning Authority 割当権限者(HD)

割当権限者は、データを生成したシステム（組織、政府機関、部署）の一意的な名称である。有効な値については「使用者定義表0363－割当権限者」を参照。

使用者定義表 0363－割当権限者

Value	Description
	推奨できる値はない

第5成分 Identifier Type Code 識別子型コード(ID)

IDの型に対応するコード。場合によっては、このコードが「割当権限者」成分の修飾語として用いられることもある。有効な値については「HL7表0203－ID型」を参照。

HL7 表 0203－ID 型

Value	Description	Comment
AM	アメリカン・エクスプレス	HL7 Ver.2.5 で非推奨となり、BC に置き換えられた
AN	勘定番号	勘定に対する一意的な識別子

Value	Description	Comment
ANON	匿名識別子	生物に対する識別子で、その本当の出自が保護されているか、参照の正当化が制限されているもの：公衆衛生報告には、特定の結果の報告をする際に患者の出自を保護するため、匿名識別子が時々使用される。例えば、州の健康局は HIV 抗体が陽性となった患者の報告に、ある生成規則による匿名識別子を使用するかもしれない。 匿名識別子は PID 3 で、医療記録番号やその他の匿名でない識別子の代わりに用いることができる。匿名識別子の割当権限者は州や地域の健康局であろう。
ANC	債権者勘定番号	クラス：会計 勘定番号のより正確な定義；2つの別の勘定番号が同じメッセージで送信する必要があるときがあり、ひとつは債権者のであり、もうひとつは債務者のである。Kreditorenkontonummer（ドイツ語で）「債権者勘定番号」
AND	債務者勘定番号	クラス：会計 勘定番号のより正確な定義；2つの別の勘定番号が同じメッセージで送信する必要があるときがあり、ひとつは債権者のであり、もうひとつは債務者のである。Debitorenkontonummer（ドイツ語で）「債務者勘定番号」
ANT	暫定勘定番号	クラス：会計 勘定番号の暫定版 ユースケース：通常は勘定番号を割り当てしない補助システムが最初に患者を登録する。補助システムが、公式な勘定番号が割り当てられるまで使用する暫定勘定番号を生成する。
APRN	上級診療看護師番号	認定委員会の管轄下で重複しない上級診療看護師に対する識別子
BA	銀行口座番号	クラス：会計
BC	銀行カード番号	クラス：会計 個人の銀行カードについて一意的な識別子。HL7 Ver.2.5 より、AM、DI、DS、MS および VS を置き換える。
BR	出生記録番号	
BRN	品種登録番号	
CC	コストセンター番号	クラス：会計 ユースケース：特に伝票に関する情報を送信する場合に必要となる。
CY	郡番号	
DDS	歯科医免許番号	免許委員会の管轄内で重複しない歯科医に対する識別子
DEA	薬物施行管理登録番号	統制されている物質の管理や取り扱いに関わる個人や組織に対する識別子 ユースケース：これは、統制されている物質の管理や取り扱いに関わる個人や組織に対する識別子である。 DEA 番号は米国内では非常に明確で広く受け入れられた意味をもっている。米国内では米国麻薬取締局だけが DEA 番号だけを割り当てているのではない。病院は、そこに勤務する研修医師に DEA 番号を発行する権限をもつ。これらの DEA 番号は病院の DEA 番号に基づくが、研修医師への割り当て権限は病院にある。このため識別子型としての DEA と共に、割当権限者としての DEA が必要である。
DI	ダイナースクラブカード	HL7 Ver.2.5 で非推奨となり、BC に置き換えられた
DFN	薬剤調達あるいは処方権限者番号	医療従事者に割り当てられる識別子で、その人に薬剤オーダを書く権限を与える ユースケース：診療看護師は薬剤を調達または処方する権限を持つ；成分 1 にこの識別子を含む。
DL	運転免許番号	
DN	医師番号	
DPM	足病医免許番号	免許委員会の管轄内で重複しない足病医に対する識別子
DO	整骨医免許番号	免許委員会の管轄内で重複しない整骨医に対する識別子
DR	ドナー登録番号	
DS	ディスカバーカード	HL7 Ver.2.5 で非推奨となり、BC に置き換えられた
EI	被雇用者番号	ある雇用者について被雇用者を唯一特定する番号

Value	Description	Comment
EN	雇用者番号	
FI	施設 ID	
GI	保証人内部識別子	クラス：会計
GL	総元帳番号	クラス：会計
GN	保証人外部番号	クラス：会計
HC	健康カード番号	
JHN	管轄下健康番号（カナダ）	クラス：保険 2通りの使い方があり： a) UK 管轄下の CHI 番号； b) カナダの州の健康カード番号；
IND	先住民／原住民	カナダ外の先住民あるいは原住民集団のメンバーに割り当てられた番号
LI	労働および産業番号	
LN	免許番号	
LR	地方登録 ID	
MA	患者メディケイド番号	クラス：保険
MB	会員番号	ある保険契約の被保険者に対する識別子（この被保険者は必ず契約者を持つ）で通常保険会社によって割り当てられる。 ユースケース：ある人が保険契約によって保証される。この人はその契約の契約者である場合も、契約者でない場合もある。
MC	患者のメディケア番号	クラス：保険
MCD	医療従事者 メディケイド番号	クラス：保険
MCN	マイクロチップ番号	
MCR	医療従事者 メディケア番号	クラス：保険
MD	医師免許番号	免許委員会の管轄内で重複しない医師に対する識別子 ユースケース：これらの免許番号は識別子として使用される。州によっては以下の3つの識別子を同じ権限者が発行する。すなわち、医師、整骨医、医師補助者の免許が全てひとつの州の医療委員会で発行される。この場合、CX データ型では、成分 1 を性格に解釈するために別個の識別子型が必要となる。さらに、これらの免許型の区別はほとんどの医療現場で非常に重要となる。（このような免許型は免許の情報を全ては伝えないため、セグメントは関連する属性を全て対応する必要があるため）
MI	軍 ID 番号	過去に従軍経験をもつが現在は兵役についていない個人に割り当てられる番号。この番号は国防省または在郷軍人局(VA)が割り当てる。
MR	診療記録番号	一組の診療記録の中で患者について一意的な識別子で、必ずしもひとつのアプリケーションの中で重複を持たないとは限らない。
MRT	暫定診療記録番号	診療記録番号の暫定版 ユースケース：通常は診療記録番号を割り当てしない補助システムが最初に患者を登録する。補助システムが、公式な診療記録番号が割り当てられるまで使用する暫定診療記録番号を生成する。
MS	マスターカード	HL7 Ver.2.5 で非推奨となり、BC に置き換えられた
NE	国定雇用者番号	米国では、この値の割当権限者は一般的に CMS（メディケア・メディケイドセンター）だが、HIPPA に関する取引については、全ての医療従事者および保険会社がこの番号を使用しうる。
NH	国定健康プラン識別子	クラス：保険 英国の NHS（国民健康保健サービス）の国民識別子。 米国では、この値の割当権限者は一般的に CMS（メディケア・メディケイドセンター）だが、HIPPA に関する取引については、全ての医療従事者および保険会社がこの番号を使用しうる。

Value	Description	Comment
NI	国定個人特定識別子	クラス：保険 米国では、この値の割当権限者は一般的に CMS（メディケア・メディケイドセンター）だが、HIPPA に関する取引については、全ての医療従事者および保険会社がこの番号を使用しうる。
NII	国定保険機関識別子	クラス：保険 ドイツでの国制定の保険会社に対する識別子。この識別子は保険カード（健康カード）に印刷されている。健康カード自体の番号と混同しないこと。 Krankenkassen-ID der KV-Karte（ドイツ語）KV カードの健康保険組合 ID
NIIP	国定保険支払者識別子（保険料の支払者）	クラス：保険 ドイツでの保険料の支払者を指す保険組合識別子 Krankenkassen-ID des Rechnungsempfängers（ドイツ語）領収書受取人の健康保険組合 ID ユースケース：下部団体がその識別子でカードを発行するが、その上部団体が保険料の請求に対して支払う場合
NNxxx	xxx は ISO 表 3166 に基づく（アルファベット）3 文字による国コードで、その国が定める個人特定識別子	
NP	診療看護師番号	認証委員会の管轄下で一意的な診療看護師の番号
NPI	国定医療従事者識別子	クラス：保険 米国では、この値の割当権限者は一般的に CMS（メディケア・メディケイドセンター）だが、HIPPA に関する取引については、全ての医療従事者および保険会社がこの番号を使用しうる。
OD	視力測定医免許番号	免許委員会の管轄下で一意的な視力測定医の番号
PA	医師補助者番号	免許委員会の管轄下で一意的な医師補助者の番号
PCN	刑務所／矯正施設番号	収監されている人に割り当てられる番号
PE	法人生物体番号	ある（医療）法人（割当権限者より特定される）内での生物体の番号
PEN	年金番号	
PI	患者内部識別子	割当権限者の内部で一意的な患者の番号
PN	個人番号	割当権限者で一意的な生物体の番号
PNT	暫定生物体番号	生物体番号の暫定版
PPN	パスポート番号	個人をある国の市民であることを保証する文書に与えられる一意的な番号 米国ではこの番号は連邦政府のみによって発番される。
PRC	永住者カード番号	
PRN	医療従事者番号	割当権限者の管轄下で、個々の医療従事者、医療従事者のグループまたは組織について一意的な番号 ユースケース：PRN は個人（看護師）を指すこともグループ／組織（整形外科手術チーム）を指すこともできる。
PT	患者外部識別子	
QA	QA 番号	
RI	リソース識別子	一般化されたリソース識別子。 ユースケース：リソースという名で一般に知られるものを入れるために必要となった識別子型。リソースには人間（例、呼吸療法士）、人間以外の生物（例、伴侶動物）、非生物（例、検査室）、組織（糖尿病教育クラス）やその他物理的、論理的エンティティが含まれる。
RPH	薬剤師免許番号	免許委員会の管轄下で一意的な薬剤師の識別子。
RN	登録看護婦番号	免許委員会の管轄下で一意的な登録看護婦の識別子。
RR	鉄道退職番号	
RRI	地域登録 ID	
SL	州免許	

Value	Description	Comment
SN	保険者番号	クラス：保険 健康保険の保険者に対する識別子で、保険会社の中で重複がなく、また通常保険会社によって割り当てられる。 ユースケース：ある人が健康保険の保険者である。その人の家族はその健康保険の対象者でありうるが、保険者ではない。
SR	州登録 ID	
SS	社会保険番号	
TAX	税 ID 番号	
TN	条約番号／（カナダ）	カナダの先住民グループの構成員に割り当てられる番号 ユースケース：ファースト・ネイション
U	不特定の識別子	
UPIN	メディケア／CMS メディケア・メディケイドセンター(以前の HCFA 医療保険財政管理局)の全米医師識別番号	クラス：保険
VN	受診番号	
VS	ビザ	HL7 Ver.2.5 で非推奨となり BC に置き換えられた。
WC	WIC 母子センター識別子	
WCN	ワーカーズ・コンプ（保険組合）番号	
XX	組織識別子	

第6成分 Assigning Facility 割当施設(HD)

患者に最初に識別子が割り当てられた、建物・場所の識別子。この成分は識別子の固有の部分ではないが、識別子の履歴に関する部分である。この成分は、特定の相互通信システムのために存在している。

第7成分 Effective Date 発行日付(DT)

判明している場合、識別子が正当で有効となる最初の日付。

第8成分 Expiration Date 失効日付(DT)

判明している場合、識別子が正当で有効となる最後の日付。

第9成分 Assigning Jurisdiction 割当管轄(CWE)

成分1の識別子を割り当てた、地勢的行政的機関。発行された識別子についての管轄の管理単位が国である場合、有効な値については「HL表0399－国コード」を参照

HL7 表 0399－国コード

Value	Description
	ISO3166 の 3 文字(アルファベット)を使用

第10成分 Assigning Agency or Department 割当期間または行政組織(CWE)

成分1の識別子を割り当てた機関あるいは行政組織。発行された識別子についての管轄の管理単位が組織、機関、行政組織である場合、提案されている値については「使用者定義表0530－組織、機関、行政組織」を参照。

使用者定義表 0530－組織、機関、行政組織

Value	Description
AE	アメリカン・エクスプレス
DEA	麻薬取締局

Value	Description
DOD	国防省
MC	マスターカード
VA	在郷軍人局
VI	ビザ

XCN 拡張複合 ID と名前

HL7 成分表－XCN 拡張複合 ID と名前

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	15	ST	O	ID Number ID 番号
2	194	FN	O	Family Name 姓
3	30	ST	O	Given Name 名
4	30	ST	O	Second and Further Given Names or Initials Thereof 2 番目以降の名またはそれらのイニシャル
5	20	ST	O	Suffix (e.g., JR or III) 接尾語 (例: JR または III)
6	20	ST	O	Prefix (e.g., DR) 接頭語 (例: DR)
7	5	IS	B	Degree (e.g., MD) 学位 (例: MD) HL7 Ver.2.5 より非推奨
8	4	IS	C	Source Table ID 管理表
9	227	HD	O	Assigning Authority 割当権限者
10	1	ID	O	Name Type Code 名前型コード
11	1	ST	O	Identifier Check Digit 識別子チェックデジット
12	3	ID	C	Check Digit Scheme チェックデジット形式
13	5	ID	O	Identifier Type Code 識別子型コード
14	227	HD	O	Assigning Facility 割当施設
15	1	ID	O	Name Representation Code 名前表記コード
16	705	CWE	O	Name Context 名前の文脈
17	53	DR	B	Name Validity Range 名前の有効範囲
18	1	ID	O	Name Assembly Order 名前構成順序
19	26	TS	O	Effective Date 発行日付
20	26	TS	O	Expiration Date 失効日付
21	199	ST	O	Professional Suffix 専門職の接頭辞
22	705	CWE	O	Assigning Jurisdiction 割当管轄
23	705	CWE	O	Assigning Agency or Department 割当権限者または行政組織

注: HL7 Ver.2.3.1 の CN データ型を置き換える。

ID番号と人の名前を示す必要があるところで用いられる。

```
|12372^RIGGINS^JOHN^""^""^""^AMD^ADT1|
|12372|
|^RIGGINS^JOHN^""^""^""^AMD|
|1234567^Smith^John^J^III^DR^PHD^ADT01^^L^4^M11^MR|
```

第1成分 ID Number ID番号(ST)

成分9で示される使用者定義表によりコード化されたIDを示す文字列。最初の成分が明示された場合にはID管理表または割当権限者に値を入れる必要がある。

第2成分 Family Name 姓(FN)

この成分はある個人の姓を完全に示すことを可能とする。必要なときは、このデータ型は個人の名前が、もともとの姓と配偶者の姓を含んでいる場合に、そのそれぞれを区別する。このデータ型はまた、メッセージにおいて、姓の接頭辞（例えば"van"や"de"のような）の部分と語根の部分とを区別することを可能にする。「FN-姓」を参照。

第3成分 Given Name 名(ST)

名を明記するのに用いる。

第4成分 Second and Further Given Names or Initials Thereof 2番目以降の名またはそれらのイニシャル(ST)

複数のミドルネームを空白で区切って入れることができる。

第5成分 Suffix (e.g., JR or III) 接尾語（例、JRまたはIII）(ST)

名前の接尾語を明記するのに用いる。（例：JrまたはIII）

第6成分 Prefix (e.g., DR) 接頭語（例：DR）(ST)

名前の接頭語を明記する。

第7成分 Degree (e.g., MD) 学位（例：MD）(IS)

HL7 Ver.2.5よりHL7旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。専門職接頭語成分を参照。教育における学位（例、MD）を明記するのに用いる。提案されている値については「使用者定義表0360-学位/免許/資格」を参照。

第8成分 Source Table ID管理表(IS)

この成分に関する使用者定義表の値として「使用者定義表0297-CNID管理表」のHL7識別子が使われている。最初の成分を記述するのに用いる。

第9成分 Assigning Authority 割当権限者(HD)

割当権限者はそのデータを生成したシステム（あるいは組織、政府機関の部署）についての一義的な識別子である。これはHD データ型である。「使用者定義表0363-割当権限者」がHD成分の最初の副成分<ネームスペースID>に与える値のHL7識別子として用いられる。

第10成分 Name Type Code 名前型コード(ID)

名前の型を表すコード。有効な値については「HL7表0200-名前型」を参照。

HL7 表 0200 -名前型

Value	Description
A	別名
B	出生時の名前
C	養子名
D	表示名称
I	免許での名前
L	法律的な名前
M	旧姓
N	ニックネーム/希望呼称/通称
P	パートナー/配偶者の名前 (HL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ)
R	登録名 (動物のみ)
S	匿名性保証のためのコード化された仮名
T	先住民族/部族/共同体での名前
U	不特定

第11成分 Check Digit Scheme 識別子チェックデジット(ID)

使用されているチェックデジット形式の指定を含む。有効な値については「HL7表0061－チェックデジット形式」を参照。

第12成分 Identifier Type Code チェックデジット体系(ID)

識別子の型に対応するコード。場合によっては、このコードが「割当権限者」成分の修飾語として用いられることもある。有効な値については「HL7表0203－ID型」を参照。

第13成分 Identifier Type Code 識別子型コード

識別子の型に対応するコード。場合によっては、このコードが「割当権限者」成分の修飾語として用いられることもある。有効な値については「HL7表0203－ID型」を参照。

第14成分 Assigning Facility 割当施設(HD)

人に最初に識別子が割り当てられた、建物・場所の識別子。この成分は識別子の固有の部分ではないが、識別子の履歴に関する部分である

この成分は、特定の相互通信システムのために存在している。

第15成分 Name Representation Code 名前表記コード(ID)

同じ名前／住所に対する別の名前／住所型および名前／住所表記は、このフィールドを、名前／住所型および／または名前／住所表記を違えて、繰り返すことで表現すべきである。有効な値について「HL7表0465－名前／アドレス表記」を参照。一般的にこの成分はデータ項目で提供される表記の指示を行う。使用されている文字セットを示すことは必要ではない。したがって、表記は何を期待すべきか示すが、それでもなお、送信側は自由に望むどんな文字集合を使っても内容をコード化することができる。この成分は受信者にヒントのみ与えるので、受信側は何が送られてきて何を表示する能力があるかをもとに選択を行うことができる。

HL7 表 0465－名前／アドレス表示

Value	Description
I	表意文字(漢字)
A	シングルバイト英数字
P	表音文字(ASCII、仮名)

第16成分 Name Context 名前の文脈(CWE)

この成分は名前の使われる文脈を示すのに用いられる。主なユースケースはオーストラリアの保険医療においてである。

異なる保険医療施設に入院する場合に、異なる名前を使用することを希望する先住民の患者である。別のユースケースは、米国で、医療従事者が少し異なる名前で免許を受けることができ、管理上の理由で正確な名前を届け出ることがきわめて重要な場合である。提案されている値については「使用者定義表0448－名前の文脈」を参照。

使用者定義表 0448－名前の文脈

Value	Description
	推奨できる値はない

第17成分 Name Validity Range 名前の有効範囲(DR)

HL7 Ver.2.5よりHL7旧バージョンとの互換性のためにのみ保持されている。PPN.20発効日およびPPN.21失効日を参照。この成分は十分に表現することができず、HL7 Ver.2.4の誤りとして認識されている。この成分は、この名前が有効な期間を示す開始と終了の日付／時間を含む。副成分の記述については「DR－日付／時刻範囲」を参照。

第18成分 Name Assembly Order 名前構成順 (ID)

この人名の構成要素の望ましい表示順を表す。有効な値については「HL7表0444－名前構成順」を参照。

HL7 表 0444—名前構成順

Value	Description
G	接頭辞 名 ミドルネーム 姓 接尾辞
F	接頭辞 姓 ミドルネーム 姓 接尾辞

第19成分 Effective Date 発効日付(TS)

値が設定される場合は、住所が正当で有効となる最初の日。

第20成分 Expiration Date 失効日付(TS)

値が設定される場合は、住所が正当で有効である最後の日。

第21成分 Professional Suffix 専門職の接頭辞(ST)

その人の専門職種（例、免許、資格、学位、専門学会の会員）を証明する資格を表示する略語あるいは略語の文字列を示すのに用いられる。人名が表示されるときに、専門職の接頭辞は、通常、姓の後に表示される。この成分は、非整形の文字列で、表示目的のみで用いられることに注意すること。

第22成分 Assigning Jurisdiction 割当管轄(CWE)

成分1の識別子を割り当てた地理・政治上のエンティティ詳細については、「割当管轄 (CWE)」を参照。

第23成分 Assigning Agency or Department 割当権限者または行政組織(CWE)

成分1の識別子を割り当てた割当権限者または割当組織。詳細については、「割り当て機関あるいは行政組織 (CWE)」を参照。

CSU チャンネル感度

HL7 成分表—CSU チャンネル感度

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	60	NM	R	Channel Sensitivity チャンネル感度
2	20	ST	C	Unit of Measure Identifier 測定単位識別子
3	199	ST	C	Unit of Measure Description 測定単位記述
4	20	ID	C	Unit of Measure Coding System 測定単位コード体系
5	20	ST	O	Alternate Unit of Measure Identifier 代替測定単位識別子
6	199	ST	O	Alternate Unit of Measure Description 代替測定単位記述
7	20	ID	O	Alternate Unit of Measure Coding System 代替測定単位コード体系

このデータ型はチャンネルの感度（ゲイン）と、波形検査結果のそのチャンネルの測定単位を示す。

注：HL7 Ver.2.5 より、OBX-5.3 で用いられている CM データ型は、OBX-5 測定値(*)が CD データ型であるときに、このデータ型に置き換えられる。

第1成分 Channel Sensitivity チャンネル感度(NM)

この成分は、波形データの中の1ユニットに関する表示上の値、すなわちアナログデジタル変換の最小ビットの有効解像度とチャンネルの極性を送信する。

第2成分 Unit of Measure Identifier 測定単位識別子(ST)

チャンネル感度についての単位の指定。このフィールドは、測定単位記述が提示されない場合は必須である。

第3成分 Unit of Measure Description 測定単位記述(ST)

測定単位識別子の省略なしのテキスト表現の名称。このフィールドは、測定単位識別子が提示されない場合は必須である。

第4成分 Unit of Measure Coding System 測定単位コード体系(ID)

指定された単位系を示す。提案されている値については「HL7表0396-コード体系表」を参照。このフィールドは、測定単位識別子が提示された場合は必須である。

第5成分 Alternate Unit of Measure Identifier 代替測定単位識別子(ST)

チャンネル感度についての代替単位の指定。

第6成分 Alternate Unit of Measure Description 代替測定単位記述(ST)

代替測定単位識別子の省略なしのテキスト表現による名称。

第7成分 Alternate Unit of Measure Coding System 代替測定単位コード体系(ID)

指定された代替単位系を示す。このフィールドは、代替測定単位識別子が提示された場合は必須である。提案されている値については「HL7表0396-コード体系表」を参照。

DLD 退院先と日付

HL7 成分表-DLD 退院先と日付

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	20	IS	R	Discharge Location 退院先
2	26	TS	O	Effective Date 発行日付

注：HL7 Ver.2.5 より PV1-37 で用いられている CM データ型を置き換える。

患者の退院先の医療施設と日付を示す。

第1成分 Discharge Location 退院先(IS)

患者の退院先である医療施設を示す。提案されている値については「使用者定義表0113-退院先」を参照。

使用者定義表 0113-退院先

Value	Description
	推奨できる値はない

第2成分 Effective Date 発効日付(TS)

患者が別の医療施設へ退院した日を示す。

DLT デルタ

HL7 成分表 - DLT - Delta デルタ

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	33	NR	O	Normal Range 正常範囲
2	4	NM	O	Numeric Threshold 閾値
3	1	ID	O	Change Computation 変化量の計算
4	4	NM	O	Days Retained 保持日数

定義：デルタチェック警告を制御する情報、長さ：45

第1成分 Normal Range 正常範囲 (NR)

定義：参照データの正常範囲を示す。

第2成分 Numeric Threshold 閾値 (NM)

定義：変化が検出される閾値。

例えば、閾値は10に設定。

第3成分 Change Computation 変化量の計算 (ID)

定義：変化量の計算が、パーセント変化あるいは絶対値変化のいずれで行われるかを示す。

採り得る値はHL7表0523 – Computation type 計算型を参照。

HL7 表 0523 – Computation type 計算型

Value	Description
%	Indicates a percent change パーセント変化量で表記
a	Absolute Change 絶対値変化量

第4成分 Days Retained 保持日数 (NM)

定義：デルタチェックの計算のために、値を保持する時間の長さを日数で表す。

EIP エンティティ識別子ペア

HL7 成分表－EIP エンティティ識別子ペア

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	427	EI	O	Placer Assigned Identifier 依頼者割当識別子
2	427	EI	O	Filler Assigned Identifier 実施者割当識別子

注：HL7 Ver.2.5 より、ORC-8、OBR-29、OBR-29 で用いられている CM データ型を置き換える。

ひとつのエンティティに対して、依頼側のシステムあるいは実施側のシステムで割り当てられた識別子を示す。両方の成分に値が入っているときは、それらは同じエンティティを参照しなければならない。

第1成分 Placer Assigned Identifier 依頼者割当識別子(EI)

依頼側のシステムであるエンティティに割り当てられた識別子を示す。例えば、この成分は以下を伝えるために使われる。

- a) 依頼側の元オーダーのオーダー番号
- b) 依頼者が割り当てた検体識別子
- c) 依頼者が割り当てた（あるいは使っている）場所識別子

第2成分 Filler Assigned Identifier 実施者割当識別子(EI)

実施側にシステムであるエンティティに割り当てられた識別子を示す。例えば、この成分は以下を伝えるために使われる。

- a) 実施側での元オーダーのオーダー番号
- b) 実施者が割り当てた検体番号
- c) 実施者が割り当てた（あるいは使っている）場所識別子

ELD エラー場所および説明

HL7 成分表－ELD エラー箇所および記述

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	3	ST	O	Segment ID セグメントID
2	2	NM	O	Segment Sequence セグメント連番
3	2	NM	O	Field Position フィールド位置
4	705	CWE	O	Code Identifying Error エラーを特定するコード

注：HL7 Ver.2.5 より ERR-1 に用いられている CM データ型を置き換える。HL7 Ver.2.5 では HL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ保持される。ERR セグメント参照。

エラーを含むセグメントを示すと共にエラーの性質を記述する。

第1成分 Segment ID セグメントID(ST)

エラーを含んでいるグメント。

第2成分 Segment Sequence セグメント連番(NM)

成分1で示されたセグメントが、そのメッセージ中に複数現れる場合に、そのうちの何番目かを示す。

第3成分 Field Position フィールド位置 (NM)

セグメント中のデータフィールドの前から数えた位置。HL7符号化規則を用いないシステムの場合、データ項目番号を3番目の成分に使用することがある。

第4成分 Code Identifying Error エラーを特定するコード(CWE)

エラーの性質を記述するコード。有効な値については「HL7表0357-メッセージエラー条件表」を参照。

HL7 表 0357 - メッセージエラー条件表

Value	Description	Comment
0	メッセージ受諾	成功。オプションでは、AA が成功を伝えるだけ。常時状態コードを返す必要があるシステムのために利用される
100	セグメントシーケンスエラー	エラー:メッセージセグメントが適当な順番でないか、要求されたセグメントが失われている
101	要求されたフィールドの消失	エラー:要求されたセグメントが消失している
102	データ型エラー	エラー:フィールドが不正なエラーを含んでいる。例えば NM フィールドが"FOO"を含んでいる
103	表の値が見つからない	エラー: データ型 ID が IS のフィールドが対応する表と比較され、合致するものが無い
200	提供されていないメッセージ型	却下:そのメッセージ型は提供されていない
201	提供されていないイベントコード	却下:そのイベントコードは提供されていない
202	提供されていない処理 ID	却下:その処理 ID は提供されていない
203	提供されていないバージョン ID	却下:そのバージョン ID は提供されていない
204	不明なキー識別子	却下: 患者、オーダ等の ID が見つからない。付加以外ではトランザクションに用いられる。例えば存在しない患者の転送
205	キー識別子の重複	却下:患者やオーダ等の ID が既に存在している。付加トランザクションの応答で用いられる(許可、新オーダ等)
206	アプリケーションレコードがロックされている	トランザクションが、アプリケーション格納レベルで実行することができなかった(例えばデータベースのロック)
207	アプリケーション内部エラー	却下: 他のコードで明示的に対象としていない、包括的な内部エラー用

GTS 汎用タイミング指定

HL7 成分表-GTS 汎用タイミング指定

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
	199			General Timing Specification 汎用タイミング指定

汎用タイミング指定データ型は複雑な相互に関連するタイミングの情報を伝達するために用いられる。このようなフィールドの値はSTフィールドの整形規則に従う。その文字列データは「HL7 Ver.3データ型 第II部 完全な仕様」で、汎用タイミング指定(GTS)データ型に対して設定されるであろう規則に従うことになる。

MOC 金額およびチャージコード

HL7 成分表－MOC 金額および請求コード

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	20	MO	O	Monetary Amount 金額
2	705	CWE	O	Charge Code 請求コード

注：HL7 Ver.2.5 より、OBR-23、および OBR-23 に用いられる CM データ型を置き換える。
金額に関する情報と、行われたサービスに付随する請求コードを送信する。

第1成分 Monetary Amount 金額(MO)

請求コードと結び付けられた金額と通貨。

第2成分 Charge Code 請求コード(CWE)

行われたサービスの依頼したエンティティに対する請求を特定するコード。

MSG メッセージ型

HL7 成分表－MSG メッセージ型

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	3	ID	R	Message Code メッセージコード
2	3	ID	R	Trigger Event トリガイイベント
3	7	ID	R	Message Structure メッセージ構造

注：HL7 Ver.2.5 より、MSH-9 に用いられる CM データ型を置き換える。

このフィールドは、メッセージのメッセージ型、トリガイイベントおよびメッセージ構造IDを含む。

第1成分 Message Code メッセージコード(ID)

メッセージ型コードを示す。提案される値については、「HL7表0076－メッセージ型」を参照。

第2成分 Trigger Event トリガイイベント (ID)

トリガイイベントコードを指定。提案される値については、「HL7表0003－イベント型」を参照。

第3成分 Message Structure メッセージ構造(ID)

抽象的なメッセージ構造のコードを示す。提案される値については、「HL7表0354－メッセージ構造」を参照。

NDL 日付と場所を伴う名前

HL7 成分表－NDL 日付と場所を伴う名前

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	409	CNN	O	Name 名前
2	26	TS	O	Start Date/time 開始日付/時間
3	26	TS	O	End Date/time 終了日付/時間
4	20	IS	O	Point of Care ケアの場所
5	20	IS	O	Room 病室
6	20	IS	O	Bed 病床
7	227	HD	O	Facility 施設
8	20	IS	O	Location Status 場所の状態
9	20	IS	O	Patient Location Type 患者場所型
10	20	IS	O	Building 建物
11	20	IS	O	Floor 階

注：HL7 Ver.2.5 より、OBR-32、OBR-33、OBR-34、OBR-35 の CM データ型を置き換える。

サービスを行う人の名前およびサービスを行う時と場所を示す。

第1成分 Name 名前(CNN)

この成分はサービスを行う人の名前を示す。

第2成分 Start Date/time 開始日付／時間(TS)

この成分はこの人がサービスを行うのを開始する日付／時間を示す。

第3成分 End Date/time 終了日付／時間(TS)

この成分はこの人がサービスを行うのを終了する日付／時間を示す。

第4成分 Point of Care ケアの場所(IS)

この成分は患者のケアを行う場所のコードを示す。これには患者の所在場所型（例えば、病棟あるいは診療科あるいは診療所）による条件がつく。提案されている値については、「使用者定義表0302－ケアの場所」を参照。

第5成分 Room 病室(IS)

この成分は患者の病室のコードを示す。ケアの場所の次に、人の場所の指定として最も一般的である。提案されている値については「使用者定義表0303－病室」を参照。

第6成分 Bed 病床(IS)

この成分は患者の病床のコードを示す。病室の次に最も一般的な人の場所の指定である。提案されている値については、「使用者定義表0304－病床」を参照。

第7成分 Facility 施設(HD)

この成分は施設での解釈によるが、一般的には医療機関、病院あるいは医療法人の一番高いレベルでの物理的な場所の指定である。最も一般的な人の場所の指定である。

第8成分 Location Status 場所の状態(IS)

この成分は場所の状態や空き状況のコードを示す。例えば、この成分は病床の状況を表すことがある。提案されている値については、「使用者定義表0306－場所の状態」を参照。

第9成分 Patient Location Type 患者場所型(IS)

患者場所型は、施設、建物、階、ケアの場所、病室あるいは病床によって示される人の場所の範疇である。必須のフィールドではないが、使用される場合は唯一値を持つフィールドとなる場合がある。この成分は通常、病棟、診療科、診療所、SNF（熟練看護施設）や診察室といった値を含む。提案されている値については、「使用者定義表0305－患者場所型」を参照。

第10成分 Building 建物(IS)

この成分は、その人が場所する建物のコードを示す。施設の次に最も一般的な人の場所の指定である。提案されている値については、「使用者定義表0307－建物」を参照。

第11成分 Floor 階(IS)

この成分は、その人が場所する下位を示す。建物の次に最も一般的な人の場所の指定である。提案されている値については、「使用者定義表0308－階」を参照。

NR 数値範囲

HL7 成分表－NR 数値範囲

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	16	NM	O	Low Value 下限
2	16	NM	O	High Value 上限

注：HL7 Ver.2.5 より、OM2-6.1、OM2-6.3、OM2-6.4 の CM データ型を置き換える。

一連のデータにおける下限値と上限値の範囲を示す。数値範囲の一方が閉じていないときは、閉じていないほうの成分はnullとなる。範囲に端点が含まれるかどうかについては、このフィールド

についての使用上の注意に定義される。

第1成分 Low Value 下限(NM)

範囲の下限を示す数値。

第2成分 High Value 上限(NM)

範囲の上限値を示す数値。

OSD オーダ連鎖定義

HL7 成分表－OSD オーダ連鎖定義

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	1	ID	R	Sequence/Results Flag 連鎖／結果フラグ
2	15	ST	R	Placer Order Number: Entity Identifier 依頼者オーダ番号：エンティティ識別子
3	6	IS	O	Placer Order Number: Namespace ID 依頼者オーダ番号：ネームスペース ID
4	15	ST	R	Filler Order Number: Entity Identifier 実施者オーダ番号：エンティティ識別子
5	6	IS	O	Filler Order Number: Namespace ID 実施者オーダ番号：ネームスペース ID
6	12	ST	O	Sequence Condition Value 連鎖条件値
7	3	NM	O	Maximum Number of Repeats 最大反復数
8	15	ST	R	Placer Order Number: Universal ID 依頼者オーダ番号：汎用 ID
9	6	ID	O	Placer Order Number: Universal ID Type 依頼者オーダ番号：汎用 ID 型
10	15	ST	R	Filler Order Number: Universal ID 実施者オーダ番号：汎用 ID
11	6	ID	O	Filler Order Number: Universal ID Type 実施者オーダ番号：汎用 ID 型

注：HL7 Ver.2.5 より、TQ データ型に用いられている CM データ型を置き換える。

このデータ型は、あるオーダと別のひとつまたは複数のオーダとの関係を構成する完全にコード化されたバージョンである。その関係は連鎖あるいは循環パターンである。OSDの仕様はTQデータ型（特にORC-7?に適用された場合）に限定される。HL7 Ver.2.5よりHL7旧バージョンとの目的のみで保持される。連鎖の段数や循環のパターンを送信する必要などときには、このデータ型より、TQ1およびTQ2セグメントを考慮することが推奨される。

第1成分 Sequence/Results Flag 連鎖／結果フラグ(ID)

連鎖条件あるいは繰り返すオーダの組が指定されているかを示す。有効な値については「HL7表 0524－連鎖条件」を参照

HL7 表 0524 －連鎖条件

Value	Description
S	連鎖条件
C	繰り返すオーダの組
R	将来使用する可能性のため予約

第2成分 Placer Order Number: Entity Identifier 依頼者オーダ番号：エンティティ識別子(ST)

依頼者オーダ番号の最初の成分、エンティティ識別子を含む。

第3成分 Placer Order Number: Namespace ID 依頼者オーダ番号：ネームスペースID(IS)

依頼者オーダ番号の2番目の成分、ネームスペースIDを含む。提案されている値については「使用者定義表0363－割当権限者」を参照。

第4成分 Filler Order Number: Entity Identifier 実施者オーダ番号：エンティティ識別子(ST)

実施者オーダ番号の最初の成分、エンティティ識別子を含む。

第5成分 Filler Order Number: Namespace ID 実施者オーダー番号：ネームスペースID(IS)

実施者オーダー番号の2番目の成分、ネームスペースIDを含む。提案されている値については「使用者定義表0363－割当権限者」を参照。

第6成分 Sequence Condition Value 連鎖条件値(ST)

関連する先のオーダーあるいは後のオーダーの開始／終了とORC-2、3および4で示される現在のオーダーとの関係を示す。

認められる条件の値は、以下の形式のプロジェクト計画方法論で広く使われている形をとる：

<"SS"、"EE"、"SE"あるいは"ES"のいずれか>+/-<時間>

最初の文字は、先のオーダーの開始(S)または終了(E)を表し、先のオーダーは副成分1、2または3、4の依頼者または実施者オーダー番号で示される。

2番目の文字は、後のオーダーの開始(S)または終了(E)を表し、後のオーダーはこの量／タイミングの指定を含むオーダーである。

<時間>は先のオーダーの開始または終了から後のオーダーの時間間隔を示す（以下の例を参照）。

<時間>の定義

Value	Description
S<整数>	<数値>秒の間行う
M<整数>	<数値>分の間行う
H<整数>	<数値>の間行う
D<整数>	<数値>日の間行う
W<整数>	<数値>週の間行う
L<整数>	<数値>月の間行う

第7成分 Maximum Number of Repeats 最大反復数(NM)

繰り返しの組にのみ用いる繰り返しの最大数。繰り返しの総数は、最後の繰り返しが終わる日付／時間、あるいは、親の終了日付／時間のうちいずれか早いほうで制約される。

第8成分 Placer Order Number: Universal ID 依頼者オーダー番号：汎用ID(ST)

依頼者オーダー番号の最後から2つ目の成分、汎用IDを含む。

第9成分 Placer Order Number: Universal ID Type 依頼者オーダー番号：汎用ID型(ID)

依頼者オーダー番号の最後の成分、汎用ID型を含む。有効な値については、「HL7表0301－汎用ID型」を参照。

第10成分 Filler Order Number: Universal ID 実施者オーダー番号：汎用ID(ST)

実施者オーダー番号の最後から2つ目の成分、汎用IDを含む。

第11成分 Filler Order Number: Universal ID Type 実施者オーダー番号：汎用ID型(ID)

実施者オーダー番号の最後の成分、汎用ID型を含む。有効な値については、「HL7表0301－汎用ID型」を参照。

PRL 親結果リンク

HL7 成分表－PRL 親結果リンク

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	705	CWE	R	Parent Observation Identifier 親検査識別子 親結果の OBX-3 で定義される。
2	20	ST	O	Parent Observation Sub-identifier 親検査副識別子 親結果の OBX-4 で定義される。

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
3	250	TX	O	Parent Observation Value Descriptor 親検査の値の記述 親結果の OBX-5 で定義される。

注：HL7 Ver.2.5 より、OBR-26、OBR-26 に用いられる CM データ型を置き換える。

現在のオーダの親結果に関連づけられているOBXセグメントを、OBR-29-親の中の情報と共に、一意的に示す。

使用上の注意：このデータ型は、OBR-26-親結果のみに、他の型のリンク（例、毒物学）についても情報を利用できるようにするときに適応される。この重要な情報は OBR-29-親の情報とともに、このオーダの親結果に関連づけられている OBX セグメントを一意的に示す。この親結果の OBX セグメントの値は、このセット検査が対象とする微生物あるいは化学分類である。例えば、現在のセット検査が抗菌物質感受性検査であった場合、親検査として特定された OBX は感受性検査が行われた微生物を特定する結果を保持している。この間接リンクの方法がより望ましいのは、親結果の微生物の名前は、最終確定に先立っていくつかの予備値を経ることがあるからである。

使用上の注意：このフィールドは親の結果フィールドの全てを持ってくるのではないことを強調しておく。このフィールドは微生物や化学副分類を特定するテキストの名前だけを意図している。このフィールドは、曖昧性のない検査 ID や副 ID を生成できないシステムに親結果に逆リンクをたどる手段を提供するためだけに加えられたものである。このフィールドは OBR-29-親によって親結果が特定され、その親が多数の結果のそれぞれに対し子オーダを発生される場合のみ提示される。

第1成分 Parent Observation Identifier 親検査識別子(CWE)

親結果のOBX-3で示される親検査の一意的な識別子を含む。この値はその親のOBX-3と同じである。

第2成分 Parent Observation Sub-identifier 親検査副識別子(ST)

親結果のOBX-3で示される親検査の副識別子を含む。この値はその親のOBX-4と同じである。

第3成分

親結果のOBX-5で示される親検査の値の記述を含む。例えば、この3番目の成分は親結果で示された微生物の名前を直接記録するのに用いられる。

RFR 基準範囲

HL7 成分表-RFR 基準範囲

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	33	NR	R	Numeric Range 数値範囲
2	8	IS	O	Administrative Sex 管理上の性別
3	33	NR	O	Age Range 年齢範囲
4	33	NR	O	Gestational Age Range 妊娠週数範囲
5	20	ST	O	Species 種
6	20	ST	O	Race/subspecies 人種/亜種
7	199	TX	O	Conditions 条件

注：HL7 Ver.2.5 より、OM2-6、OM2-7、OM2-8 で用いられ、CM データ型を置き換える。

基準範囲とその前提となる詳細を示す。

第1成分 Numeric Range 数値範囲(NR)

この成分は基準データの数値の範囲を示す。範囲は閉区間（両端を含む範囲）と解釈される。単位は文脈依存であり、このデータ型が用いられるフィールドの使用上の注意にて定義される。

第2成分 Administrative Sex 管理上の性別(IS)

この成分はどの性別にたいしてどの基準範囲が有効かを示す。提案されている値については、「使用者定義表0001-性別」を参照。

使用者定義表 0001 – 性別

Value	Description
F	Female 女性
M	Male 男性
O	Other その他
U	Unknown 未知
A	Ambiguous 両性具有
N	Not applicable 適応外

第3成分 Age Range 年齢範囲(NR)

この成分は基準範囲が有効な年齢の範囲を示す。1年より小さい年齢は小数で表すべきである（すなわち 1月 = 0.0830、1 週 = 0.01920、1 日 = 0.0027300）。しかしながら、幼児を含めた多くの用途で妊娠週数（週で計算する）が好まれている。範囲の下限が示されず、上限が示されている場合は、範囲の間での重複はないものと見なされる。

第4成分 Gestational Age Range 妊娠週数範囲(NR)

この成分は基準範囲が有効な妊娠週数の範囲を示す。妊娠週数は基準範囲が妊娠の期によって影響される場合のみ適切である。妊娠週数は受胎からの週数で計算する。例えば|1&4|は正常値が1週から4週の両端を含む範囲に適用されることを示す。範囲の下限が示されず、上限が示されている場合は、範囲の間での重複はないものと見なされる。

第5成分 Species 種(ST)

この成分は基準範囲が有効な種を示す。種は他に明記されない場合は人間と見なされる。例としては、ウサギ、ネズミおよびラットがあげられる。

第6成分 Race/subspecies 人種/亜種(ST)

この成分は基準範囲が有効な人種または亜種を示す。人間（デフォルトの種）の場合、人種が基準値に影響する場合に人種が示される。動物の正常値範囲が記述されたときは、この成分は動物の亜種または血統を示すのに用いることができる。

第7成分 Conditions 条件(TX)

この成分は基準値が有効となるあらゆる任意の条件を示す。これは月経周期の期や、特定の薬剤を服用時のような条件を含む。この成分は特別な条件での正常値範囲を伝達するために提供されている。このテキストでの条件は自動チェックの対象にすることはできない。

RPT 繰り返しパターン

HL7 成分表－RPT－繰り返しパターン

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	705	CWE	R	繰り返しパターンコード
2	2	ID	O	カレンダー上の位置
3	10	NM	O	フェーズ範囲開始値
4	10	NM	O	フェーズ範囲終了値
5	10	NM	O	期間数値
6	10	IS	C	期間単位
7	1	ID	O	施設設定の時刻
8	6	ID	O	イベント
9	10	NM	O	イベントオフセット数値
10	10	IS	C	イベントオフセット単位
11	199	GTS	O	汎用タイミング指定

が始まる最も早い時点を示す。

この成分の測定単位はRPT-2のカレンダー上の位置から得られる。特定のカレンダー上の位置に関連付けられている時間を計る単位については「HL7表0572－カレンダー上の位置」を参照。

第4成分 フェーズ範囲終了値 (NM)

定義：カレンダー上の位置で決まる繰り返しパターンについて特定のRPT-2（カレンダー上の位置）からフェーズの終了までの時間の数値を決めるのに用いる。

フェーズ範囲終了値が設定されるが、フェーズ範囲開始値が設定されない場合は、この成分は期間（RPT-5、6）がいつ始まるかを示す。

フェーズ範囲開始値とフェーズ範囲終了値の両方が設定された場合、この成分は期間（RPT-5、6）が始まる最も遅い時点を示す。

この成分の測定単位はRPT-2のカレンダー上の位置から得られる。特定のカレンダー上の位置に関連付けられている時間を計る単位についてはHL7表0572－カレンダー上の位置を参照。

第5成分 期間数値 (NM)

定義：周期的な間隔の繰り返しの頻度を指定する時間の長さ。RPT-6（期間単位）がこの成分の時間の単位を示す。

第6成分 期間単位 (IS)

定義：RPT-5（期間数値）に用いる単位を示す。時間の単位に限定される。測定単位は統一コード (UCUM) [<http://aurora.rg.iupui.edu/UCUM>]で定義されている。

条件規則：この成分はRPT-5（期間数値）が設定された場合必須である。

第7成分 施設設定の時刻 (ID)

定義：正確なタイミングが、スケジュールを実行するスタッフによるか（例えば、「8時間ごと」と「一日3回」を区別するか）どうかを示すコード。Y/N識別子を使用。

Y－ 正確なタイミングはスケジュールを実行するスタッフによる。

N－ 正確なタイミングは指定された通り。

第8成分 イベント (ID)

定義：日常生活の通常の（定期的な）活動に対するコード。有効な値についてはHL7表0528－イベントに関係した期間を参照。

HL7 表 0528－イベントに関係した期間

Value	Description
HS	就寝時（例 H18-22）
AC	食前（ラテン語 ante cibus から）
PC	食後（ラテン語 post cibus から）
IC	食間（ラテン語 inter cibus から）
ACM	朝食前（ラテン語 ante cibus matutinus から）
ACD	昼食前（ラテン語 ante cibus diurnus から）
ACV	夕食前（ラテン語 ante cibus vespertinus から）
PCM	朝食後（ラテン語 post cibus matutinus から）
PCD	昼食後（ラテン語 post cibus diurnus から）
PCV	夕食後（ラテン語 post cibus diurnus から）
ICM	朝食と昼食の間
ICD	昼食と夕食の間
ICV	夕食と就寝の間

第9成分 イベントオフセット数値 (NM)

定義：イベントに関係した定期的な間隔の開始、幅および終了について、関係するイベントの各々

が実際に起こる時間からのオフセットを示す間隔。正の数值はRPT-8のイベントより後の時間の数值を示す。負の数值はRPT-8のイベントより前の時間の数值を示す。

使用上の注意：この成分はRPT-8（イベント）が値を持たない限り設定すべきでない。

第10成分 イベントオフセット単位 (IS)

定義：RPT-9（イベントオフセット数值）に用いられる単位を示す。時間の単位に制限される。測定単位は統一コード (UCUM) [<http://aurora.rg.iupui.edu/UCUM>]で定義されている。

条件規則：この成分はRPT-9（イベントオフセット数值）が設定されている場合は必須となる。

第11成分 汎用タイミング指定 (GTS)

定義：HL7 Ver.3.0データ型文書で定義されている汎用タイミング指定。

SPS 検査材料

HL7 成分表－SPS 検査材料

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	705	CWE	O	Specimen Source Name or Code 検査材料名またはコード
2	705	CWE	O	Additives 添加物
3	200	TX	O	Specimen Collection Method 検体採取方法
4	705	CWE	O	Body Site 部位
5	705	CWE	O	Site Modifier 部位修飾子
6	705	CWE	O	Collection Method Modifier Code 採取方法修飾子コード
7	705	CWE	O	Specimen Role 検体の役割

注：HL7 Ver.2.5 より、OBR-15、OBR-15、SAC-6、TCC-3 を置き換える。このデータ型はHL7 Ver.2.5 に限りHL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ保持されている。

このデータ型は試料が得られるべきあるいはサービスが実施されるべき部位を示す。

第1成分 Specimen Source Name or Code 検査材料名またはコード(CWE)

検査材料名またはコード（CWEデータ型成分として）を含む。（検査の名前自体が検査材料名を含む場合でも、検査材料名は必須である。例、血液培養－心臓血）国家的に認知されたコード体系がこのフィールドに用いる。

第2成分 Additives 添加物(CWE)

検体の採取前または採取時に使用される添加物を示す。有効な値については「HL7表0371－添加物」を参照。この表の値はNCCL（米国臨床検査標準化委員会）AUTO4から取られている。値の集合はユーザ特有の値で拡張可能である。

第3成分 Specimen Collection Method 検体採取方法(TX)

この情報がオーダの一部である場合に、検体採取の方法を記述する。検体採取の方法が論理的に検査の結果である場合には、その情報は結果のセグメント（すなわちOBXセグメント）として含まれるべきである。

第4成分 Body Site 部位(CWE)

この成分は検体を採取する体の部位を示す。国家的に認知されたコード体系をこのフィールドに用いる。

第5成分 Site Modifier 部位修飾子(CWE)

部位を修飾する。例えば、部位が肘正中静脈で、部位修飾子が「右」のような場合がありうる。

第6成分 Collection Method Modifier Code 採取方法修飾子コード(CWE)

検体採取方法の一部として検体が冷凍されるかどうかを示す。提案されている値はF（冷凍）、R（冷蔵）である。成分が空白の場合、検体は室温と見なされる。

第7成分 Specimen Role 検体の役割(CWE)

検体の役割を示す。提案されている値については「使用者定義表0369-検体役割」を参照。これらの値は通常、システムにて識別可能で、検体に関するデータ管理の処理に影響を与えることができる。

使用者定義表 0369 –検体役割

Value	Description
B	Blind Sample 精度管理用ブラインド検体
C	Calibrator キャリブレーション, used for initial setting of calibration
E	Electronic QC 予測 QC 値, used with manufactured reference providing signals that simulate QC results
F	Specimen used for testing proficiency of the organization performing the testing (Filler) 検査室検体
G	Group (where a specimen consists of multiple individual elements that are not individually identified) 個別 ID なし
L	Pool (aliquots of individual specimens combined to form a single specimen representing all of the components.) プール検体
O	Specimen used for testing Operator Proficiency 検査者検体
P	Patient 親検体
Q	Control specimen 精度管理検体
R	Replicate 複製
V	Verifying Calibrator キャリブレーション検証, used for periodic calibration checks

VR 値の範囲

HL7 成分表 –VR 値範囲

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	6	ST	O	First Data Code Value 最初のデータコード値
2	6	ST	O	Last Data Code Value 最後のデータコード値

注：HL7 Ver.2.5 より QRD-11 に用いられる CM データ型を置き換える。

このデータ型はある範囲を成す下限値と上限値を含む。どちらかまたは両方の成分が設定される。

第1成分 First Data Code Value 最初のデータコード値(ST)

下限値を示す。

第2成分 Last Data Code Value 最後のデータコード値(ST)

上限値を示す。

WVI チャンネル識別子

HL7 成分表 –WVI チャンネル識別子

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	4	NM	R	Channel Number チャンネル番号
2	17	ST	O	Channel Name チャンネル名

注：HL7 Ver.2.5 より、BX-5.1 で OBX-5 観測値(*)がデータ型 CD であるときの CM データ型を置き換える。

このデータ型は波形データが送信される記録チャンネルの番号と名前を示す。

第1成分 Channel Number チャンネル番号(NM)

記録チャンネルの番号を示す。

第2成分 Channel Name チャンネル名(ST)

記録チャンネルの名称を示す。

WVS 波形ソース

HL7 成分表-WVS 波形ソース

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	8	ST	R	Source One Name 信号源 1 名称
2	8	ST	O	Source Two Name 信号源 2 名称

注：HL7 Ver.2.5 より、OBX-5.2 で OBX-5 観測値(*)がデータ型 CD であるときの CM データ型を置き換える。
このデータ型はチャンネルに接続されている波形の信号源を示す。

第1成分 Source One Name 信号源1名称(ST)

波形信号源の1番目の入力を特定する。

第2成分 Source Two Name 信号源2名称(ST)

差分入力が用いられている場合に、波情報源の2番目の入力を特定する。

FN 姓

HL7 成分表-FN 姓

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	50	ST	R	Surname 姓
2	20	ST	O	Own Surname Prefix 自身の姓の接頭辞
3	50	ST	O	Own Surname 自身の姓
4	20	ST	O	Surname Prefix From Partner/Spouse 配偶者からの姓の接頭辞
5	50	ST	O	Surname From Partner/Spouse 配偶者からの姓

このデータ型はある個人の姓を完全に示すことを可能とする。必要なときは、このデータ型は個人の名前が、もともとの姓と配偶者の姓を含んでいる場合に、そのそれぞれを区別する。このデータ型はまた、メッセージにおいて、姓の接頭辞（例えば"van"や"de"のような）の部分と語根の部分とを区別することを可能にする。

第1成分 Surname 姓(ST)

その人の姓のそれ以上に分割できない部分。ほとんどの西洋での使用では、これはその人のラストネームである。

第2成分 Own Surname Prefix 自身の姓の接頭辞(ST)

ゲルマン言語を国際的に扱う方法。この成分は省略可能である。姓の接頭辞の例は"Ludwig van Beethoven"の"van"の部分である。<姓の接頭辞>は完全にはアルファベット順にソートされないため、これをPNおよび拡張PN (XPNまたはXCN) データ型の分離可能な副成分とするのは合理的である。

第3成分 Own Surname 自身の姓(ST)

姓（ほとんどの西洋での使用ではラストネーム）の自身の姓から得られた部分で、その人の姓の配偶者から得られた部分からは別の部分。この成分は省略可能である。その人の姓が法的に変わり、その人の配偶者の姓になった（またはそれを取り込んだ）場合は、この成分はその人のその変化の直前の姓である。しばしばこれはその人の「旧姓」である。

第4成分 Surname Prefix From Partner/Spouse 配偶者からの姓の接頭辞(ST)

ゲルマン言語を国際的に扱う方法。この成分は省略可能である。姓の接頭辞の例は"Ludwig van Beethoven"の"van"の部分である。<姓の接頭辞>は完全にはアルファベット順にソートされないため、これをPNおよび拡張PN (XPNまたはXCN) データ型の分離可能な副成分とするのは合理的である。

第5成分 Surname From Partner/Spouse 配偶者からの姓(ST)

姓（西洋での使用ではほとんどがラストネーム）の配偶者から得られた部分で、その人の姓の自身の姓から得られた部分からは別の部分。この成分は省略可能である。もし、その人の姓のどの部分も配偶者の姓から得られていない場合は、この成分に値を入れてはいけない。反対に、その人の姓が法的に変わり、その人の配偶者の姓になった（またはそれを取り込んだ）場合は、この成分はその人の配偶者のその変化の直前の姓である。

SAD 通りの住所

HL7 成分表－SAD 通りの住所

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	120	ST	O	Street or Mailing Address 通りまたは集配単位の住所
2	50	ST	O	Street Name 通りの名称
3	12	ST	O	Dwelling Number 住居番号

注：XAD データ型にだけ現れる。

第1成分 Street or Mailing Address 通りまたは集配単位の住所(ST)

この成分は個人または施設の通りまたは集配単位の住所を示す。施設を示すときには、この最初の成分は施設名を表すのに用いる。個人に関して使用される場合は、この成分は住所の最初の1行を表す。

第2成分 Street Name 通りの名称(ST)

通りの名称。

第3成分 Dwelling Number 住居番号(ST)

住居番号。

XAD 拡張住所

HL7 成分表－XAD 拡張住所

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	184	SAD	O	Street Address 通りの住所
2	120	ST	O	Other Designation その他表示
3	50	ST	O	City 市
4	50	ST	O	State or Province 州または省
5	12	ST	O	Zip or Postal Code ZIPコードまたは郵便番号
6	3	ID	O	Country 国
7	3	ID	O	Address Type 住所型
8	50	ST	O	Other Geographic Designation その他の地理表示
9	20	IS	O	County/Parish Code 郡／（ルイジアナ州の）郡コード
10	20	IS	O	Census Tract 国勢調査区域
11	1	ID	O	Address Representation Code 住所表記コード
12	53	DR	B	Address Validity Range 住所有効範囲（HL7 Ver.2.5 より非推奨）
13	26	TS	O	Effective Date 発行日付
14	26	TS	O	Expiration Date 失効日付

注：HL7 Ver.2.3 から AD データ型を置き換える。

|1234、Easy St.^ Ste. 123^ San Francisco^ CA^ 95123^ USA^ B^ ^ SF^ |

第1成分 Street Address 通りの住所(SAD)

この成分の記述についてはSAD型を参照。

第2成分 Other Designation その他表(ST)

住所の2行目。米国での使用では住所を修飾する。例: 555号室あるいは4階。施設を示すときには、この成分は通りの住所を表す。

第3成分 City 市(ST)

この成分は郵便用の住所を定める国の法制に基づいて、この住所の所在を管理する市、地区、場所を示す。

第4成分 State or Province 州または省(ST)

この成分はこの住所が所在する州または省を示す。州または省には、その国の公式な郵便番号が割り振られる。

第5成分 Zip or Postal Code ZIPコードまたは郵便番号(ST)

この成分はこの住所が所在するZIPコードまたは郵便番号を表す。ZIPコードまたは郵便番号はその国の公式なコードとして表現される。米国ではZIPコードは9999[-9999]の形をとり、カナダの郵便番号はA9A9A9の形をとり、オーストラリアの郵便番号は9999の形をとる。

第6成分 Country 国(ID)

この成分はこの住所が所在する国を表す。HL7は国コードとしてISO 3166形式の3文字（のアルファベット）を使用するよう定めている。有効な値については「HL7表0399－国コード」を参照。

第7成分 Address Type 住所型(ID)

この成分は住所の種類または型を表す。有効な値については、「HL7表0190－住所型」を参照。

HL7 表 0190 – 住所タイプ

Value	Description
BA	誤った住所
N	出生（生まれ）（ほかに指定がなければ、出生の住所）
BDL	分娩の場所（誕生が行われた住所）
F	出身国
C	現住所または一時的な住所
B	会社／事業所
H	自宅
L	法律上の住所
M	郵送先
O	事務所
P	永久的な住所
RH	戸籍上の自宅。予防接種歴や癌登録のような患者情報を扱う公共医療機関の情報システムに関係する事が多い。患者が治療を受ける場所には無関係である。
BR	出生時の居住地（出生の際の自宅住所）

第8成分 Other Geographic Designation その他の地理表示(ST)

この成分は必要となり得る、その他のあらゆる地理表示を表す。国、生物学的地域、SMSAなどを含む。

第9成分 County/Parish Code 郡/教区コード(IS)

指定された住所が所在する郡を示すコード。「使用者定義表 0289－郡/教区」がこの成分に対するユーザ定義の値のHL7識別子として用いられる。この成分が郡を表すのに用いられるときには、成分8<その他の地理表示>には、それを重複させてはならない。（つまり、<その他の地理表示>を郡の表現をするために用いるのは、HL7旧バージョンとの互換性のためにのみ許されており、現在または将来のHL7のバージョンでは非推奨である。）

使用者定義表 0289—郡／教区

Value	Description
	推奨できる値はない

第10成分 Census Tract 国勢調査区域(IS)

指定された住所が所在する国勢調査区域を表すコード。「使用者定義表0288—国勢調査区域」がこの成分に対するユーザ定義の値のHL7識別子として用いられる。

使用者定義表 0288—国勢調査区域

Value	Description
	推奨できる値はない

第11成分 Address Representation Code 住所表記コード(ID)

同じ名前／住所に対する別の名前／住所型および名前／住所表記は、このフィールドを、名前／住所型および／または名前／住所表記を違えて、繰り返すことで表現すべきである。有効な値については「HL7表 0465—名前／住所表記」を参照。一般的にこの成分はデータ項目で提供される表記の指示を行う。使用されている文字セットを示すことは必要ではない。したがって、表記は何を期待すべきかを示すが、それでもなお、送信側は自由に望むどんな文字集合を使っても内容をコード化することができる。この成分は受信者にヒントのみ与えるので、受信側は何が送られてきて何を表示する能力があるかをもとに選択を行うことができる。

第12成分 Address Validity Range 住所有効範囲(DR)

この成分は完全には表現できない。v2.4の誤りとして認識されている。HL7 Ver.2.5よりHL7旧バージョンとの互換性のためにのみ保持されている。発効日付および失効日付成分を参照。この成分はこの住所が有効な期間を定義する開始および終了の日付／時刻を含む。

第13成分 Effective Date 発効日付(TS)

判明しているならば、住所が正しく有効となる最初の日付。

第14成分 Expiration Date 失効日付(TS)>

判明しているならば、住所が正しく有効である最後の日付。

XON 拡張複合組織 ID と名称

HL7 成分表—XON 拡張複合組織 ID および名称

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	50	ST	O	Organization Name 組織名称
2	20	IS	O	Organization Name Type Code 組織名称型コード
3	4	NM	B	ID Number ID 番号
4	1	NM	O	Check Digit チェックデジット
5	3	ID	O	Check Digit Scheme チェックデジット体系
6	227	HD	O	Assigning Authority 割当権限者
7	5	ID	O	Identifier Type Code 識別子型コード
8	227	HD	O	Assigning Facility 割当施設
9	1	ID	O	Name Representation Code 名前表記コード
10	20	ST	O	Organization Identifier 組織識別子

組織の名前型では、法的な名前、表示する名前などを表す。

|HL7 Health Center ^ L ^ 6 ^ M11 ^ HCFA|

第1成分 Organization Name 組織名称(ST)

指定した組織の名称。

第2成分 Organization Name Type Code 組織名称型コード(IS)

名称の型、すなわち法的な名称、表示名称などを表すコード。提案されている値については「使用者定義表0204－組織名称型」を参照。

使用者定義表 0204－組織名称型

Value	Description
A	別名
L	法的な名前
D	表示する名前
SL	株式取引所に登録する名前

第3成分 ID NumberID番号(NM)

この成分はHL7 Ver.2.5よりHL7旧バージョンとの互換性のためにのみ保持されている。英数文字による識別子を受け付ける、成分10の組織識別子を用いることを推奨する。

第4成分 Check Digit チェックデジット(NM)

このデータ型でのチェックデジットは、メッセージ処理系により生成された後付けのものではない。識別番号の一部分で、送信側アプリケーションで使用される部分が、この成分でいうチェックデジットである。送信側のアプリケーションが自己生成のチェックデジットを識別番号に含めていない場合は、この成分はnullにしなければならない。

第5成分 Check Digit Scheme チェックデジット体系(ID)

使用されているチェックデジット方式の指定を含む。有効な値については「HL7表0061－チェックデジット形式」を参照。

第6成分 Assigning Authority 割当権限者 (HD)

割当権限者はそのデータを生成したシステム（あるいは組織、政府機関の部署）についての一義的な識別子である。これはHD データ型である。「使用者定義表0363 -割当権限者」がHD成分の最初の副成分<ネームスペースID>に与える値のHL7識別子として用いられる。

第7成分 Identifier Type Code 識別子型コード(ID)

識別子の型に対応するコード。場合によっては、このコードが「割当権限者」成分の修飾語として用いられることもある。有効な値については「HL7表0203－ID型」を参照。

第8成分 Assigning Facility 割当施設(HD)

人に最初に識別子が割り当てられた、建物・場所の識別子。この成分は識別子の固有の部分ではないが、識別子の履歴に関する部分である：この成分は、特定の相互通信システムのために存在している。

第9成分 Name Representation Code 名前表記コード(ID)

同じ名前／住所に対する別の名前／住所型および名前／住所表記は、このフィールドを、名前／住所型および／または名前／住所表記を違えて、繰り返すことで表現すべきである。有効な値について「HL7表0465－名前／アドレス表記」を参照。一般的にこの成分はデータ項目で提供される表記の指示を行う。使用されている文字セットを示すことは必要ではない。したがって、表記は何を期待すべきかを示すが、それでもなお、送信側は自由に望むどんな文字集合を使っても内容をコード化することができる。この成分は受信者にヒントのみ与えるので、受信側は何が送られてきて何を表示する能力があるかをもとに選択を行うことができる。

第10成分 Organization Identifier 組織識別子(ST)

定義：この成分はXON.1で参照される項目を一意的に特定する文字の並び（コード）を含む。この成分はHL7 Ver.2.5よりXON.3 ID番号を置き換える。

XPB 拡張人名

HL7 成分表—XPB 拡張人名

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	194	FN	O	Family Name 姓
2	30	ST	O	Given Name 名
3	30	ST	O	Second and Further Given Names or Initials Thereof 2番目以降の名またはそれらのイニシャル
4	20	ST	O	Suffix (e.g., JR or III) 接尾語 (例: JR または III)
5	20	ST	O	Prefix (e.g., DR) 接頭語 (例: DR)
6	6	IS	B	Degree (e.g., MD) 学位 (例: MD)
7	1	ID	O	Name Type Code 名前型コード
8	1	ID	O	Name Representation Code 名前表記コード
9	705	CWE	O	Name Context 名前の文脈
10	53	DR	B	Name Validity Range 名前の有効範囲
11	1	ID	O	Name Assembly Order 名前構成順序
12	26	TS	O	Effective Date 発行日付
13	26	TS	O	Expiration Date 失効日付
14	199	ST	O	Professional Suffix 専門職の接頭辞

注: HL7 Ver.2.3 から PN データ型を置き換える。

|Smith^John^J^A^I^I^I^A^D^R^A^P^H^D^A^L|

|日本^太郎^A^A^A^A^A^D^A^I^I~にほん^たろう^A^A^A^A^D^A^P~ NIHON^Tarou^A^A^A^A^D^A^A|

第1成分 Family Name 姓(FN)

この成分はある個人の姓を完全に示すことを可能とする。必要なときは、この成分は個人の名前が、もともとの姓と配偶者の姓を含んでいる場合に、そのそれぞれを区別する。このはまた、メッセージにおいて、姓の接頭辞の部分 (例えば"van"や"de"のような) と語根の部分とを区別することを可能にする。FN型を参照。

第2成分 Given Name 名(ST)

ファーストネーム。

第3成分 Second and Further Given Names or Initials Thereof 2番目以降の名またはそれらのイニシャル(ST)

複数のミドルネームを空白で区切って入れることができる。

第4成分 Suffix (e.g., JR or III) 接尾語 (例、JRまたはIII) (ST)

名前の接尾語を明記するのに用いる。(例、JrまたはIII)

第5成分 Prefix (e.g., DR) 接頭語 (例 DR) (ST)

名前の接頭語を明記する。(例、Dr)

第6成分 Degree (e.g., MD) 学位 (例 MD) (IS)

HL7 Ver.2.5よりHL7旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。専門職接頭語成分を参照。教育における学位 (例、MD) を明記するのに用いる。提案されている値については「使用者定義表0360—学位/免許/資格」を参照。

第7成分 Name Type Code 名前型コード(ID)

名前の型を表すコード。有効な値については「HL7表0200—名前型」を参照。

第8成分 Name Representation Code 名前表記コード(ID)

同じ名前/住所に対する別の名前/住所型および名前/住所表記は、このフィールドを、名前/

住所型および／または名前／住所表記を違えて、繰り返すことで表現すべきである。有効な値について「HL7表0465－名前／アドレス表記」を参照。一般的にこの成分はデータ項目で提供される表記の指示を行う。使用されている文字セットを示すことは必要ではない。したがって、表記は何を期待すべきかを示すが、それでもなお、送信側は自由に望むどんな文字集合を使っても内容をコード化することができる。この成分は受信者にヒントのみ与えるので、受信側は何が送られてきて何を表示する能力があるかをもとに選択を行うことができる。

第9成分 Name Context 名前の文脈(CWE)

この成分は名前の使われる文脈を示すのに用いられる。主なユースケースはオーストラリアの保険医療においてである：異なる保険医療施設に入院する場合に、異なる名前を使用することを希望する先住民の患者である。別のユースケースは、米国で、医療従事者が少し異なる名前で免許を受けることができ、管理上の理由で正確な名前を届け出ることがきわめて重要な場合である。提案されている値については「使用者定義表0448－名前の文脈」を参照。

第10成分 Name Validity Range 名前の有効範囲(DR)

HL7 Ver.2.5よりHL7旧バージョンとの互換性のためにのみ保持されている。PPN.20発効日およびPPN.21失効日を参照。この成分は十分に表現することができず、v2.4の誤りとして認識されている。この成分は、この名前が有効な期間を示す開始と終了の日付／時間を含む。副成分の記述についてはDR型を参照。

第11成分 Name Assembly Order 名前構成順(ID)

この人名の構成要素の望ましい表示順を表す。有効な値についてはHL7表 0444 -名前構成順 を参照。

第12成分 Effective Date 発効日付(TS)

知られている場合には、住所が正当で有効となる最初の日。

第13成分 Expiration Date 失効日付(TS)

知られている場合には、住所が正当で有効である最後の日。

第14成分 Professional Suffix 専門職の接頭辞(ST)

その人の専門職種（例、免許、資格、学位、専門学会の会員）を証明する資格を表示する略語あるいは略語の文字列を示すのに用いられる。人名が表示されるときに、専門職の接頭辞は、通常、姓の後に表示される。この成分は、非整形の文字列で、表示目的のみで用いられることに注意すること。専門職の接頭辞の中味に関する詳細な情報は、15章 職員管理の適切なセグメントを用いることで得られる。

一部の国々では、表意文字あるいは表音（音声の）文字セットを使用しているため、アルファベットフォーマットの他にこれらのフォーマットの片方または両方で名前を送信することが、ときどき必要である。異なる文字セット間を切り替えるには、JIS X0202－ISO 2022のような文字セットを使用するが、これは異なる文字セット間および単一バイトとマルチ・バイトの文字表現の間を切り替える。名前フィールドを繰り返す場合、名前の異なる反復はこれらの異なる文字セットによって表わされてもよい。詳細は以下のとおりである。

- HL7は、日本の文字のための下記基準をサポートする

JIS X0201	対象 ISO-IR13（日本の片仮名） 対象 ISO-IR14（日本のローマ字）
JIS X0208	対象 ISO-IR87（日本の漢字、平仮名および片仮名）
JIS X0212	対象 ISO-IR159（補足的な日本の漢字）

- HL7は欧州の文字のための下記基準をサポートする

ISO-8859 (1-9) 対象 ISO-IR100、101、109、110、144、127、126、138 および 148。

文字セットは、HL7の中でASCII、8859/1..8859/2、JAS2020およびJIS X0202として引用されている。DICOMは、形式「ISO-IRxxx」の、ISO 2375の中にレイアウトされたコードを使用する。HL7はこの命名法をサポートするが、それは相互操作性を促進するためである。

HL7は、ISO 646 : 1990 (ISO IR-6) の国際参照バージョンの基本のG0セットを、文字列に対するデフォルト文字レパートリーとして使用する。これは単一のバイト文字セットであり、ASCII

と同一である。

XPNフィールドの各反復はデフォルト文字セットから始まると仮定される。別の文字セットを使用することになっている場合、HL7に定義されたエスケープであって文字セットを宣言するため使用されるものが、反復の初めになければならない。また、HL7に定義されたエスケープであってデフォルト文字セットを始めるため使用されるものが、反復の終わりになければならない。さらに注意すべきことは、いくつかの文字セットを単一の反復内に混ぜ合わせてもよいが、反復がデフォルト文字セットへの復帰で終わることが条件であるということである。

アプリケーションは、その適合文およびフィールド・MSH-18文字セットの中でどの文字セットをアプリケーションがサポートするか明示しなければならない。送信および受信アプリケーションは、をエスケープするために文字セット名（すなわちISO-IRxxx）をマップするか知っているかと仮定されている。

例えば、多くの日本語のメッセージでは、ローマ字（すなわちローマ文字）、片仮名（外国の単語の発音表現）、平仮名（日本語の単語の発音表現）および漢字（絵文字）の混合がある。そのようなメッセージは、4つの文字セットがMSHの中で指定されることを要求する。

・ 名前の国際化のための参考文献

1. "Understanding Japanese Information Processing" by Ken Lunde, O'Reilly Press
2. "DICOM Supplement 9 : Multi-Byte Character Set Support", ACR-NEMA
3. ANSI X3.4:1986 ASCII character set
4. ISO 646:1990 Information Processing - ISO 7-bit coded character set for information interchange
5. ISO/IEC 2022:1994 Information Technology - Character code structure and extension techniques
6. ISO 2375:1986 Data Processing - Procedure for the registration of escape sequences
7. ISO 6429:1990 Information Processing - Control functions for 7-bit and 8-bit coded character sets
8. ISO 8859 (1-9) Information Processing - 8-bit single-byte coded graphic character sets - parts 1-9
9. ENV 41 503:1990 Information systems interconnection - European graphic character repertoires and their coding
10. ENV 41 508:1990 Information systems interconnection - East European graphic character repertoires and their coding
11. JIS X 0201-1976 Code for Information Exchange
12. JIS X 0212-1990 Code of the supplementary Japanese Graphic Character set for information interchange
13. JIS X 0208-1990 Code for the Japanese Graphic Character set for information interchange
14. RFC 1468 Japanese Character Encoding for Internet Messages

この方法はDICOMと整合している。

DICOMによってサポートされた文字レパートリーは、補遺9の第5部、節62E1の中で定義されている。それによれば、「テキストまたは文字列である値は、図形および制御文字から構成されることができる。図形文字セットは、そのコード化と無関係に、文字レパートリーと呼ばれる。アプリケーションエンティティがDICOM規格を使用してデータを交換したい元来の文脈に依存して、異なる文字レパートリーが使用されている。DICOMによってサポートされた文字レパートリーはISO 8859の中で定義されている。」

さらに、DICOMは、日本語のための次の文字レパートリーをサポートする。

JIS X0201-1976	情報交換のためのコード対象 ISO-IR14（日本のローマ字）
JIS X0208-1990	情報交換のための日本の図形文字セットのコード
JIS X0212-1990	情報交換のための補足の日本の図形文字セットのコード

XTN 拡張テレコミュニケーション番号

HL7 成分表-XTN 拡張テレコミュニケーション番号

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	199	ST	B	Telephone Number 電話番号 HL7 Ver.2.3 から非推奨
2	3	ID	O	Telecommunication Use Code テレコミュニケーション用途コード

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
3	8	ID	O	Telecommunication Equipment Type テレコミュニケーション装置型
4	199	ST	O	Email Address 電子メールアドレス
5	3	NM	O	Country Code 国コード
6	5	NM	O	Area/City Code 区域/市コード
7	9	NM	O	Local Number 市内番号
8	5	NM	O	Extension 内線
9	199	ST	O	Any Text 任意のテキスト
10	4	ST	O	Extension Prefix 内線接頭辞
11	6	ST	O	Speed Dial Code 短縮番号コード
12	199	ST	C	Unformatted Telephone number 非定型の電話番号

注：HL7 Ver.2.3 から TN データ型を置き換える。

(415) 555-3210^ORN^FX^

第1成分 Telephone Number 電話番号(ST)

この成分はHL7 Ver.2.3よりHL7旧バージョンとの互換性のためにのみ保持されている。省略可能な内線番号とポケットベル番号とコメントを含むあらかじめ決められた形式で、電話番号を示す。

Format : [NNN] [(999)]999-9999 [X99999] [B99999] [C 任意のテキスト]

注：この成分は非推奨のため、この形式の定義された ST を置き換える新たなデータ型は定義されていない。

第2成分 Telecommunication Use Code テレコミュニケーション用途コード(ID)

テレコミュニケーション番号の特定の用途を表すコード。有効な値については「HL7表0201-テレコミュニケーション用途コード」を参照。

HL7 表 0201-テレコミュニケーション用途コード

Value	Description
PRN	主要な自宅番号
ORN	他の自宅番号
WPN	勤務先番号
VHN	別荘番号
ASN	留守電話応答サービス番号
EMR	緊急番号
NET	ネットワーク(電子メール)アドレス
BPN	ポケットベルの番号

第3成分 Telecommunication Equipment Type テレコミュニケーション装置型(ID)

テレコミュニケーション機器の型を表すコード。有効な値についてはHL7表0202-テレコミュニケーション機器型を参照。

HL7 表 0202-テレコミュニケーション機器型

Value	Description
PH	電話
FX	ファックス
MD	モデム
CP	携帯電話
BP	ポケットベル
INTERNET	インターネットアドレス：通信使用コードが NET である場合のみ使用
X.400	X.400 電子メールアドレス：通信使用コードが NET である場合のみ使用

第4成分 Email Address 電子メールアドレス(ST)

このデータ型をCENのテレコミュニケーションデータ属性グループと相互運用するために、第2成分に電子メールアドレス用途コードを設けた。電子メールアドレスを示すためにテレコミュニケーション用途コード表にNETという値を追加し、インターネットアドレスの型はテレコミュニケーション機器型表のInternetとX.400という値で示される。インターネットアドレス用に用いられた場合は、XTNデータ型の最初の成分はnullとなる。@記号が副成分デリミタに用いられた場合、インターネットアドレス（国コード(NM)を参照）をコード化するにはHL7副成分エスケープシーケンスが使用される。

第5成分 Country Code 国コード(NM)

第6成分 Area/City Code 区域/市コード(NM)

第7成分 Local Number 市内番号(NM)

第8成分 Extension 内線(NM)

第9成分 Any Text 任意のテキスト(ST)

電話番号に関するコメントを含む。

|^AAAAAAAA^Do not use after 5PM

第10成分 Extension Prefix 内線接頭辞(ST)

会社の内線電話システムネットワーク内で成立している、内線にダイヤルするときに、内線番号成分の値の前につける符号として用いられる文字。内線番号接頭辞を用いる場合には、内線番号成分に値が与えられることが必要で、内線番号接頭辞には数字だけでなく特殊文字（例、*、#）が用いられることがあることに注意。

第11成分 Speed Dial Code 短縮番号コード(ST)

会社の内線電話システムネットワーク内で成立している、電話をかけるのを容易にするために、電話番号より長さが短いので、（外線）電話番号の代わりに用いられる文字。数字だけでなく特殊文字（例、*、#）が用いられることがあることに注意。

第12成分 Unformatted Telephone number 非定型の電話番号(ST)

解釈不能な文字列としての電話番号の表現。電話番号が、送信側システムが解釈不能なフリーテキストとして入力された。

|AAAAAAAAAAAAAAAA1-800-Dentist|

ED カプセル化データ

HL7 成分表-ED カプセル化データ

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	227	HD	O	Source Application 作成アプリケーション
2	9	ID	R	Type of Data データ型
3	18	ID	O	Data Subtype データサブ型
4	6	ID	R	Encoding 符号化
5	65536	TX	R	Data データ

このデータ型は、カプセル化されたデータをソース・システムから目的地システムへ送信する。それは、ソース・システムの識別、データの型、データのコーディング方式およびデータ自身を含んでいる。このデータ型は、RP-参照ポインタデータ型に似ているが、このデータ型は一方のシステム上のデータを指すべき代わりに、そのシステムへ送られるべきデータを含んでいる。

第1成分 Source Application 作成アプリケーション(HD)

データの生成元であるシステムを特定する一意的な名称。参照ポインタにおけるのと同じ形式と制限を持つ。

第2成分 Type of Data データ型(ID)

参照ポインタ (RP) データ型の「データの型」成分と同一。有効な値については「HL7表0191－参照データの型」を参照。

第3成分 Data Subtype データサブタイプ(ID)

参照ポインタ (RP) データ型の「サブタイプ」成分と同一。有効な値については「HL7表 0291－参照データのサブタイプ」を参照。

第4成分 Encoding 符号化(ID)

続く2進数8ビットの列をASCII文字で表現するのに使用された符号化形式。有効な値については「HL7表0299－符号化」を参照。

HL7 表 0299－符号化

Value	Description
A	コーディングはない。データは表示可能な ASCII 文字である。
Hex	16 進法のコーディング。連続するペアの 16 進数字は連続する単一オクテットを表す。
Base64	MIME(多目的インターネットメール拡張)標準の RFC1521によって定義されるコーディング。4つの連続する ASCII 文字が、二進法データの連続する3つのオクテットを表す。Base64 は、米国 ASCII の 65 文字サブセットを利用し、これを構成するのは大文字および小文字の英字、数字「0」から「9」まで、「+」、「/」および「=」である。

MIMEインターネット標準のRFC1521により、Base64を以下のように定義する。24ビットの入力グループ(3つのオクテット)を横切って左から右に進むので、各6ビットのグループは印刷可能な64文字の配列として使用する。指標によって参照された文字が、コード化された文字列に置かれる。これらの文字は「HL7表0290－MIME base64コード化文字」に示され、普遍的に表現可能なように選択される。

24ビット未満がデータの終わりで入力グループにおいて利用可能な場合、特別の処理を実行する。十分なコーディング量はデータの終わりで常に完成される。24入力ビット未満が入力グループにおいて利用可能な場合、6ビット・グループの整数を形成するために、右側にゼロビットを付加する。

入力データの無い出力フィールド文字は文字「=」に設定される。コード化された出力はすべてオクテットの整数であるので、次の場合だけが発生する。

- (1) 入力の最終量は24ビットの不可欠な倍数である。

ここで、コード化された出力の最終単位は「=」のパディングなしの4文字の不可欠な倍数になる。

- (2) 入力の最終量はちょうど8ビットである。

ここで、コード化された出力の最終単位は2つの「=」パッド文字が後続する2文字になる。

- (3) 入力の最終量はちょうど16ビットである。

ここで、コード化された出力の最終単位は1つの「=」パッド文字が後続する3文字になる。

HL7 表 0290－MIME base64 コード化文字

Value/Code	Value/Code	Value/Code	Value/Code
0 A	17 R	34 I	51 z
1 B	18 S	35 j	52 0
2 C	19 T	36 k	53 1
3 D	20 U	37 l	54 2
4 E	21 V	38 m	55 3
5 F	22 W	39 n	56 4
6 G	23 X	40 o	57 5
7 H	24 Y	41 p	58 6
8 I	25 Z	42 q	59 7

Value/Code	Value/Code	Value/Code	Value/Code
9 J	26 a	43 r	60 8
10 K	27 b	44 s	61 9
11 L	28 c	45 t	62 +
12 M	29 d	46 u	63 /
13 N	30 e	47 v	
14 O	31 f	48 w	(pad) =
15 P	32 g	49 x	
16 Q	33 h	50 y	

コード化されたオクテットが、なんらかのコーディング方法によって解釈され、それが暗黙のものかまたは表わされたデータ型で指定されるものを超えるとき(例えば目的地アプリケーション上の、16ビットあるいは32ビット・二進法の語の中のそれらのオーダリング)、それは目的地アプリケーションによって決定され、この規格の範囲外である。

ソースアプリケーションから目的地アプリケーションまで送信されるべきデータを構成する表示可能なASCII文字。もしコード化された二進数であれば、「データの型」によってコード化される。

第5成分 Data データ(TX)

生成元アプリケーションから受信アプリケーションに送信されるデータを構成する表示可能なASCII文字列。文字は、「ST型」で定義されている通り、STデータ型における正当な文字に限定され、またバイナリデータの場合は、「データの型 (ID)」による方法によって符号化されている。

CCP チャンネル調整パラメータ

HL7 成分表—CCP チャンネル調整パラメータ

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	6	NM	O	Channel Calibration Sensitivity Correction Factor チャンネル調整感度補正因子
2	6	NM	O	Channel Calibration Baseline チャンネル調整基底値
3	6	NM	O	Channel Calibration Time Skew チャンネル調整時差

注：HL7 Ver.2.5 より、OBX-5 測定値(*)がデータ型 CD であるときに OBX-5.3 で用いられる CM データ型を置き換える。

第1成分 Channel Calibration Sensitivity Correction Factor チャンネル調整感度補正因子(NM)

この成分は、おそらく直近に行われた補正操作から得られた、チャンネル感度の補正因子を示す。実際のチャンネル感度は、先行する成分で与えられる名目チャンネル感度とユニット共通補正因子との積となる。

第2成分 Channel Calibration Baseline チャンネル調整基底値(NM)

この成分は、実際のチャンネル基底値（名目入力信号値が0の際のデータ値）を示す。実際の基底値は、ADCに接続された増幅器のDCオフセットにより理想値からは異なることがある。全てのチャンネルに対する実際の基底値（整数値であるとは限らない）は、調整操作の際に0信号を各チャンネルに接続したときに得られる、平均のデジタル変換値によって定められることもある。

第4成分 Channel Calibration Time Skew チャンネル調整時差(NM)

この成分は、名目サンプリング（デジタル変換）時刻（全てのチャンネルについて同時である）とそのチャンネルの実際のサンプリング時刻との差を秒（あるいは、1秒を割った分母）で示す。この値は、一つの結果にまとめられる全てのチャンネルが同時にサンプリングされるのではないときには、0と異なる値をとる。それは、いくつかのシステムで起こるように、一定の時間間隔で、複数のチャンネルを逐次サンプリングしていくような場合である。この値はまた、同一の時間変化する信号が全てのチャンネルに与えられ、チャンネル間の時差を推定するような調整操作によ

って決定されたり、あるいはもっと一般的には、使用されているデジタル変換システムに対する製造者の仕様から値を得たりする。例えば、一定の時間間隔 t で連続するチャンネルをサンプリングするシステムの場合は、そのシステムでのチャンネル番号 n の時差は $(n-1)t$ となる。このようなシステムでは、チャンネル番号 n におけるサンプル番号 m の実際のサンプリング（デジタル化）時刻は、 R を期の開始時刻における参照時刻、 f をチャンネルサンプリング周波数($t < 1/f$)としたとき、 $R + (m-1)/f + (n-1)t$ で表せる。

CD チャンネル定義

HL7 成分表—CD チャンネル定義

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	22	WVI	O	Channel Identifier チャンネル識別子
2	17	WVS	O	Waveform Source 波形の発生源
3	544	CSU	O	Channel Sensitivity/Units チャンネル感度/単位
4	20	CCP	O	Channel Calibration Parameters チャンネル調整パラメータ
5	6	NM	O	Channel Sampling Frequency チャンネルサンプリング周波数
6	33	NR	O	Minimum/Maximum Data Values 最小/最大データ値

デジタル波形データを標識付けするために、このデータ型を使用する。

第1成分 Channel Identifier チャンネル識別子(WVI)

この成分は波形データが送信される記録チャンネルの番号と名称を示す。

第2成分 Waveform Source 波形の発生源(WVS)

この成分はチャンネルに接続された波形の発生源を明記する。1つの波形について2つの入力を個別に特定する必要があるときには、2つの名称が示される。チャンネルが単独の入力に接続されている場合は、名称は1つだけ示す必要がある。例えば、心電図の記録の場合は、普通（IやIIといった）1つの名称だけが用いられる；脳波の場合は、普通（F3やC3といった）差動アンプのそれぞれの入力に1つずつ、計2つの名称が用いられる。

第3成分 Channel Sensitivity/Units チャンネル感度/単位(CSU)

この成分は、チャンネル感度（ゲイン）および測定に用いられる単位を示す。

第4成分 Channel Calibration Parameters チャンネル調整パラメータ(CCP)

この成分は、チャンネル感度に対する補正值、基底値およびチャンネル時差を示す。

第5成分 Channel Sampling Frequency チャンネルサンプリング周波数(NM)

この成分はチャンネルのサンプリング周波数をヘルツで示す。すなわち連続するサンプル間の秒数の逆数である。これは送信されたデータの周波数であり、アナログ→デジタル変換器あるいはその他のデジタルデータ源により取得されたデータの実際の周波数である場合も、そうでない場合もあることに注意。（すなわち、送信されたデータは、元々取得されたデータから、サブサンプリング、すなわち間引きされたものである場合がある。）

第6成分 Minimum/Maximum Data Values 最小/最大データ値(NR)

この成分は、このチャンネルのデジタル波形データが取り得る最小および最大のデータ値、すなわち、アナログ→デジタル変換の範囲を示す。またこの成分は、このチャンネルのデジタル波形データが小数値を取り得るか否かも示す。最小値および最大値がともに整数である（または提示されていない）場合は、このチャンネルでは整数のデータ値のみが用いられ、最小値または最大値のいずれかが小数点を含んでいる場合、このチャンネルでは整数だけでなく小数のデータ値も用いられる。 n ビットのアナログ→デジタル変換の場合、表示上の基底値は $B=0$ である場合、最小値(L)と最大値(H)は次のように計算される。

$$L = -2n^{-1}$$

$$H = 2n^{-1} - 1$$

符号無し n ビットのアナログ→デジタル変換の場合、最小値 $L=0$ であり、表示上の基底値(B)と最大

値(H)は次の公式で計算される。

$$B = 2n^{-1}$$

$$H = 2n - 1$$

実際の信号増幅率 A (差分増幅での電位測定の場合は、番号1の電極の電位から番号2の電位の差)は、波形データのD(LとHの間の幅)から、実際のベースライン値Bと表示上の感度Sと実行感度補正因子Cから次の公式により求められる。

$$A = SC(D-B)$$

MA 多重化された配列

HL7 成分表—MA 多重化された配列

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
	16	NM	O	Sample 1 From Channel 1 チャンネル 1 のサンプル値
2	16	NM	O	Sample 1 From Channel 2 チャンネル 2 のサンプル値
3	16	NM	O	Sample 1 From Channel N チャンネル N のサンプル値 1
4	16	NM	O	Sample 2 From Channel 1 チャンネル 1 のサンプル値
5	16	NM	O	Sample 2 From Channel N チャンネル N のサンプル値 2
6	16	NM	O	Sample N From Channel N チャンネル N のサンプル値 N

このデータ型はチャンネル多重の波形データ (すなわちアナログ/デジタル変換機やその他のデジタルデータ発生源からのデジタル化されたデータ) を表現するのに用いる。各値はNM型でチャンネルからのある時間のサンプル値を表す。このセグメントは複数チャンネルからの情報を含むことができる。波形データはチャンネル多重された形式 (すなわち、最初の時間のサンプル値を全てのチャンネル分送信された後、次の時間のサンプル値が送信され、そして順に必要とされる数だけの時間のサンプル値が送信されるまで繰り返される。) 各時間のサンプル値は反復デリミタ(~)によって区切られ、各サンプル値のチャンネルの区切りは成分デリミタ (^) で区切られる。サンプル値の間の時間 (サンプリング間隔) は、デジタル化周波数の逆数であり、CDデータ型を用いて表現される。

例1: 3チャンネル (同値)、6つの時間のサンプル値

|0^0^0~1^1^1~2^2^2~3^3^3~4^4^4~5^5^5|

例2: 1チャンネル、11の時間のサンプル値

|0~1~2~3~4~5~6~7~8~9~10|

NA 数値の配列

HL7 成分表—NA 数値配列

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	16	NM	R	Value1 値 1
2	16	NM	O	Value2 値 2
3	16	NM	O	Value3 値 3
4	16	NM	O	Value4 値 4
...				

このデータ型は一連の数値 (配列) を表すのに用いる。この型のフィールドは1次元の数値の配列 (ベクトルまたは列) を含むことができる。またフィールドの反復を許せば、2次元の数値の配列 (表) をこの形式を使って送信することができる。このときその表の各行はこのフィールドの1繰り返しとして表現される。1つまたは複数の値が存在しない配列も送信されることがある。「存在しない」値は、2つの隣り合った成分デリミタで表現される。行の最後で値が存在しないことが起こったら、最後の成分デリミタは省略してよい。表全体の行が価値を持たなかった場合、成分デリミタはひとつも必要ではない。(この場合2つの反復デリミタが隣り合うことになる。)

例1: 8数字のベクトル

|125^34^~22^~234^569^442^~212^6|

例2: 3x3の数値配列

|1.2^~3.5^5.2~2.0^3.1^~6.2~3.5^7.8^~1.3|

例3: (1,1), (2,2), (2,3), (3,3), (3,4), (4,1), (4,2), (4,3), および(4,4)の位置に値が存在しない5x4の数値配列。

|^2^3^4~5^^^8~9^10~~17^18^19^20|

CP 複合価格

HL7 成分表—CP 複合価格

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	20	MO	R	Price 金額
2	2	ID	O	Price Type 価格型
3	16	NM	O	From Value 始点の値
4	16	NM	O	To Value 終点の値
5	705	CWE	O	Range Units 範囲単位
6	1	ID	O	Range Type 範囲型

注: このデータ型は、与えられたセグメント内の反復フィールドを定義するためにしばしば用いられる。

|100.00&USD^UP^0^9^min^P~50.00&USD^UP^10^59^min^P~10.00&USD^UP^60^999^P~50.00&USD^AP~200.00&USD^PF~80.00&USD^DC|

第1成分 Price 価格(MO)

唯一必須成分であり、小数点を通常含んでいる。MOデータ型の各成分がここでは副成分であることに注意すること。

第2成分 Price Type 価格タイプ(ID)

コード化された値、型データ型ID。有効な値については、HL7表0205—価格タイプを参照。

HL7 表 0205—価格タイプ

Value	Description
AP	管理上の価格あるいは取り扱い料金
DC	直接の単位原価
IC	間接の単位原価
PF	実行提供者に対する専門の料金
TF	機器の使用に対する技術料金
TP	価格の合計
UP	単価、手続きまたはサービスの長さに基づいてもよい。

第3成分 From Value 始点の値(NM)

上記の始点の値を参照。

第4成分 To Value 終点の値(NM)

上記の始点の値を参照。

第5成分 Range Units 範囲単位(CWE)

コード化された値、データ型CE。時あるいは量のいずれかの単位の標準の表によって定義されたもの。これは、範囲、例えば秒、分、時間、日、量（例えばカウント）に関連した単位について記述する。それは、<始点の値>および<終点の値>が存在するとき、必要とされる。

第6成分 Range Type 範囲型(ID)

有効な値については、HL7表0298—CP範囲型を参照。

HL7 表 0298－CP 範囲型

Value	Description
P	比例配分。この間隔にこの価格を適用する。発生／消費した間隔の部分によって比例配分される。
F	定額。この間隔に価格全体を適用する。価格全体が発生／消費しない場合価格の比例配分をしない。

FC 会計クラス

HL7 成分表－FC 会計クラス

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	20	IS	R	Financial Class Code 会計のクラス
2	26	TS	O	Effective Date 発行期限

第1成分 Financial Class Code 会計のクラス(IS)

この成分は、人に割り当てられた会計のクラスを含んでいる。推奨値については使用者定義表0064－会計クラスを参照。

使用者定義表 0064－会計クラス

Value	Description
	推奨できる値はない

第2成分 Effective Date 発行期限(TS)

この成分は最初の成分で示されたこの個人に割り当てられる会計クラスが有効になる日付／時間を格納する。

DLN 運転免許証番号

H7 成分表－DLN 運転免許番号

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	20	ST	R	License Number 免許番号
2	20	IS	O	Issuing State, Province, Country 発行州、省、国
3	24	DT	O	Expiration Date 失効日付

運転免許証番号、発行地、有効期限を表す。

第1成分 License Number 免許番号(ST)

運転免許番号を格納する。

第2成分 Issuing State, Province, Country 発行州、省、国(IS)

運転免許の発行権限者。州または省については公式な郵便コード、国のコードについてはISO 3166を参照。ISO 3166は3つの異なる形式の国コードをもっている。HL7はくにコードには3文字（のアルファベット）を使うことを定めている。使用者定義表0333－運転免許発行権限者が、この成分に対する値の使用者定義表についてのHL7識別子として使用される。

使用者定義表 0333－運転免許発行権限者

Value	Description
	推奨できる値はない

第3成分 Expiration Date 失効日付(DT)

運転免許の失効日付(DT)。

JCC 職種コード／種類

HL7 成分表－JCC 職種コード／種類

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	20	IS	O	Job Code 職コード
2	20	IS	O	Job Class 職クラス
3	250	TX	O	Job Description Text 職を記述するテキスト

職種と雇用種別を表す。

第1成分 Job Code 職コード (IS)

この成分はその人のジョブコードを含む。使用者定義表0327-職コードがこの成分の値の使用者定義表に対するHL7識別子として用いられる。

使用者定義表 0327－職コード

Value	Description
	推奨できる値はない

第2成分 Job Class 職クラス (IS)

この成分はその人の職員の分類を含む。提案されている値については使用者定義表0328－職分類を参照。

使用者定義表 0328－職分類

Value	Description
	推奨できる値はない

第3成分 Job Description Text 職を記述するテキスト (TX)

この成分は職を記述するテキストを含む。これは職の記述がコード化されていないシステムの便宜を図るものである。

QIP 照会入力パラメータリスト

HL7 成分表－QIP 照会入力パラメータリスト

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	12	ST	R	Segment Field Name セグメントフィールド名
2	199	ST	R	Values 値 1&値 2&値 3...

このフィールドは、ストアードプロシジャへ渡されるパラメータである名前と値の一覧表を含んでいる。

|@PID.5.1^EVANS|

第1成分 Segment Field Name セグメントフィールド名 (ST)

セグメントフィールド名を含んでいる。

フィールド名の命名ルール：

フィールドのためのHL7セグメントIDと連結された「@」記号によって、フィールドが指定される。フィールドが成分に分割される場合、名前の後に「.nn」を付けてもよいが、これは特定の成分を識別するためである（「.3」のサフィクスはフィールドの第3の成分を示す）；そうでなければ、全体のフィールドが仮定される。フィールドがさらに副成分に分割される場合、名前の後に「.nn.mm」を付けるが、それは相対的な位置によって要求された成分および副成分を識別するためである。

施設特定のフィールドを使用してもよいが、それらが文字「Z」から始まることが条件である。この場合、既存のHL7セグメントIDとセグメント番号に矛盾しない施設特定のセグメントIDとセグメント番号が定義されなければならない。

このフィールドに対する値は、この仕様の機能特定の章に定義されている。

注：「@」が、「MSH-2コード化文字」の中で定義された区切記号文字のうちの1つとして使用されている場合、それはエスケープされねばならない。

第2成分 Values 値 (ST)

フィールド値を含んでいるか、あるいは「値1&値2&値3...」の形式の値を含んでいる。

単一値パラメータは、第2の成分に単一の副成分だけを含んでいる、したがって副成分の区切記号は必要ではない（例えば<フィールド名>^<値>）。値の単純な一覧表（すなわち一次元の配列）を、単一値の代わりに渡してもよいが、各値は区切記号で分離する（<フィールド名>^<値1&値2&...>）。

QSC 照会選択基準

HL7 成分表-QSC 照会選択基準

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	12	ST	R	Segment Field Name セグメントフィールド名
2	2	ID	O	Relational Operator 比較演算子
3	199	ST	O	Value 値
4	3	ID	O	Relational Conjunction 比較論理積

このフィールドは、問合せ応答で返されるべき行に資格を与える条件を示す。（このフィールドは問合せの対応するSQL表現中の「WHERE」句と同じ情報を伝えるが、フォーマットのされ方は異なっている。）

|@PID.5.1^EQ^EVANS|

第1成分 Segment Field Name セグメントフィールド名(ST)

修飾語として参加しているフィールドの名前（通常「キー」）。フィールドに名前を付ける方法については、データ型QIPの第1成分の「セグメントフィールド名(ST)」を参照。

第2成分 Relational Operator 比較演算子(ID)

有効な値についてはHL7表0209-比較演算子を参照。

HL7 表 0209-比較演算子

Relational operator	Value
EQ	等しい
NE	等しくない
LT	より小さい
GT	より大きい
LE	以下
GE	以上
CT	含む
GN	一般

第3成分 Value 値(ST)

フィールドがそれに対して比較される値。

第4成分 Relational Conjunction 比較論理積(ID)

「HL7表0210-比較論理積」を参照。比較論理積は以下のように定義される。資格を得る行を選択するために複数の比較がされる場合、結合子はこれらの比較文を連結する。

HL7 表 0210-比較論理積

Relational conjunction	Note
AND	デフォルト

Relational conjunction	Note
OR	

- 文字列に適用されたとき、関係オペレータLT、GT、LEおよびGEはアルファベットの比較を意味する。
- 「総括的な」比較は、指定された文字列の初めが選択文字列と一致するレコードを選び応答に含める。
- 反復フィールドがオペランドとして指定される場合、そのいずれかのフィールド条件が一致すれば、応答メッセージ中に含めるための行に資格を与える。
- ANDはORに優先する。より高度で複雑な条件は、埋め込みの問合せ言語メッセージあるいはストアプロシジャ問合せメッセージとして問合せが表現されることを要求する。

RCD 行・列定義

HL7 成分表－RCD 行・列定義

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	12	ST	O	Segment Field Name セグメントフィールド名
2	3	ID	O	HL7 Data Type HL7 データ型
3	2	NM	O	Maximum Column Width 最大コラム幅

PID-5の「姓」コンポーネントの値を含んでいる。データが最大幅の20桁

|@PID.5.1^ST^20|

これはセグメントフィールド名、データ型および最大長により列の書式を示す。

第1成分 Segment Field Name セグメントフィールド名(ST)

HL7セグメントフィールド名であって、これはコラムを占めるフィールドを識別する（セグメントフィールド名の付け方については、QIP. 1を参照）。

第2成分 HL7 Data Type HL7データ型(ID)

3文字のHL7データ型。HL7表0440－データ型に従う有効な値のためのデータ型。

第3成分 Maximum Column Width 最大コラム幅(NM)

最大コラム幅であって、返信システムによって決まるもの（これはHL7定義の最大フィールド長さと異なるかもしれない）。

VH 来院時間

HL7 成分表－VH 来院時間

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	3	ID	O	Start Day Range 開始曜日
2	3	ID	O	End Day Range 終了曜日
3	16	TM	O	Start Hour Range 開始時刻
4	16	TM	O	End Hour Range 終了時刻

このデータ型は患者の居場所に来院できる時間を含んでいる。最初の2つの成分に対する有効な値については、HL7表0267－曜日を参照。

第1成分 Start Day Range 開始曜日(ID)

来院時間範囲の開始の曜日。値については、HL7表0267－曜日を参照。

第2成分 End Day Range 終了曜日(ID)

来院時間範囲の最後の曜日。来院時間範囲の開始の曜日。値についてはHL7表0267－曜日を参照。

HL7 表 0267－曜日

Value	Description
SAT	土曜日
SUN	日曜日
MON	月曜日
TUE	火曜日
WED	水曜日
THU	木曜日
FRI	金曜日

第3成分 Start Hour Range 開始時刻(TM)

来院時間範囲の最初の曜日の開始時間（第1の成分の「開始曜日」を参照）。

第4成分 End Hour Range 終了時刻(TM)

来院時間範囲の最後の曜日の終了時間（第2の成分の「終了曜日」を参照）。

PPN 実施者タイムスタンプ

HL7 成分表－PPN 実施者タイムスタンプ

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	15	ST	O	ID Number ID 番号
2	194	FN	O	Family Name 姓
3	30	ST	O	Given Name 名
4	30	ST	O	Second and Further Given Names or Initials Thereof 2 番目以降の名またはそれらのイニシャル
5	20	ST	O	Suffix (e.g., JR or III) 接尾語（例：JR または III）
6	20	ST	O	Prefix (e.g., DR) 接尾語（例：DR）
7	5	IS	B	Degree (e.g., MD) 学位（例：MD）HL7 Ver.2.5 より非推奨
8	4	IS	C	Source Table ID 管理表
9	227	HD	O	Assigning Authority 割当権限者
10	1	ID	O	Name Type Code 名前型コード
11	1	ST	O	Identifier Check Digit 識別子チェックデジット
12	3	ID	C	Check Digit Scheme チェックデジット体系
13	5	ID	O	Identifier Type Code 識別子型コード
14	227	HD	O	Assigning Facility 割当施設
15	26	TS	O	Date/Time Action Performed 行為実施日付／時刻
16	1	ID	O	Name Representation Code 名前表記コード
17	705	CWE	O	Name Context 名前の文脈
18	17	DR	B	Name Validity Range 名前の有効範囲 HL7 Ver.2.5 より非推奨
19	1	ID	O	Name Assembly Order 名前構成順序
20	26	TS	O	Effective Date 発行日付
21	26	TS	O	Expiration Date 失効日付
22	199	ST	O	Professional Suffix 専門職の接頭辞
23	705	CWE	O	Assigning Jurisdiction 割当管轄
24	705	CWE	O	Assigning Agency or Department 割当権限者または行政組織

このデータ型はTSデータ型につながれたXCNデータ型と等価なものであり、誰がいつアクション

を実行したかを記録するために使用する。nullでない場合、実行者およびタイムスタンプの両方の値が設定されねばならない。

第1成分 ID Number ID番号(ST)

成分8で示される使用者定義表によりコード化されたID。最初の成分が明示された場合にはID管理表または割当権限者に値を入れる必要がある。

第2成分 Family Name 姓(FN)

このデータ型はある個人の姓を完全に示すことを可能とする。必要なときは、このデータ型は個人の名前が、もともとの姓と配偶者の姓を含んでいる場合に、そのそれぞれを区別する。このデータ型はまた、メッセージにおいて、姓の接頭辞の部分（例えば"van"や"de"のような）と語根の部分とを区別することを可能にする。

第3成分 Given Name 名(ST)

ファーストネーム。

第4成分 Second and Further Given Names or Initials Thereof 2番目以降の名またはそれらのイニシャル(ST)

複数のミドルネームを空白で区切って入れることができる。

第5成分 Suffix (e.g., JR or III) 接尾語（例、JRまたはIII）(ST)

名前の接尾語を明記するのに用いる。（例、JrまたはIII）

第6成分 Prefix (e.g., DR) 接尾語（例 DR）(ST)

名前の接頭語を明記する。（例、Dr）

第7成分 Degree (e.g., MD) 学位（例：MD）(IS)

注：HL7 Ver.2.5 より HL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。

専門職接頭語成分を参照。教育における学位（例、MD）を明記するのに用いる。提案されている値については「使用者定義表0360—学位／免許／資格」を参照。

第8成分 Source Table ID管理表(IS)

この成分に関する使用者定義表の値として「使用者定義表0297—CNID管理表」のHL7識別子が使われている。最初の成分を記述するのに用いる。

第9成分 Assigning Authority 割当権限者(HD)

割当権限者はそのデータを生成したシステム（あるいは組織、政府機関の部署）についての一義的な識別子である。これはHD データ型である。「使用者定義表0363—割当権限者」がHD成分の最初の副成分<ネームスペースID>に与える値のHL7識別子として用いられる。

第10成分 Name Type Code 名前型コード(ID)

名前の型を表すコード。有効な値については「HL7表0200—名前型」を参照。

第11成分 Identifier Check Digit 識別子チェックデジット(ST)

このデータ型でのチェックデジットは、メッセージ処理系により生成された後付けのものではない。識別番号の一部分で、送信側アプリケーションで使用される部分が、この成分でいうチェックデジットである。送信側のアプリケーションが自己生成のチェックデジットを識別番号に含めていない場合は、この成分はnullにしなければならない。

第12成分 Check Digit Scheme チェックデジット体系(ID)

使用されているチェックデジット方式の指定を含む。有効な値については「HL7表0061 -チェックデジット形式」を参照。

第13成分 Identifier Type Code 識別子型コード(ID)

患者に最初に識別子が割り当てられた、建物・場所の識別子。この成分は識別子の固有の部分ではないが、識別子の履歴に関する部分である。この成分は、特定の相互通信システムのために存在している。有効な値については「HL7表0203—ID型」を参照。

第14成分 Assigning Facility 割当施設(HD)

患者に最初に識別子が割り当てられた、建物・場所の識別子。この成分は識別子の固有の部分ではないが、識別子の履歴に関する部分である。この成分は、特定の相互通信システムのために存在している。

第15成分 Date/Time Action Performed 行為実施日付/時刻(TS)

この成分は行為がいつ実施されたを記述する。

第16成分 Name Representation Code 名前表記コード(ID)

同じ名前/住所に対する別の名前/住所型および名前/住所表記は、このフィールドを、名前/住所型および/または名前/住所表記を違えて、繰り返すことで表現すべきである。一般的にこの成分はデータ項目で提供される表記の指示を行う。使用されている文字セットを示すことは必要ではない。したがって、表記は何を期待すべきかを示すが、それでもなお、送信側は自由に望むどんな文字集合を使っても内容をコード化することができる。この成分は受信者にヒントのみ与えるので、受信側は何が送られてきて何を表示する能力があるかをもとに選択を行うことができる。有効な値について「HL7表0465-名前/アドレス表記」を参照。

第17成分 Name Context 名前の文脈(CWE)

この成分は名前の使われる文脈を示すのに用いられる。主なユースケースはオーストラリアの保険医療においてである：異なる保険医療施設に入院する場合に、異なる名前を使用することを希望する先住民の患者である。別のユースケースは、米国で、医療従事者が少し異なる名前で免許を受けることができ、管理上の理由で正確な名前を届け出ることがきわめて重要な場合である。提案されている値については「使用者定義表0448-名前の文脈」を参照。

第18成分 Name Validity Range 名前の有効範囲(DR)

注：HL7 Ver.2.5 より HL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ保持されている。

この成分は、この名前が有効な期間を示す開始と終了の日付/時間を含む。副成分の説明については「DR-日付/時刻範囲」を参照。PPN.20発効日付およびPPN.21失効日付を参照。この成分は十分に表現することができず、v2.4の誤りとして認識されている。

第19成分 Name Assembly Order 名前構成順(ID)

この人名の構成要素の望ましい表示順を表す。有効な値については「HL7表0444-名前構成順」を参照。

第20成分 Effective Date 発効日付(TS)

知られている場合には、住所が正当で有効となる最初の日。

第21成分 Expiration Date 失効日付(TS)

知られている場合には、住所が正当で有効である最後の日。

第22成分 Professional Suffix 専門職の接頭辞(ST)

その人の専門職種（例、免許、資格、学位、専門学会の会員）を証明する資格を表示する略語あるいは略語の文字列を示すのに用いられる。人名が表示されるときに、専門職の接頭辞は、通常、姓の後に表示される。この成分は、非整形の文字列で、表示目的のみで用いられることに注意すること。

第23成分 Assigning Jurisdiction 割当管轄(CWE)

成分1の識別子を割り当てた地理・政治上のエンティティ。

第24成分 Assigning Agency or Department 割当権限者または行政組織(CWE)

成分1の識別子を割り当てた割当権限者または割当組織。

DR 日付／時間の範囲

HL7 成分表－DR 日付／時間の範囲

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	26	TS	O	Range Start Date/Time 開始日付／時刻
2	26	TS	O	Range End Date/Time 終了日付／時刻

書式：YYYY[MM[DD[HHMM[SS[.S[S[S[S]]]]]]][+/-ZZZZ] & < 精度 >

第1成分 Range Start Date/Time 開始日付／時刻(TS)

指定された範囲内での最も早い日付／時間（時刻スタンプ）を含んでいる。

第2成分 Range End Date/Time 終了日付／時刻(TS)

指定された範囲内での最新の日付／時間を含んでいるTS（時刻スタンプ）データ型によって精度の指定ができることに注意すること。

RI 繰り返し間隔

HL7 成分表－RI 繰り返し間隔

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	6	IS	O	Repeat Pattern 繰り返しパターン
2	199	ST	O	Explicit Time Interval 明示的な時間間隔

このフィールドは、繰り返す予約の間隔を含んでいる。デフォルト設定は、成分の値がない場合、予約がただ一度のみ生じることを示す。

第1成分 Repeat Pattern 繰り返しパターン(IS)

使用者定義表0335－繰り返しパターンによって定義される。それ以上の詳細については、5.10節内Repeat pattern繰り返しパターンを参照。

第2成分 Explicit Time Interval 明示的な時間間隔(ST)

第1の副成分中でコードによって参照される実時間を明示的に列挙し、そのフォーマットはHHMM、HHMM、HHMM、...である。実際の管理時間が組織内で変わる場合、第2の副成分が第1の副成分を明確にするために使用される。詳細は、5.10節内Explicit time interval明確な時間間隔を参照。

SCV 予約クラスと値

HL7 成分表－SCV 予約クラスと値

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	705	CWE	O	Parameter Class パラメータクラス
2	20	ST	O	Parameter Value パラメータ値

HL7予約の章に関してのみ使用される。このフィールドが使用されるのは、パラメータと優先権を実施者（予約管理）アプリケーションに伝えるためであり、内容は適切な時間予約枠、資源、場所あるいは実施者（予約管理）上書き基準を選択して予約することである。

第1成分 Parameter Class パラメータクラス(CWE)

実施者（予約管理）アプリケーションに渡されつつあるパラメータあるいは優先権を識別するコードである。推奨値については「使用者定義表0294－時間選択基準パラメータ・クラス・コード」を参照。

使用者定義表 0294－時間選択基準パラメータ・クラス・コード

Parameter	Class Description: Valid Values
好ましい開始	予約要求、サービスあるいは資源のための好ましい開始時間。24 時間時計表記法を使用するフォーマット HHMM の中の任意の法的な時間仕様

Parameter	Class Description: Valid Values
好ましい終了	予約要求、サービスあるいは資源のための好ましい終了期間。24 時間時計表記法を使用するフォーマット HHMM の中の任意の法的な時間仕様
月曜	この曜日が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。 OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。
火曜	
水曜	
木曜	
金曜	
土曜	
日曜	

第2成分 Parameter Value パラメータ値(ST)

そのパラメータに対する実際のデータ値である。

例えば、実施者（予約管理）アプリケーションが優先権パラメータを渡され、好ましい開始時間、好ましい終了期間、および週の好ましい日を指定して予約することを可能にする場合、それは次のパラメータ・クラス・コードおよび有効なデータセットを定義する。

TQ タイミング数量

サービスの実施時期とその頻度を指定する。本章5.10参照

注:HL7 Ver.2.5 より HL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ保持されている。第7章に定義されている TQ1 および TQ2 セグメントを参照。

5.5 検査項目コードについて

OBR-4、OBX-3には下記で定義された検査項目コードを使用するものとする。

5.5.1 日本臨床検査医学会 臨床検査項目分類コード

臨床検査項目分類コードの最新版については、日本臨床検査医学会のホームページ <http://www.jslm.org/> を参照。

基本コード体系

臨床検査項目分類コード(以下、「項目コード」という)は5つの要素区分よりなり、それぞれ分析物コード、識別コード、材料コード、測定法コード、結果識別コードと称する。項目コードは、基本的に"分析物コード"により整理分類され、検査材料あるいは測定法などの別を所定の付加コードとの組み合わせにおいて認識する。

(1) 分析物コード

検査対象物質を所定の細則に基づき、5桁の文字列により分類する。なお、一部例外として"反応名"を"物質名"に代えて適用する場合がある。

潜血反応、TTT、ZTT

(2) 識別コード

分析物コードを検査内容に沿って細分する必要がある場合に4桁の数列により分類する。

ウイルスの分類、ウイルス抗体価の分類、アレルギーの分類、リンパ球のCD分類

(3) 材料コード

同一項目における検査材料の別を3桁の数列により分類する。(5.6 節はこのコードを転記している。)

(4) 測定法コード

同一の項目における測定法の別を3桁の数列により分類する。

ラジオイムノアッセイ抗体法、紫外吸光度法、嫌気性培養

(5) 結果識別コード

一つの検査項目において、結果が単独あるいは複数を問わず、結果表現の別を2桁の数列により分類する。

項目コードの運用例

例： 髄液単純ヘルペスCF抗体価 (CF法)
血清単純ヘルペス中和抗体価 (中和法)

分析物	単純ヘルペス	5F190
識別	ウイルス抗体	1430
材料	血清	023
	髄液	041
測定法	CF法	141
	ウイルス中和法	151
結果識別	希釈倍率(共通)	05
	HSV-1 抗原(固有)	51
	HSV-2 抗原(固有)	52

検査依頼時のコード

髄液単純ヘルペス CF 抗体価	5F190-1430-041-141
血清単純ヘルペス中和抗体価	5F190-1430-023-151

検査報告時のコード

髄液単純ヘルペス CF 抗体価	5F190-1430-041-141-05(希釈倍率)
血清単純ヘルペス中和抗体価	5F190-1430-023-151-51(HSV-1 抗原)
	5F190-1430-023-151-52(HSV-2 抗原)

5.5.2 臨床検査項目分類コードの利用

臨床検査項目分類コードは5つの基本コードを組み合わせ、実際の検査項目コードとして使用する。検査依頼時では結果識別コードを除く15桁で表現され、結果報告時にはさらに結果識別コードが追加され17桁で表現される。

5.5.3 検査項目コードと検査材料の関連

検査項目コード中に材料が設定されているが、これはあくまで一つの検査項目測定系を示すものである。したがって、検査データを扱うシステムでは検査項目フィールドと検査材料フィールドを別に持つべきである。OBR/OBXで用いる場合、検査項目フィールド(OBR-4,OBX-3)にはオーダーする検査項目を示すコード(すなわち商品コードのような性格)を、検査材料フィールド(OBR-15)には実際に提出する材料コードを設定する。

5.5.4 検査項目コード事例集

臨床検査項目分類コードを実際に組み合わせ検査項目コードに付番するのは様々な解釈もあり容易ではない。前述の日本臨床検査医学会のホームページ <http://www.jslm.org/> にて臨床検査項目分類コードで分類された実際に使用されることの多い検査項目について付番したコード表(運用コード表)を掲載している。

5.6 検査材料・採取部位コードについて

OBR-15、SPM-4、SPM-10では下記で定められた材料コードを使用するものとする。

5.6.1 日本臨床検査医学会 臨床検査項目分類コード 材料コード

臨床検査項目分類コードの最新版については、日本臨床検査医学会のホームページ <http://www.jslm.org/> を参照。

材料コード適用細則

1. 材料コードの選択は、一般の生体成分分析などにおいては“材料コードⅠ”によるものとし、細胞診・生理機能検査などに使用される“組織の詳細および生体部位”については“材料コードⅡ”に、その他の非生体材料については“材料コードⅢ”による。
2. 「尿」および「血液」について
特別な場合を除き、尿は「尿(含むその他の尿)」(001)および「蓄尿」(004)を、血液は「全血」(018)、「血漿」(022)および「血清」(023)に分類することが望ましい。
3. 「全血」(添加物入り(019))について
抗凝固剤、抗血小板剤などの添加物により検査材料の安定化を必要とする検査項目に適用する。
4. 「ペア材料」(098)について
複数の異なる検査材料を必要とする検査項目に適用する。

各種クリアランス試験

材料コードⅠ一覧

コード	材料名	コード	材料名	コード	材料名
	○尿・便		○穿刺液		○組織
001	尿(含むその他)	040	穿刺液(含むその他)	070	組織*(含むその他)
002	自然排尿	041	髄液	071	生検組織*
003	新鮮尿	042	胸水	072	試験切除組織*
004	蓄尿	043	腹水	073	手術切除組織*
005	時間尿	044	関節液	074	剖検切除組織*
006	早朝尿	045	心嚢液	075	固定組織*
007	負荷後尿	046	骨髄液		○その他
008	分杯尿	047	羊水	077	毛髪
009	カテーテル採取尿	048	腰椎	078	爪
010	尿ろ紙	049	骨髄塗抹標本	080	菌株
011	膀胱穿刺		○分泌液	081	結石(含むその他)
012	動物尿	050	分泌液(含むその他)	082	尿路系結石
015	便	051	消化器系からの分泌液	083	胆石
	○血液	052	胃液	085	擦過物
017	血液(含むその他)	053	十二指腸液	086	膿(含むその他)
018	全血	054	胆汁	087	開放性の膿
019	全血(添加物入り)	055	唾液	088	非開放性の膿
020	動脈血	056	唾液	089	水泡内容物
021	毛細管血	059	前立腺液	090	嘔吐物
022	血漿	060	精液	091	洗浄液
023	血清	061	喀痰	092	血液以外の抽出液
024	血球浮遊液	062	乳汁	093	浸出液

コード	材料名	コード	材料名	コード	材料名
025	赤血球	063	鼻汁	094	塗抹標本(血液、骨髄以外)
026	リンパ球	064	咽喉からの分泌液	095	透析液
027	血小板	065	耳からの分泌液	096	かん流液
028	白血球	066	目からの分泌液	097	培養液
029	臍帯血	067	膣からの分泌液	098	ペア材料
030	溶血液	068	皮膚からの分泌液(汗)	099	その他の材料
031	除タンパク液	069	気管からの分泌液		
032	血液抽出液				
033	血液ろ紙				
034	血液塗抹標本				
036	動物血				
037	動物全血				
038	動物血漿				
039	動物血清				

材料コードⅡ(組織及び生体部位)使用上の注意

組織及び生体部位は200～990の3桁で定義し、生検、およびそれぞれの切除組織は、下記のように定義する。

生検組織 ⇒ ○○1or○○6
 試験切除組織 ⇒ ○○2or○○7
 手術切除組織 ⇒ ○○3or○○8
 剖検切除組織 ⇒ ○○4or○○9

例
 皮膚 生検組織 ⇒201
 胃 生検組織 ⇒456
 骨 試験切除組織⇒252
 膀胱 試験切除組織⇒667
 膣 手術切除組織⇒553
 虫垂 手術切除組織⇒478
 肺 剖検切除組織⇒334
 小脳 剖検切除組織⇒719

材料コードⅡ(組織及び生体部位)

コード	材料名	コード	材料名	コード	材料名
	○皮膚・乳腺		○消化管・付属消化器		○泌尿生殖器(男性器)
200	皮膚		(口腔および喉頭)	600	全立腺、精囊
205	乳房	400	口腔	605	睾丸
210	乳腺	405	口唇	610	陰茎
	○造血・リンパ・細網	410	舌	615	その他の男性性器
220	リンパ節	415	歯	620	男女不明性器
225	脾臓	420	歯肉		○泌尿生殖器(泌尿器)
230	骨髄	425	唾液腺	650	腎臓
	○運動器・軟部	430	咽頭	655	腎盂
250	骨	435	扁桃	660	尿管
255	関節		○消化管・付属消化器	665	膀胱
260	骨格筋、筋膜		(上部消化管)	670	尿道
265	軟骨	450	食道	695	その他の泌尿器
270	靭帯	455	胃		○神経感覚器

コード	材料名	コード	材料名	コード	材料名
275	腱、腱鞘		○消化管・付属消化器	700	眼および眼付属器
280	軟部組織		(下部消化管)	705	大脳(大脳半球、脳梁)
	○呼吸器(上部呼吸器)	460	小腸、十二指腸膨大部	710	中脳、橋
300	鼻	465	空腸および回腸	715	小脳
305	鼻腔	470	大腸	720	延髄、脊髄
310	上顎洞、他の副鼻腔	480	直腸	725	脳膜、脊髄膜
315	喉頭蓋、喉頭	485	肛門	730	内耳
	○呼吸器(肺・気管支)		○消化管・付属消化器	735	脳神経
330	肺		(肝・胆・膵)	740	脊髄神経
335	気管	500	肝、肝内胆管	795	その他の神経系
340	気管支	510	胆道(外胆管、外胆道)		○内分泌
345	肋膜	515	膵	800	下垂体、頭咽管
350	縦隔		○消化管・付属消化器	805	松果体
355	胸膜		(腹膜・後腹膜)	810	副腎
365	その他の呼吸器	530	腹膜	815	旁神経節
	○心臓・血管	535	後腹膜、尾仙部	820	甲状腺
370	心臓	545	その他の消化器	825	副甲状腺
375	心臓弁膜		○泌尿生殖器(女性器)	830	胸腺
380	心嚢	550	膣	895	その他の内分泌
385	血管	555	子宮		○その他
390	動脈	560	子宮頸部	900	頭頸部
395	頸動脈	565	子宮腔部	910	胸郭
		570	子宮内膜	920	腹部
		575	卵管	930	上下肢
		580	卵巣	990	その他部位
		585	胎盤、臍帯		
		590	絨毛その他		
		595	外陰およびその他の女性器		

材料コードⅢ(その他の非生体材料)

コード	材料名	コード	材料名	コード	材料名
991	X線フィルム				

5.7 検査結果コメントの扱い

検査結果コメントを必要とする場合、検査項目IDを接尾辞で修飾しOBXを追加する。以下にその方法について解説する。

5.7.1 OBX に伴う叙事的報告について

放射線科などの部門から送信される読影レポートは通常、多くの副成分から構成される(例えば、胸部X線レポートは、記述、診断、指導から構成することができる)。心電図などのその他の検査には、そのような類似の成分だけでなく数値検査(左心室拡張期の直径など)も含まれる。外科病理学レポートには、採取部位、概略記述、詳細記述および各検体の仮診断など複数の検体・レポート関連情報を含むことができる。

HL7は、叙事的報告共通成分に使う検査IDを構築するためのコード接尾辞を定義した(表7. 1を参照)。そのような成分に使う検査項目は、適切な接尾辞を検査群ID(どのようなコーディング方式の場合でも先行OBRの「OBR-4-検査群ID」内のID)に連結することで得られる。例えば、胸部X線診断用の検査IDは、胸部X線検査ID(CPT4の場合、71020)、副成分区切り文字、それに接尾辞"IMP"から構成される(つまり71020&IMPになる)。

送り手と受け手が合意した場合、結果セグメントの"検査ID"成分は、先行OBRの検査IDと同じならば、オプションで省略することができるだろう。この場合、結果セグメントのOBX-3-検査項目内には&IMP、&RECなどと記述して、&と接尾辞だけを送信する。

表 7-1. Observation ID suffixes 検査項目接尾辞

Coded Results	Suffix	Type
Diagnostic Impression 所見	IMP	CWE
Recommendation 指導	REC	CWE
Confirming Procedures 処置確認	CNP	CWE
Procedure Medication 投薬治療	MED	CWE
Anatomic Site 部位	ANT	CWE
Device/Instrument 機器/器具	DEV	CWE
Serial # Device/Instrument 機器/器具の連番	SER	ST
Bulk Text Reports テキスト・レポート		
Gross Or General Description Of The Study 検査の概略記述または概要	GDT	TX or FT
Microscopic Or Secondary Description 詳細または2次的記述	MDT	TX or FT
Technician's Comment 医療技術者のコメント	TCM	TX or FT
Addendum Note 追加メモ	ADT	TX or FT
Other その他		
Diagnosis Onset Date/Time 診断開始日時	ITM	TS
Diagnosis Resolution Date/Time 診断終了日時	RTM	TS
Comparison Study 比較検査	CMS	CWE
Comparison Date/Time 比較日時	CMT	TS
Comparison Results 比較結果	CMR	CWE
Comparison Change 比較変化	CMC	CWE
Predicted Value 推定値	PRD	ST
Percent Predicted 推定率	PPR	ST
After Drug Observed 投薬後観察	AFD	ST
Predicted Value After Drug 投薬後推定値	ADP	ST
Percent Predicted After Drug 投薬後推定率	APP	ST
Timing Information タイミング	TIM	TS

Coded Results	Suffix	Type
Channel Definition Data チャンネル定義	CHN	CD
Waveform Digital Data 波形デジタルデータ	WAS	NA or MA
Waveform Annotation 波形注釈	ANO	CWE

5.7.2 叙事的報告の共通成分に使う検査 ID を定義するための接尾辞の解説

Diagnostic impressions 所見(IMP)

接尾辞がIMPの場合結果は診断か所見でありCWEデータ型として保管される。僧帽弁脱出症と大動脈弁狭窄症などの複数の別個の診断が報告されている場合、それぞれの診断は個別のOBXセグメントで送るべきである。1個のコード化結果セグメントに複数のコードが含まれているのは、そのようなコードが主要診断の修飾子である場合に限られる。つまり主要診断に関する追加詳細情報を報告するためであり、全く異なる診断を報告するためではない。

所見用コード化データ型が存在するからといって、報告部門でそのような所見を全て実際にコード化しなければならないということではない。所見は書き取りテキストとして送信できるが、テキストは、CWEデータ型の第2成分で送信することにより、コードを区別すべきである、つまり、テキストの前には成分区切り文字を記述すべきである(例えば、うっ血性心不全のように)。複数のテキスト所見が報告されている場合、個別のOBXセグメントで報告し、それらのテキスト所見が別個の所見であることを示すべきである。

Recommendations 指導(REC)

接尾辞がRECの場合、その値はCWEデータ型結果であり、反復テスト、フォローアップ、あるいは治療に関する読影医師の指導を表わしている。例えば、疑わしい病変結果がマンモグラフィ上で見られたら、読影医師は、6か月以内にマンモグラフィを再実施するかあるいは直ちに穿刺生検を実施するよう指導することができる。指導手順は、コードとして、および(もしくは)コード化識別子構造のテキスト記述として記録する。複数のフォローアップ検査が推奨されている場合、そのような指導はそれぞれ個別のRECで送られる。

Confirming procedure 処置確認(CNP)

処置確認OBX接尾辞は、IMP OBXに報告された診断を確定するのに使用される追加検査を識別する。例えば、電子顕微鏡を使って外科病理学診断を確定する場合、電子顕微鏡「OBX-3-検査項目」用識別子は、処置確認を表す接尾辞の付いた検査IDの値フィールドとして保管されるだろう。処置確認は、外科病理学レポートにおいて最も重要である。しかし処置確認は内視鏡検査などのサービスでも使用され、処置確認として生検や培養などを実施したと記録することもできる。

Procedure medication 処置投薬治療(MED)

接尾辞MEDの付いたOBX-3-検査項目は、造影剤の投薬、生理反応を引き起こすことを目的とした投薬(ストレス試験などを実施するために)、あるいは事前投薬など、手順の一部として投薬を実施した場合その薬剤に関する情報が含まれていることを示す。患者が複数の投薬を受ける場合、それぞれの薬剤は個別のOBX投薬セグメントで報告すべきである。伝送システムで投薬にコードを利用できる場合、そのようなコードはOBX-3-検査項目の第1成分として記録する。薬剤名と(または)投薬量は、OBX-5-検査結果値の第2成分に含むことができる。

Anatomic site 解剖部位(ANT)

単一レポートに複数部位についての検査を含むような診断観察がある。例えば患者が胆嚢手術に伴い虫垂切除術を受けた場合、両検体に対する病理学者の病理診断は通常、1つのレポートの単一検体番号に含まれるだろう。それぞれ個別の部位は、接尾辞ANT(OBX-3-検査項目)を持つ個別のOBXセグメントとして報告されることになる。

Devices 装置(DEV)

要求があれば、検査の実施に使用した器具あるいは装置を検査の追加"結果"として転送することができる。この場合、OBX-3-検査項目の接尾辞はDEVである。例えば、臨床検査室の自動化

装置、放射線科の画像装置とそのモデル番号、病棟の自動血圧測定器など。装置の識別子はいずれコードとして指定されることが予想されるので、コード化された入力値として装置を指定する。とりあえず当初は、装置関連情報のほとんどをCWE識別子の第2成分のテキストとして転送すると期待される。

Serial# Device / Instrument 機器/器具の連番(SER)

必要に応じ、検査に使用した機器や器具の製造番号などの連番を表記する場合に用いる。

Gross or general description 概略記述もしくは一般記述(GDT)

一般記述を表す接尾辞により、診断検査の記述成分が識別される。解剖病理学の場合には、一般記述は検体についての概略記述に適用される。記述が複数のパラグラフから成る場合、受信コンピュータ側でパラグラフをパラグラフとして表示できるようにするため、パラグラフは反復区切り文字により分離すべきである。レポートが簡潔に表現できる通常検査やEKG検査などの場合は、診断セグメントですべての情報を表現し尽くしていれば、レポート用記述セグメントを含む必要はないだろう。

Secondary or microscopic description 二次的記述もしくは詳細記述(MDT)

ほとんどの検査では二次的記述は必要ないだろう。しかし、外科病理学の場合には、詳細記述はレポートの独立箇所として存在する。それは顕微鏡を通して見られるような顕微鏡組織検査について記述する。詳細記述は、OBX-3-検査項目の接尾辞にMDTを指定したセグメントで送られるだろう。

Technician comment 医療技術者コメント(TCM)

医療技術者がコメントを記述するのに使用するフリーテキストであり、OBX-3-検査識別子の接尾辞がTCMである結果セグメントに保管される。このコメントの内容は通常、処置を実施する際の技術情報である。

Addendum note 追加情報メモ(ADT)

オリジナルの叙述の後に追加情報として加えられ、レポートの個別のラベル付きセクションとして送られる情報を報告するのに使用する。

Diagnosis (problem) onset date time 診断(プロブレム)開始日時(ITM)

プロブレムが存在するとはじめて認識された日時を記録するのに使用。

Diagnosis (problem) resolution date time 診断(プロブレム)終了日時(RTM)

プロブレムが治療されたか軽減した日時を記録するのに使用。

Comparison study 比較検査(CMS)

診断レポートの読み手が現在の検査結果を以前の検査結果と比較する場合、この接尾辞により、比較検査の性質を個別の結果として報告することができる(つまり検査IDの接尾辞がCMSであるセグメントを持つOBXセグメント)。他の任意の比較値が転送されていけば、他の比較OBXセグメント内の検査IDによりテストが識別されるので、通常これは必要とされない。

Comparison date time 比較日時(CMT)

診断処置の読み手が以前の検査結果と現在の検査結果を比較する場合、この接尾辞により、以前の検査の日時を個別の結果として現行レポートで報告することができる。

Comparison results 比較結果(CMR)

診断処置の読み手が、現在の結果を同じ患者に関する以前の結果と比較する場合、この接尾辞により、以前の結果(診断)を個別の結果として現行レポートで報告することができる。

Comparison change 比較変化(CMC)

診断部門が現在の検査と以前の検査の比較を報告する場合、この接尾辞を使って変化の程度を個別の結果としてレポートに報告する。(例えば、大幅に悪化、悪化、最小限悪化しないこと、変化なし、少し回復、回復、非常に回復、正常に回復)現行の書き取りレポートでは、比較に関する情報は通常、検査記述に含まれる。上に列記した比較接尾辞の規定は、この情報を個別の成分として送信しなければならないという意味ではない。単に比較変数を使用できるという意味である。

システム側で個別のレポート成分としてこの情報を転送したい場合、これらの接尾辞により所望の比較を選択することができる。

Predicted 推定(PRD)

多くの肺活量測定の場合がそうであるように、検査に推定値がある場合、この接尾辞により推測と実測定が区別される。最大肺活量を表すAS4コードは94010. 1である。推定される最大肺活量は94010. 1&PRDになるだろう。

Percent of predicted 推定率(PPR)

これは(実測)/(推測)により計算される観察である。最大肺活量の場合、推定率は94010. 1&PPRとなるだろう。

After drug observed 投薬後検査(AFD)

投薬の前後に検査を実施する場合がある。これは特に肺活量測定で生じる。投薬前検査は基本IDにより識別される。投薬後測定は接尾辞「AFD」により識別される。最大肺活量に基本コード「AS4」を使用して、投薬後結果は94010. 1&AFDとして特定されるだろう。

Predicted value after drug 投薬後推測値(ADP)

投薬後推測値は、接尾辞「ADP」により識別される。上記のパターン例に従い、94010. 1&ADPとなるだろう。

Percent predicted after drug 投薬後推測率(APP)

投薬後の推測率は、基本単位コードへ接尾辞「APP」を適用することで識別される—— 最大肺活量にAS4コードを使用して94010. 1&APPとなる。

Timing Information タイミング情報(TIM)

TIM属性OBX結果セグメントは、波形チャンネルをグループ化する与えられた検査サブIDにおいて、第1のデータポイントの日付および時間を確立する。波形データの時間シーケンスでギャップがある場合、これは、同じ検査サブIDを備えた事後のWAV属性結果セグメントに先立ち、新しいTIM属性結果セグメントの送信によって示されるべきである。

Channel Definition Data チャンネル定義データ(CHN)

CHN属性OBX結果セグメントは、デジタルでサンプリングされた時系列波形のための1つ以上の記録チャンネルを定義する。OBX-5検査値フィールドは補足チャンネルを定義するために反復することがある。

Waveform Digital Data 波形デジタルデータ(WAV)

WAV属性OBX結果セグメントは、実際の波形データ(アナログ/デジタル変換器(ADC)またはサンプリングされた時系列デジタルデータ)を送信するためである。WAV属性結果セグメントは、それらの対応チャンネル定義(CHN属性OBX結果セグメント)に検査サブIDを介して関係している。CHN属性結果セグメントの中で定義されたチャンネルの数は、それに関連したWAV属性結果セグメントに含まれていた、多重化データのチャンネルの数を指定する。すべてのチャンネルに対する多数の連続の時間での波形データの与えられたセットは、単一のWAV属性結果セグメント中で送信される(ただし検査値フィールドの長さがOBXセグメントの最大定義フィールド長さの65536を超過しなければである)。または多数の連続のWAV属性結果セグメント中で送信される。このときは、おそらく他の種類の点在した結果セグメントとともにである(例えば注釈、すなわちコメントを含んで)。

WAV属性結果セグメントのデータ型はNA(数値の配列)またはMA(多重化される配列)である。NAデータ型を使用すると、データ値は「チャンネルブロック」、すなわち「多重化されていない」書式で記録される。各チャンネルのためのデジタルサンプルは、成分の区切記号を使用して分離される。また、連続のチャンネルは、反復区切記号を使用して分離される。MAデータ型を使用すると、データ値は「多重化チャンネル」の書式で記録される。すなわち、第1時間サンプルの値(すべてのチャンネル)が最初に送信される。次に第2時間サンプルの値(すべてのチャンネル)が送信される。以下同様にすべてのサンプルが送信されるまで続く。各チャンネルのデジタルデータは成分区切記号によって分離される。また、連続のデータは反復区切記号によって分離される。チャンネル多重化書式が使用できるのは、多重化チャンネルが全て同じ有効なサンプリング周波数を持っているとき

だけである。

Waveform Annotation 波形注釈(ANO)

ANO属性OBXセグメントが使用されるのは、波形注釈(波形記録中に与えられたときに関連したコード化された入力)を送信するためである。ANO属性結果セグメントは、それらの対応するチャンネル定義(CHN属性OBX結果セグメント)に対して、検査サブIDを介して参照される。CHN属性結果セグメントの中で定義されたチャンネルの数は、それに関連した任意のANO属性結果セグメントに含まれる注釈のチャンネルの数を指定する。

ANO属性結果セグメントのデータ型はCWEである。連続のチャンネルへの注釈コード化入力は、反復区切り記号を使用して分離される。隣接する反復区切り記号が使用されるのは、チャンネルの注釈コード化入力が多重チャンネルの結果セグメントの中にないときである。値については「使用者定義表0317－注釈」を参照。

使用者定義表 0317－注釈

Value	Description
9900	ベーススパイク
9901	SAS マーカー
9902	感知マーカー
9903	ビートマーカー
9904	etc

5.7.3 検査結果コメントの例

検査結果コメントは検査結果のOBXに続くOBXで表現する。コメントの値型はSTやTXが代表的と考えられるがコメントコードでの運用しか出来ない場合は二者間の協議の上で、値型CWEでコードでの運用も可能である。出来る限りコメント内容に制限のないフリーテキストを推奨する。MEDIS暫定版では統一結果コメントを定めていたのでその場合のsuffixも参考にされたい。下記に例を示す。

OBX||NM|3A016000002327101^A/G比^JJC10||2.33||1.30-2.00|H|||F 検査結果
 OBX||CWE|3A016000002327101&TCM^^JJC10||E01^参考値です^L|||F そのコメント

MEDIS-DC臨床検査データ交換規約暫定版 結果コメントの例

	コメントグループ	記号	コメント内容	suffix
(A)	検査材料に関するメッセージ	A01	凝固が認められました	TCM
		A02	溶血しておりました	TCM
		A03	乳びしておりました	TCM
(B)	検査方法に関するメッセージ	B01	高値のために希釈いたしました	TCM
		B02	検体量不足のため希釈検査いたしました	TCM
		B03	検体状態により希釈検査いたしました	TCM
		B04	抗補体作用により希釈検査いたしました	TCM
		B05	濃縮検査いたしました	TCM
(C)	結果値を補足するメッセージ	C01	再検済です	TCM
		C02	検体量不足のため再検できませんでした	TCM
		C03	弱い反応が認められました	TCM
		C04	非特異性反応が認められました	TCM
		C05	抗補体作用が認められました	TCM
		C06	薬剤の影響が考えられます	TCM
		C07	報告書の参照をお願いいたします	TCM
		C08	別紙の参照をお願いいたします	TCM
(D)	単位・基準値に関するメッセージ	D01	単位が変更になっております	TCM

	コメント グループ	記号	コメント内容	suffix
		D02	基準値が変更になっております	TCM
(E)	参考値に関するメッセージ	E01	参考値です	TCM
		E02	溶血検体のため参考値です	TCM
		E03	乳び検体のため参考値です	TCM
		E04	ビリルビン高値検体のため参考値です	TCM
		E05	フィブリン析出のため参考値です	TCM
		E06	非特異性反応が認められ参考値です	TCM
		E07	検体量不足のため参考値です	TCM
		E08	指定外材料のため参考値です	TCM
		E09	凝集のため参考値です	TCM
		E10	凝固のため参考値です	TCM
		E11	細胞崩壊のため参考値です	TCM
		E12	汚染の影響が考えられますので参考値です	TCM
		E13	リンパ球（細胞数）が少ないため参考値です	TCM
		E14	除蛋白不十分につき参考値です	TCM
		E15	指定外容器のため参考値です	TCM
		E16	検査材料不備のため参考値です	TCM
		E17	時間経過のため参考値です	TCM
		E18	混濁検体のため参考値です	TCM
		E19	採取方法不適當のため参考値です	TCM
		E20	パターン不良のため参考値です	TCM
		E21	自己抗体陽性につき参考値です	TCM
		E22	他成分の重複が考えられます	TCM
(F)	後日報告に関するメッセージ	F01	後日報告いたします	TCM
		F02	再検中です	TCM
		F03	高値のため再検中です	TCM
		F04	低値のため再検中です	TCM
(G)	検査中止に関するメッセージ	G01	検体量不足のため検査不可能でした	TCM
		G02	溶血検体のため検査不可能でした	TCM
		G03	乳び検体のため検査不可能でした	TCM
		G04	凝固検体のため検査不可能でした	TCM
		G05	部分凝固のため絶対数は出ません	TCM
		G06	ビリルビン高値検体のため検査不可能でした	TCM
		G07	非特異性反応が認められ検査不可能でした	TCM
		G08	測定感度以下のため検査不可能でした	TCM
		G09	抗補体作用が認められ検査不可能でした	TCM
		G10	リンパ球（細胞数）不足により検査不可能でした	TCM
		G11	薬剤の影響が認められ検査不可能でした	TCM
		G12	細胞崩壊のため検査不可能でした	TCM
		G13	検査材料が異なるため検査不可能でした	TCM
		G14	定性結果が陰性のため定量検査は中止いたしました	TCM
		G15	データ値は換算できませんでした	TCM

	コメント グループ	記号	コメント内容	suffix
		G16	未知物質干渉のため検査不可能でした	TCM
		G17	増殖不良のため分析できませんでした	TCM
		G18	データは検出できませんでした	TCM
		G19	検査不可能でした	TCM
		G20	検査を取消いたしました	TCM
(Z)	運用時にユーザの要望により 設定するコメント Z01~Z20			ADT

5.8 定性結果・不等号等の表現方法

OBXセグメントの検査結果値（OBX-5）は必ず値型（OBX-2）で定義されているものであり、下記に参考のため例を示す。

例：OBX-2値型	OBX-5検査結果値	検査結果の表示
NM	+0123.5	123.5または+123.5
NM	-0199.8	-199.8
NM	<100 （これは誤り）	
NM	+4.5E+3	4.5E+3または+4.5E+3（4.5 × 10 ³ ）
ST	+0123.5	+0123.5
ST	<100	<100
ST	陽性	陽性
CWE	^陽性	陽性
SN	<^100	<100
SN	<^1E+2	<1E+2（<100）

定性結果値の場合、そのままST型にて表現する方法と結果をコードとして表記するCWE型、CNE型がある。また、数値結果であっても以下・以上など比較演算子を伴う場合がある。その場合文字を含むためNM型ではなく、そのまま文字列としST型で表現する方法と構造的に表現するSN型がある。SN型はデータを構造的に表現するため統計的扱いに適するが表示の際に編集が必要である。どの値型を使用するかは、検査報告をする施設にゆだねられるが結果を受け取る側のシステムではどの値型でも正しく処理できる様配慮しなければならない。さらにSN型の表記例をあげておく。

結果値	SN 型表記
100 超	>^100
100 以上	>=^100
10 未満	<^10
5 以下	<=^5
(-)	^^-
(+)	^^+
(+-)	^^+-
1+	^1^+
2+	^2^+
2~3	^2^~^3
1:128	^1:^128
1/3	^1/^3

5.9 コード体系表

この表はASTM E1238-94、診断、処置、検査、薬物ID、健康上のアウトカムおよび他のコード体系を示す。コードセットを発行している機関は、複数のコードセットを作成していることがある。そのため、コード体系を一意に表現するためには、コード化専門機関の名称と、コードセットまたは表名称の組み合わせで表現する。CWEデータ型にHL7の表が用いられた場合、コード化体系の名称の欄には、HL7表番号nnnnに対し、HL7nnnnと定義される。同様にISOの表はISO番号がnnnnの場合、ISOnnnnと名づけられる。

HL7 表 0396 - コード体系表

Value	Description	Comment/Source
一般的なコード		
99zzz or L	Local general code (where z is an alphanumeric character)	送信側または受信側の目的のためにローカルに定義されたコード。ローカルコードはL(下位互換性)または、99zzz(zはアルファベットと数字を組み合わせた文字)によって見分けられる。
LB	Local billing code	特定地域内の支払いコードまたは名前(もし必要なら、拡張有り)。
HL7nnnn	HL7 Defined Codes where nnnn is the HL7 table number	nnnn は HL7(Health Level Seven) 表 ナンバー
ISOnnnn	ISO Defined Codes where nnnn is the ISO table number	International Standards Organization where nnnn is the ISO table number
ISO+	ISO 2955.83 (units of measure) with HL7 extensions	
医薬品コード		
ART	WHO Adverse Reaction Terms	WHO Collaborating Centre for International Drug Monitoring, Box 26, S-751 03, Uppsala, Sweden.
CAS	Chemical abstract codes	これらは、後発品も含めてすべての一般的な薬を含む。コードは違った形態の服用のなかでは区別されない。さまざまな同等のCAS番号が存在したとき、USANに最初に記載されているものを使う。USAN 1990 and the USP dictionary of drug names, William M. Heller, Ph.D., Executive Editor, United States Pharmacopeial Convention, Inc., 12601 Twinbrook Parkway, Rockville, MD 20852.
CDCM	CDC Methods/Instruments Codes	Public Health Practice Program Office, Centers for Disease Control and Prevention, 4770 Buford Highway, Atlanta, GA, 30421. Also available via FTP: ftp.cdc.gov/pub/laboratory_info/CLIA and Gopher: gopher.cdc.gov:70/11/laboratory_info/CLIA
FDDC	First DataBank Drug Codes	全国医薬品データファイル。First DataBank, Inc. (800) 633-3453, or http://www.firstdatabank.com の所有物
FDDX	First DataBank Diagnostic Codes	薬-診断上の相互作用チェックに使う。First DataBank, Inc.の所有物。FDDC 参照。
MDDX	Medispan Diagnostic Codes	薬-診断上の相互作用チェック。所有権のある製品。MediSpan, Inc., 8425 Woodfield Crossing Boulevard, Indianapolis, IN 46240. Tel: (800) 428-4495. http://www.espan.com/medispan/pages/medhome.html. As above for MGPI.
MEDC	Medical Economics Drug Codes	薬を識別するための所有権のあるコード。Medical Economics Data, Inc. (800) 223-0581 の製品
MEDR	Medical Dictionary for Drug Regulatory Affairs (MEDDRA)	Dr. Louise Wood, Medicines Control Agency, Market Towers, 1 Nine Elms Lane, London SW85NQ, UK Tel: (44)0 171-273-0000 http://www.open.gov.uk/mca/mcahome.htm
MEDX	Medical Economics Diagnostic Codes	薬-診断上の相互作用チェック。Medical Economics Data, Inc. (800) 223-0581 の製品
MGPI	Medispan GPI	薬の製造元やサイズまでのレベルで薬を識別する Medispan hierarchical drug コード。MediSpan, Inc., 8425 Woodfield Crossing Boulevard, Indianapolis, IN 46240. Tel: (800) 428-4495 の製品

Value	Description	Comment/Source
MVX	CDC Vaccine Manufacturer Codes	CVX と同様
W1	WHO record # drug codes (6 digit)	World Health organization record number code. 一意的な連続した番号は、それぞれ一意的な成分薬とそれぞれ一意的な多様成分薬に割り当てられる。8 つの数は次のようなコードに割り当てられる：6 つの数は効果のある薬剤を識別し、2 つの数は塩を識別する。6 つの数は調剤ユニットで一意的な薬剤を示している。6 つの指数コードは W1 によって分類され、8 つの指数は W2 によって分類される。
W2	WHO record # drug codes (8 digit)	
W4	WHO record # code with ASTM extension	ASTM extensions (参照：実装ガイド)といっしょに WHO コードは、血清レベルレポート、薬使用教育での患者応諾、平均日常服用量などに使用される (参考：Appendix X1 実装ガイド)。
WC	WHO ATC	WHO の ATC コードは治療上の部類によって薬の階層的分類を与える。それらは上記に記したレコード番号にリンクする。
NDC	National drug codes	このコードは投薬形式、メーカーおよびパッケージングに関して、個々の薬に一意的なコードを与える。 (National Drug Code Directory, FDA, Rockville, MD および他の文献より)
CST	COSTART	薬副作用の反対のための国際コードシステム。In the USA, maintained by the FDA, Rockville, MD.
CVX	CDC Vaccine Codes	国民免疫プログラム, Centers for Disease Control and Prevention, 1660 Clifton Road, Atlanta, GA, 30333
医薬品以外の特定のコード		
ACR	American College of Radiology finding codes	American College of Radiology, Reston,VA の Radiological Diagnosis Revised, 3 rd Edition 1986 からの索引。
AS4	ASTM E1238/ E1467 Universal	American Society for Testing & Materials and CPT4 (参考：Appendix X1 of Specification E1238 and Appendix X2 of Specification E1467).
AS4E	AS4 Neurophysiology Codes	神経生理学のための ASTM の診断コードと検査結果コード/グレードシステム。 参考：ASTM Specification E1467, Appendix 2.
ATC	American Type Culture Collection	生物学的材料と関連するデータに関する培養 (微生物、組織培養など)の参照。 American Type Culture Collection, 12301 Parklawn Dr, Rockville MD, 20852. (301) 881-2600. http://www.atcc.org
C4	CPT-4	American Medical Association, P.O. Box 10946, Chicago IL 60610.
C5	CPT-5	(発展途上のため、上記と同じ連絡先)
CD2	CDT-2 Codes	American Dental Association's Current Dental Terminology (CDT-2) code. American Dental Association, 211 E. Chicago Avenue, Chicago, Illinois 60611.
CDS	CDC Surveillance	CDC 監視コード。公衆衛生監視に必要な独自のデータ。 Epidemiology Program Office, Centers for Disease Control and Prevention, 1600 Clifton Rd, Atlanta, GA, 30333. (404) 639-3661.
CE	CEN ECG diagnostic codes	CEN PT007. ECG の診断コード (略記) と説明の包括的なセットが CENTC251 によって副-標準として発行された。以下から入手可能：CENTC251 secretariat, c/o Georges DeMoor, State University Hospital Gent, De Pintelaan 185-5K3, 9000 Gent, Belgium or Jos Willems, University of Gathuisberg, 49 Herestraat, 3000 Leuven, Belgium.
CLP	CLIP	Simon Leeming, Beth Israel Hospital, Boston MA. Codes for radiology reports.
CPTM	CPT Modifier Code	上記 CPT に明記した AMA から得られる。これらのコードは Appendix A of CPT 2000 Standard E. (CPT 2000 Standard Edition, American Medical Association, Chicago, IL)により創られた。

Value	Description	Comment/Source
DCM	DICOM Controlled Terminology	DICOM コンテンツの原文でコードが定義されている。Digital Imaging and Communications in Medicine (DICOM). NEMA Publication PS-3.16 National Electrical Manufacturers Association (NEMA). Rosslyn, VA, 22209. Available at: http://medical.nema.org
E	EUCLIDES	Euclides Foundation International nv, Excelsiorlaan 4A, B-1930 Zaventem, Belgium; Phone: 32 2 7. 17 90 60 から得られる。
E5	Euclides quantity codes	Euclides Foundation International nv (上記参照)から得られる。
E6	Euclides Lab method codes	Euclides Foundation International nv, Excelsiorlaan 4A, B-1930 Zaventem, Belgium; Phone: 32 2 720 90 60 から得られる。
E7	Euclides Lab equipment codes	Euclides Foundation International nv (上記参照)から得られる。
ENZC	Enzyme Codes	生化学と分子生物学の国際協会の酵素委員会。Enzyme Nomenclature: Recommendations on the Nomenclature and Classification of Enzyme-Catalysed Reactions. London: Academic Press, 1992.
FDK	FDA K10	Dept. of Health & Human Services, Food & Drug Administration, Rockville, MD 20857. (device & analyte process codes).
HB	HIBCC	Health Industry Business Communications Council, 5110 N. 40 th St., Ste 120, Phoenix, AZ 85018.
HCPCS	CMS (formerly HCFA) Common Procedure Coding System	医療の設備、注射薬、交通サービスなど CPT4 には含まれていないサービスのためのコードが含まれる。
HCPT	Health Care Provider Taxonomy	X12 に外部のものとして、コード構造が分類されるように、BlueCross および Blue Shield 協会は、供給者分類学の管理者の役割をするだろう。進行中のメンテナンスは ANSI ASC X12N の内に単独でワークグループ 15(供給者情報)、あるいは仕事グループの後継者にまかされている。Blue Cross and Blue Shield Association, 225 North Michigan Avenue, Chicago, IL 60601, Attention: ITS Department, ECNS Unit. http://www.wpc-edi.com/taxonomy/ 第 1 次配布は上記ウェブサイトで、そのワールドワイド・ウェブ・サイトを通して、ワシントン出版社にゆだねられている。
HHC	Home Health Care	Home Health Care Classification System; Virginia Saba, EdD, RN; Georgetown University School of Nursing; Washington, DC.
HI	Health Outcomes	Stratis Health (以前の Health Care Evaluation と Health Outcomes Institute)の治療効果を表す Health Outcomes Institute コード, 2901 Metro Drive, Suite 400, Bloomington, MN, 55425-1525; (612) 854-3306 (voice); (612) 853-8503 (fax); dziegen@winternet.com . See examples in the Implementation Guide.
HPC	CMS (formerly HCFA) Procedure Codes (HCPCS)	修正を含む、Health Care Financing Administration (HCFA) Common Procedure Coding System (HCPCS)。
I10	ICD-10	World Health Publications, Albany, NY.
I10P	ICD-10 Procedure Codes	Procedure Coding System (ICD-10-PCS.) See http://www/hcfa.gov/stats/icd10.icd10.htm for more information. Procedure Coding System (ICD-10-PCS.) 参照 : http://www/hcfa.gov/stats/icd10.icd10.htm
I9	ICD9	World Health Publications, Albany, NY.
I9C	ICD-9CM	Commission on Professional and Hospital Activities, 1968 Green Road, Ann Arbor, MI 48105 (includes all procedures and diagnostic tests).
IBT	ISBT	HL7 Ver.2.5 では HL7 旧バージョンとの互換性のために保持された。このコード値は IBTnnnn によって取って代わられた。 International Society of Blood Transfusion. Blood Group Terminology 1990. VOX Sanquines 1990 58(2):152-169.

Value	Description	Comment/Source
IBTnnnn	ISBT 128 codes where nnnn specifies a specific table within ISBT 128.	International Society of Blood Transfusion. (specific contact information will be supplied to editor.) The variable suffix (nnnn) identifies a specific table within ISBT 128.
IC2	ICHPPC-2	International Classification of Health Problems in Primary Care, Classification Committee of World Organization of National Colleges, Academies and Academic Associations of General Practitioners (WONCA), 3 rd edition. An adaptation of ICD9 intended for use in General Medicine, Oxford University Press.
ICDO	International Classification of Diseases for Oncology	International Classification of Diseases for Oncology, 2nd Edition. World Health Organization: Geneva, Switzerland, 1990. Order from: College of American Pathologists, 325 Waukegan Road, Northfield, IL, 60093-2750. (847) 446-8800.
ICS	ICCS	Commission on Professional and Hospital Activities, 1968 Green Road, Ann Arbor, MI 48105.
ICSD	International Classification of Sleep Disorders	International Classification of Sleep Disorders Diagnostic and Coding Manual, 1990, available from American Sleep Disorders Association, 604 Second Street SW, Rochester, MN 55902
IUPP	IUPAC/IFCC Property Codes	International Union of Pure and Applied Chemistry/International Federation of Clinical Chemistry. The Silver Book: Compendium of terminology and nomenclature of properties in clinical laboratory sciences. Oxford: Blackwell Scientific Publishers, 1995. Henrik Olesen, M.D., D.M.Sc., Chairperson, Department of Clinical Chemistry, KK76.4.2, Rigshospitalet, University Hospital of Copenhagen, DK-2200, Copenhagen. http://inet.uni-c.dk/~qukb7642/
IUPC	IUPAC/IFCC Component Codes	成分の数量を見分ける IUPAC/IFF によって使われるコード。 Contact Henrik Olesen、上記の IUPP のように。
LN	Logical Observation Identifier Names and Codes (LOINC®)	Regenstrief Institute, c/o LOINC, 1050 Wishard Blvd., 5 th floor, Indianapolis, IN 46202. 317/630-7433. Available from the Regenstrief Institute server at http://www.Regenstrief.org/loinc/loinc.htm . Also available via HL7 file server: FTP/Gopher (www.mcis.duke.edu/standards/termcode/loinclab and www.mcis.duke.edu/standards/termcode/loinclin) and World Wide Web (http://www.mcis.duke.edu/standards/termcode/loincl.htm). January 2000 version has identifiers, synonyms and cross-reference codes for reporting over 26,000 laboratory and related observations and 1,500 clinical measures.
MCD	Medicaid	Medicaid 支払いコード/名前。
MCR	Medicare	Medicare 支払いコード/名前
NDA	NANDA	North American Nursing Diagnosis Association, Philadelphia, PA.
NIC	Nursing Interventions Classification	Iowa Intervention Project, College of Nursing, University of Iowa, Iowa City, Iowa
NPI	National Provider Identifier	Health Care Finance Administration, US Dept. of Health and Human Services, 7500 Security Blvd., Baltimore, MD 21244.
OHA	Omaha System	Omaha Visiting Nurse Association, Omaha, NB.
OHA	Omaha	Omaha Visiting Nurse Association, Omaha, NB.
POS	POS Codes	HCFA Place of Service Codes for Professional Claims (see http://www.hcfa.gov/medicare/poscode.htm).
RC	Read Classification	The Read Clinical Classification of Medicine, Park View Surgery, 26 Leicester Rd., Loughborough LE11 2AG (includes drug procedure and other codes, as well as diagnostic codes).
SDM	SNOMED- DICOM Microglossary	College of American Pathologists, Skokie, IL, 60077-1034. (formerly designated as 99SDM).

Value	Description	Comment/Source
SNM	Systemized Nomenclature of Medicine (SNOMED)	Systemized Nomenclature of Medicine, 2 nd Edition 1984 Vols 1, 2, College of American Pathologists, Skokie, IL.
SNM3	SNOMED International	SNOMED International, 1993 Vols 1-4, College of American Pathologists, Skokie, IL, 60077-1034.
SNT	SNOMED topology codes (anatomic sites)	College of American Pathologists, 5202 Old Orchard Road, Skokie, IL 60077-1034.
UC	UCDS	Uniform Clinical Data Systems. Ms. Michael McMullan, Office of Peer Review Health Care Finance Administration, The Meadows East Bldg., 6325 Security Blvd., Baltimore, MD 21207; (301) 966 6851.
UML	Unified Medical Language	National Library of Medicine, 8600 Rockville Pike, Bethesda, MD 20894.
UPC	Universal Product Code	The Uniform Code Council. 8163 Old Yankee Road, Suite J, Dayton, OH 45458; (513) 435 3070
UPIN	UPIN	Medicare/CMS 's (formerly HCFA) universal physician identification numbers, available from Health Care Financing Administration, U.S. Dept. of Health and Human Services, Bureau of Program Operations, 6325 Security Blvd., Meadows East Bldg., Room 300, Baltimore, MD 21207
USPS	United States Postal Service	各州を表す2文字からなる略記が Publication 28, Postal Addressing Standards にリストされている。これは Address Information Products, National Address Information Center, 6060 Primacy Parkway, Suite 101, Memphis, Tennessee 38188-0001 で手に入れられる。 質問やコメントは the Office of Address and Customer Information Systems, Customer and Automation Service Department, US Postal Service, 475 Lenfant Plaza SW Rm 7801, Washington, DC 20260-5902 へ。
装置コード		
UMD	MDNS	Universal Medical Device Nomenclature System. ECRI, 5200 Butler Pike, Plymouth Meeting, PA 19462 USA. Phone: 215-825-6000, Fax: 215-834-1275.
その他		
ANS+	HL7 set of units of measure	HL7 の測量ユニットセットは ANSI X3.50 – 1986、ISO 2988-83 および US customary units/の chapter 7 section 7.4.2.6 を基本にしている。
CDCA	CDC Analyte Codes	As above, for CDCM
HOT	Japanese Nationwide Medicine Code	
ICD10AM	ICD-10 Australian modification	
ICD10CA	ICD-10 Canada	
JC8	Japanese Chemistry	医療検査分別コード。 Japan Association of Clinical Pathology. Version 8, 1990. A multiaxial code including a subject code (e.g., Rubella = 5f395), identification code (e.g., virus ab IGG), a specimen code (e.g., serum =023) and a method code (e.g., ELISA = 022)
JC10	JLAC/JSLM, nationwide laboratory code	Source: Classification & Coding for Clinical Laboratory. Japanese Society of Laboratory Medicine(JSLM, Old:Japan Society of Clinical Pathology). Version 10, 1997. A multiaxial code including a analyte code (e.g., Rubella = 5f395), identification code (e.g., virus ab IGG=1431), a specimen code (e.g., serum =023) and a method code (e.g., ELISA = 022)
JJ1017	Japanese Image Examination Cache	
NUBC	National Uniform Billing Committee Code	

5.10 (参考) QUANTITY/TIMING(TQ) 数量/タイミング データ型

HL7 成分表-TQ 数量/タイミング

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	722	CQ	O	Quantity 数量
2	206	RI	O	Interval 時間間隔
3	6	ST	O	Duration 継続期間
4	26	TS	O	Start Date/Time 開始日付/時刻
5	26	TS	O	End Date/Time 終了日付/時刻
6	6	ST	O	Priority 優先度
7	199	ST	O	Condition 条件
8	200	TX	O	Text テキスト
9	1	ID	O	Conjunction 連結
10	110	OSD	O	Order Sequencing オーダ順序
11	705	CWE	O	Occurrence Duration 発生継続期間
12	4	NM	O	Total Occurrences 総発生数

定義：数量/タイミング(ORC-7,OBR-27)は、オーダセグメントによって述べられたサービスがいつ、どのような頻度で行なわれるかを規定する手段を与える。それは、繰り返しを持つことができる複合多重成分フィールドである。すなわち複数回の数量/タイミング指定が、反復区切文字で分離されて表現される。数量/タイミング指定の成分を以下に述べる。

注：HL7 Ver.2.5 より TQ データ型は HL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ保持されている。第7章に定義されている TQ1 および TQ2 セグメントを参照。

第1成分 Quantity 数量(CQ)

副成分：<Quantity 数量(NM)> & <Units 単位(CE)>

各々のサービス間隔で供給される必要があるサービスの量。例えば、2つの血液培養が4時間ごとに得られるとすれば、数量が2である。もし3ユニットの血液が血液型を調べクロスマッチされるならば、数量は3である。デフォルト値は1である。単位が要求される時、後ろの成分で限定するものによって明示され加えられる。

第2成分 Interval 時間間隔(RI)

副成分：<Repeat Pattern繰り返しパターン(IS)> & <Explicit Time Interval明示的な時間間隔(ST)>

繰り返されるサービスの時間間隔を決める。デフォルトは1回のみである。第1副成分は繰り返しパターンである。第2副成分はパターンが実行される明確な時間である。

Repeat pattern繰り返しパターン(IS)

使用者定義表 0335-繰り返しパターン

Q<integer>S	Every <integer> seconds 秒ごと
Q<integer>M	Every <integer> minutes 分ごと
Q<integer>H	Every <integer> hours 時間ごと
Q<integer>D	Every <integer> days 日ごと
Q<integer>W	Every <integer> weeks 週ごと
Q<integer>L	Every <integer> months (Lunar cycle) 月ごと
Q<integer>J<day#>	特定の曜日に繰り返す。J はフランス語の jour(day)から。もし<整数>がないならば、繰り返しレートは1と仮定する。日付の番号は、1=月曜日から7=日曜日までカウントする。それゆえ Q2J2 は第2火曜日ごと、Q1J6 は、土曜日ごとを意味する。
BID	1日2回、施設が決めた時刻(例えば、9AM-4PM)
TID	1日3回、施設が決めた時刻(例えば、9AM-4PM-9PM)

QID	1日4回、施設が決めた時刻(たとえば、9AM-11AM-4PM-9PM)
XID	1日"x"回、施設が決めた時刻、Xは数字5より大(例えば、5ID=1日5回、8ID=1日8回)
注：上記の4つの指定はいずれもそのQ<整数>H対応と同等ではない。例えば、QIDは、Q6Hではない。前者は不等間隔に置かれる；後者は等間隔に置かれる。	
QAM	朝に、施設が決めた時刻に
QSHIFT	3回/日の8時間シフト各々の間で、施設が決めた時刻に
QOD	隔日(Q2Dと同じ)
QHS	毎日就寝前に
QPM	夕方、施設が決めた時刻に
C	サービスの提供は連続的に始めの時刻から終わりの時刻まで
U <spec>	スペック、将来使用のため <スペック>がUNIXのクローンで定義された時間隔仕様である場合
PRN	必要に応じて与えられる
PRNxxx	xxxがなんらかの頻度コード(例えば、(PRNQ6H))；必要に応じて頻度期間にわたって与えられる
Once	1度だけ。これは、この成分がnullである時、デフォルトである
食事に関連したタイミング	<timing>C ("cum")<meal>
A	Ante (before) 前
P	Post (after) 後
I	Inter 間 (例、食間)
M	Cibus Matutinus (breakfast) 朝食
D	Cibus Diurnus (lunch) 昼食
V	Cibus Vespertinus (dinner) 夕食

朝食前1回：ACM

夕食後1回：PCV

Explicit time interval 明示的な時間間隔(ST)

次の書式において、第1副成分のコードによって参照された実際の時刻を明確にリストする。

HHMM, HHMM, HHMM, ...

この第2副成分は、実際の投薬時刻が施設内で変化する場合など、第1副成分を明らかにするため使用する。オーダの期間が1日を超えるならば、この新しい副成分が実際に役立つのは同じ投薬時刻がオーダの各々の日に対して発生する場合である。オーダの実際の開始時刻（数量/タイミングフィールドの第4副成分によって与えられる）が、リストの最初の明確な時刻の後であれば、最初の投薬は、開始時刻の後の最初の明確な時刻とする。患者が明確な時間の異なったセットを持っている場所へ移動する場合、現在のオーダは、変更された明確な時間を示している新しい数量/タイミングフィールドで更新する。

時刻は hhmm、就寝時は HS、食事に関係したタイミングは xCy で記述される。

x : A 前、P 後、I 間、y : M 朝食、D 昼食、V 夕食

数量/タイミングフィールドの第2成分

...^QID&0230,0830,1430,2030^...1日3回食後 ^ATID&PC

第3成分 Duration 継続期間(ST)

サービスが開始された後で、サービスがどのくらい長く続くかを示す。デフォルトは、INDEF(不定)である。この成分は、以下の通りにコード化される。

S<integer> = <integer> seconds 秒
M<integer> = <integer> minutes 分
H<integer> = <integer> hours 時間

D<integer>	=	<integer> days 日
W<integer>	=	<integer> weeks 週
L<integer>	=	<integer> months 月
X<integer>	=	オーダで指定された時間間隔成分の繰り返し回数。2つの血液培養に対する要求Q2HX3、2つの血液培養を3つの異なった時刻に2時間おきに入手して合計6つの血液培養を入手するという意味である。
T<integer>	=	明記されている時間間隔と量で、合計の<整数>『DOSAGE』が蓄積されるまで。単位は、「数量」フィールドにのけると同じであると仮定する。
INDEF	=	期間を特に定めない(不定)-同様にデフォルト

第4成分 Start date/time 開始日時(TS)

依頼者によって規定される。その場合、それはサービスを開始する必要がある最も初めの日時を示す。多くの場合、開始日時は、オーダレコード（例えば、（緊急)-STAT）の他のフィールドによって示唆されるか、定義される。そのような場合、このフィールドは空となる。

実施者サービスは、オーダを受領後このフィールドの値をしばしば記録する。一方実施サービスの内部使用のために、開始日時を基礎にして終了時刻を計算する。

第5成分 End date/time 終了日時(TS)

サービスを要求する人によってこの値が指定された時は、このフィールドはサービスが行なわれるべき最後日時である必要がある。ここで明示された時間までに行なわれなかったならば、それは行うべきではない。要求する人がこの値を満たすとは限らない。しかし実施者サービスは、それが受け取る指示および実際の開始時間を基礎として満たしてもよい。

終了日時の値に関係なく、サービスは、継続時間または終了日時によって指定された最も早い日時に終了すべきである。

第6成分 Priority 優先度(ST)

要求の緊急度を述べる。次の値が提案される（優先度のデフォルトはRである）。

S	=	緊急	最も高い優先度で
A	=	できるだけ早く	S オーダの後
R	=	ルーチン	デフォルト
P	=	術前	
C	=	返信	
T	=	タイミングがクリティカル	要求は、要求された時間に最も近いことが重要であるという意味である。例えば、抗生物質血中濃度である
PRN	=	As Needed	

T：タイミングがクリティカルの程度は次のように明示できる。

TS<integer>	=	秒以内で
TM<integer>	=	分以内で
TH<integer>	=	時間以内で
TD<integer>	=	日以内で
TW<integer>	=	週以内で
TL<integer>	=	月以内で

オーダの連続指定の場合、これらの値は、先行オーダから後続くオーダ全部に対してタイミングの重要性を規定する。優先度成分を反復する場合はスペースで区切る。

第7成分 Condition 条件(ST)

これは、投薬条件を記述するフリーテキストフィールドである。例えば、「PRN pain」、「血圧を110以下に保て」など。このフィールドにテキストが存在する場合、投薬方法または投薬時期(あるいはその両方)を決定するため人間が見直す必要がある。

第8成分 Text テキスト(TX)

この成分は指示を全てテキストで表したものである。

第9成分 Conjunction 連結(ID)

この成分がnullでなければ、反復区切り文字を使用して、2番目のタイミング指定を後に続ける。このフィールドは3つの値を採ることができる。

HL7 表 0472-TQ 接続詞 ID

Value	Description	Comment
S	Synchronous 同期	今回の指定の後に次の指定を行う(ORC-4^4-開始日時、および ORC-4^5-終了日時成分により制限を受けなければ)。 “S”指定は、最初のタイミング・シーケンスの後に 2 番目のタイミング・シーケンスが続くことを示す。例えば、最初の 1 時間は Q15 分ごとに血圧を測定し、次の日には 2 時間ごとに血圧を測定するよう依頼する。
A	Asynchronous 非同期	今回の指定と並行して次の指定を行う(ORC-4^4-開始日時、および ORC-4^5-終了日時成分により制限を受けなければ)。連結“A”により、投薬時などに散見される、2 つの指示の並行指定が可能になる。例えば、月曜、水曜、金曜にブレドニゾン 1 錠、火曜、木曜、土曜、日曜には 1/2 錠。
C	This is an actuation time これは開始時間である	このコードの後はサービスの終了時間が続く。このコードにより、サービスを起動すべき(採血など)時間・優先度から、サービスを終了すべき(結果報告など)時間・優先度が区別できるようになる。 連続サービスあるいは循環サービスの場合、サービスを実際に停止するポイントは、成分 ORC-4^5-終了日時または ORC-4^3-継続時間の、どちらかより早い停止時間を示す成分により決定される。通常、この 2 つの成分のうち 1 つだけが存在する。しかし以下のような指定により EKG を要求した場合は、反復数(3)のほうがより早い停止時間を定義しているため、EKG は 3 日間だけ実施されることになる。例えば、^1^QAM^X3^D10

第10成分 Order sequencing オーダ順序(OSD)

実際の現場ではさまざまな状態が想定される。例えば、あるまとまった点滴(IV)溶剤を要求するオーダを作成した場合は、個々の点滴溶剤(各々それ自体が1個のオーダ)のシーケンスを指定する必要がある。また、“PRN pain”などある種の結果条件がオーダ指示に含まれる、というような状態も考えられる。現在は、ORC-4-数量/タイミングのフリーテキスト“条件”成分により任意の条件を指定することができる。しかし、完全にコード化したオーダシーケンスあるいは結果条件をサポートするために、次のパラグラフでORC-4-数量/タイミングの第10番成分を定義した。この第10成分のサポートするシーケンス化条件は、あるオーダの終了に基づく。第11成分以降は将来に備えた予約であり、オーダの実行前に複数の条件を評価するよう指定するのに使用する。将来をにらんだこのような指定により、現在の数量/タイミング定義との上位互換性が保たれる。

注：第 10 成分が存在する場合、第 7 成分(条件成分)は、依頼の際に表示されるテキスト“注記”とみなされる。すなわちシステムは、このテキストをシーケンス化指定の一部として解釈することはない。

副成分...オーダ順序

シーケンス条件を定義するために、数量/タイミングフィールド成分の第10成分は、「表 5-2. 副成分...オーダ順序」に示す副成分に分割される。

表 5-2. 副成分...オーダ順序

Subcomponent	Contains	Notes
1	連鎖/結果フラグ	S はシーケンス状態; C は循環、 R は将来の使用のためリザーブしてある。
2, 3	依頼者オーダ番号	必須/オプション: 2 つの副成分を使用する。何故なら依頼者オーダ番号は 2 つの副成分を持つためである。HL7 では副成分の副成分は定義していない。
4, 5	実施者オーダ番号	必須/オプション: 2 つの副成分を使用する。何故なら実施者オーダ番号は 2 つの副成分を持つためである。HL7 では副成分の副成分は定義していない。

Subcomponent	Contains	Notes
6	シーケンス状態値	許容状態値は、プロジェクト計画法で通常使用される形を持つ: <one of "SS", "EE", "SE", or "ES"> +/- <time> 1文字目は先行オーダの開始時間(S)又は終了時間(E)を意味する。先行オーダは、副成分 1、2 又は 3、4 の依頼者又は実施者オーダ番号によって定義される。 2文字目は後続オーダの開始時間(S)又は終了時間(E)を意味する。この後続オーダは、ここの数量/タイミング仕様を含むオーダである。時間として、先行および後続の始まり又は終わりの間隔を指定する(下記に例を示す)。 <時間>の定義: S<integer> <integer> 秒 M<integer> <integer> 分 H<integer> <integer> 時間 D<integer> <integer> 日 W<integer> <integer> 週 L<integer> <integer> 月
7	最大繰り返し数	最大繰り返し数が使用されるのは循環グループだけである。繰り返し総数は、最後の繰り返しの終わりの日付/時間又は親の終わりの日付/時間のうち、最初に来る方によって制約される。
8,9	依頼者オーダ番号、最後の2つの成分	要求/オプション:依頼者オーダ番号の最後の2つの成分を含んでいる:普遍的なID(ST)および普遍的なID・型(ID)(それぞれ)。依頼者オーダ番号がEIデータ型であるので、2つの副成分を使用する。我々はHL7では副成分を定義していない。
10,11	実施者オーダ番号、最後の2つの成分	要求/オプション:依頼者オーダ番号の最後の2つの成分を含んでいる:普遍的なID(ST)および普遍的なID・型(ID)(それぞれ)。依頼者オーダ番号がEIデータ型であるので、2つの副成分を使用する。我々はHL7では副成分を定義していない。

使用上の注意: 先行オーダは、「ORC-4-数量/タイミング」の第10成分の副成分2と3において、依頼者オーダ番号としてOE1000&OrdEntにより定義される。

後続オーダ、つまり今回のオーダは、ORCセグメントに依頼者オーダ番号OE1001^OrdEntを持つ。

次のシーケンス条件値の意味を説明する。

- ES + 10M 「OE1000&OrdEnt(先行オーダ)の終了時間 + 10分」により、後続オーダ、OE1001^OrdEnt(今回のオーダ)の開始時間を定義する;つまり、先行オーダが終了してから10分後に、このオーダを開始せよ、ということ。
- SS - 10M 「先行オーダの開始時間-10分」によりこのオーダの開始時間を定義する。つまり、先行オーダの10分前にこのオーダを開始、ということ。

循環依頼者グループ

反復すべき循環オーダがある場合、実行される最初のオーダは、アスタリスク(*)で始まる"シーケンス条件値"を持つ。

例:

- *FS+10M 第10成分に指定された条件を評価せずに、このオーダを1回実行する。指定された外部オーダの開始・終了日時がこの条件に合致したときのみその実行を繰り返す。このように指定すると、各サイクルでオーダが1回反復される。

注: オーダを繰り返すには、依頼アプリケーションは、最初のオーダの数量/タイミングを指定する際に、サイクル内の最終オーダの依頼者オーダ番号を指定できなければならない。

親子パラダイムを使用して、4つのIVオーダから成る循環グループを指定するには、親はIVのカスタム・グループを指定する。すると、以下のように処理が実行される。

2番目の子オーダのORC-4-数量/タイミングは、それが1番目の子オーダに続くことを示す。

3番目の子オーダのORC-4-数量/タイミングは、それが2番目の子オーダに続くことを示す。

4番目の子オーダのORC-4-数量/タイミングは、それが3番目のオーダに続くことを示す。

4つの子オーダから成るグループを循環的に繰り返すには次のように処理が実行される。

1番目の子オーダのORC-4-数量/タイミングは、この子オーダが、他のオーダが終了したかどうかとは無関係に、1度実行されることを示す。

この子オーダが2回目に実行されるのは、4番目のオーダが終了してからである。

このスキームにより、下記情報を追跡することができる。

親オーダーのレベルで返答すべきオーダー・グループ全体の状態。

対応する子オーダーの状態をフォローすることによって、IVオーダーそれぞれの状態。

例： 個別のオーダー

同じグループのオーダーは、その数量/タイミングフィールド内のデータによってのみ連携させることで、4つのオーダー（共通の親のない）を1グループとして送ることができる。この場合HL7では、グループ全体のオーダー状態をまとめて伝送する便利な手段がないので、4つのオーダーの個々の状態を別々に伝送するしかない。

オーダー状態の継承

キャンセル/中断/保留オーダー制御イベント：

ここでは、指定された先行オーダーが通常通り実行されることを想定している。したがって、先行オーダーのキャンセル（あるいは中断、保留）は、後続の関連オーダーすべてを取り消す（あるいは中断する、保留する）ことを意味する。

参照されているオーダーが取り消された（あるいは中止、保留された）場合、今回のオーダーはそれと同じ状態を継承する。

保留の場合、先行オーダーの保留を解除することは、その該当オーダーも解除するという意味である。（したがって、そのオーダーは第10成分内の指定にしたがって実行することができる。）

第11成分 Occurrence Duration 発生継続期間(CWE)

定義：この副成分はサービスの1回の実施の継続時間からなる、例えば、渦流浴20分間を1日3回を3日間。この副成分はTQのなかで省略可能であり、繰り返さない。

注：本成分中の成分区切り文字は副成分区切り文字に置き換わる。

第12成分 Total occurrences 総発生数(NM)

定義：この副成分はオーダーの結果としてサービスが生じた総数からなる。この副成分はTQのなかで省略可能であり、繰り返さない。終了日付/時刻と総発生数の両方が設定され、発生は終了日付/時刻を越える場合は、終了日付/時刻のほうを優先する。それ以外の場合は、総発生数のほうを優先する。

5.10.1 QUANTITY/TIMING 数量/タイミングの使用例

3^once

指定時刻にサービスを実行する。例えば、3単位の輸血を1回実行せよというオーダー。

1^QHS^X2

就寝時にサービスを2回実行する。例えば、2夜連続、就寝時に1単位の輸血をする。

1^C^3D

3日間サービスを継続する。

1^Q1H^X4^^^^PVCs>10/min

患者のPVCが毎分10を越える場合は、最大4回、1時間ごとにEKGを実行する。

1^Q2J^^1432

毎週火曜日、午後2:32にサービスを実行する。

1^^^^198911210800

11/21/89 0800前に検査を実行する。例えば、手術前の臨床検査。

1^Q3600S^X5^198911051030

11/5/89の午前10:30より、5時間に渡って、1時間ごとにサービスを実行する。血糖採取など。

1^QAM^X3^^^^S~1^QOD^4D^^^^if K+>5.5.

3日間毎朝サービスを実行し、血清カリウムが5.5を越える場合、4日間（つまり最大2回）1日おきにサービスを朝に実行する。

^^^198812120800^^T^^Trough specimen for MIC^C~^^^^R

12/12/1988午前8:00きっかりに採血し、ルーチンに従い結果を報告する。